NTT docomo

SO-01C

取扱説明書

'11.6

はじめに

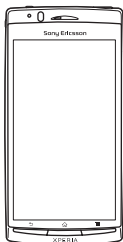
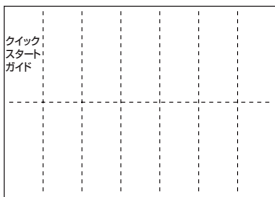
「SO-01C」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

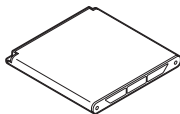
FOMA端末のご使用にあたって

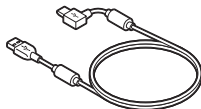
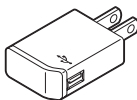
- SO-01Cは、W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- FOMA 端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA 端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本FOMA端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本書は、ドコモUIMカードをご使用の場合で記載しています。

本体付属品

本体付属品

- SO-01C本体（保証書、リアカバー SO14含む）

- クイックスタートガイド

- SO-01Cのご利用にあたっての注意事項
  安全上／取り扱い上のご注意

- 電池パック SO05

- ACアダプタケーブル SO02（保証書含む）

<AC アダプタ>　　<microUSB ケーブル>

- microSDHCカード（16GB）※（試供品）（取扱説明書含む）

※ お買い上げ時には、あらかじめFOMA端末に取り付けられています。

- マイク付ステレオヘッドセット（試供品）（取扱説明書含む）

オプション品については、「オプション品・関連機器のご紹介」（P.194）をご参照ください。

SO-01Cの取扱説明書について

SO-01Cの操作説明は、本書のほかに『クイックスタートガイド』や本FOMA端末用アプリケーションの『取扱説明書』で説明しています。

『クイックスタートガイド』(本体付属品)

お買い上げ時に最初に行う基本的な操作や設定のほか、画面の表示内容、主な機能の操作などを説明しています。

『取扱説明書』(本FOMA端末のアプリケーション)

本書同様に各種機能の操作や設定操作などを説明しています。
『取扱説明書』アプリケーションを利用するには、ホーム画面で▦▶［取扱説明書］をタップします。初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってダウンロード、インストールする必要があります。以後は電子書籍としてご覧いただけます。また、説明ページの記載内容をタップして実際の操作へ移行したり、参照内容を表示したりできます。

❖注意

- アプリケーションのダウンロードおよびアップデート時には、データ量の大きい通信を行いますので、パケット通信料が高額になります。このため、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
  ※ Wi-Fi機能を利用してダウンロードする場合、パケット通信料はかかりません。

『取扱説明書』(PDFファイル)

各種機能の操作や設定操作などを説明しています。
以下のドコモのホームページよりダウンロードできます。
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※『クイックスタートガイド』の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

❖注意

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- SO-01Cに関する重要なお知らせを以下のホームページに掲載しております。ご利用の前に必ずご確認ください。
  http://www.sonyericsson.co.jp/support/use_support/product/so-01c/

操作説明文の表記について

本書では、各キーの操作を ⓪、[↩]、[⌂]、[≡]、[◁ ▷]、[📷] を使って説明しています。また、タッチパネルで表示されるアイコンや項目の選択操作を次のように表記して説明しています。

表　記	操作内容
ホーム画面で [≡] を押し、［設定］をタップする	ホーム画面で [≡]（メニュー）キーを押して、画面に表示されている「設定」をタップする
［設定］▶［日付と時刻］▶［日付設定］をタップする	画面に表示されている「設定」をタップして、次に表示された画面で「日付と時刻」を、さらに表示された画面で「日付設定」を順にタップする
[⊖ ⊕] をタップして拡大／縮小する	画面に表示されている [⊖ ⊕] をタップして地図を拡大／縮小する
アイコンを長くタッチする	画面上のアイコンを長めに（1～2秒間）タッチした（触れた）ままにする

❖お知らせ

- 本書の操作説明は、お買い上げ時のホーム画面からの操作で説明しています。別のアプリケーションをホーム画面に設定している場合などは、操作手順が説明と異なることがあります。
- FOMAカード（緑色・白色）をご利用のお客様は、本書内に記載している「ドコモUIMカード」は「FOMAカード」と読み替えてください。
- 本書で掲載している画面やイラストはイメージであるため、実際の製品や画面とは異なる場合があります。
- 本書では、操作方法が複数ある機能や設定の操作について、操作手順がわかりやすい方法で説明しています。
- 本書の本文中においては、「SO-01C」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

目次

本端末のご利用にあたっての注意事項

- 本FOMA端末は、ｉモードのサイト（番組）への接続やｉアプリなどには対応しておりません。
- 本FOMA端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本FOMA端末では、マナーモードに設定中でも、着信音、操作音、各種通知音以外の音声（動画再生、音楽の再生、アラームなど）は消音されません。
- キーロック解除画面（P.30）にオペレーター名が表示されます。
- お客様の電話番号（自局番号）は以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で [≡] を押し、［設定］▶［端末情報］▶［端末の状態］をタップする。
- ご利用のFOMA端末のソフトウェアバージョンは以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で [≡] を押し、［設定］▶［端末情報］をタップする。
- パソコンからインターネットを経由してアップデートファイルを取得し、パソコンとFOMA端末とを接続することでソフトウェアを更新することができます。詳細は、「パソコンに接続して更新する」（P.202）をご参照ください。
- FOMA端末の品質改善を行うため、ソフトウェア更新によってオペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。このため、常に最新のOSバージョンをご利用いただく必要があります。また、古いOSバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 本端末とFOMAカード（緑色）の一部との組み合わせにてご利用の際、一部海外事業者ネットワークにおいて、音声通話およびパケット通信ができなくなる状態になることがあります。海外でご利用いただく際、FOMAカード（緑色）をご利用のお客様は、無料でFOMAカードを交換させていただきますので、最寄りのドコモショップへご来店ください。

- 紛失に備え、画面ロックを設定しFOMA端末のセキュリティを確保してください。詳細は「画面ロック」（P.104）をご参照ください。
- 万が一紛失した場合は、Google トーク、Gmail、AndroidマーケットなどのGoogleサービスやFacebook、Twitter、mixiを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- spモード、mopera Uおよびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用にはspモードのご契約が必要です。
- ご利用の料金プランにより、テザリング利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスへのご加入を強くおすすめします。
- パケット定額サービスご加入の場合、パケット通信料は、「パソコンなどの外部機器を接続した通信」となります。なお、テザリングを有効にした場合、外部機器が接続されていない状態でも、すべてのパケット通信が「パソコンなどの外部機器を接続した通信」となります。外部機器での通信が終了次第、必ずテザリングを無効にしてください。
- テザリングの初期設定では、セキュリティは設定されていません。必要に応じて、セキュリティを設定してください。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/ をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. FOMA端末、電池パック、ACアダプタケーブル、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）

危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびACアダプタケーブルは、NTTドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

警告

禁止

microUSB接続端子やヘッドセット接続端子、HDMI接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
・電源プラグをコンセントから抜く。
・FOMA端末の電源を切る。
・電池パックをFOMA端末から取り外す。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

⚠注意

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

FOMA端末をACアダプタケーブルに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらゲームなどを長時間行うと、FOMA端末や電池パック・ACアダプタケーブルの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2. FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末内のドコモUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で携帯電話が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。
FOMA端末のmicroUSB接続端子に充電などのためmicroUSBケーブル接続を行った場合は、操作はできませんが電源はオンになります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではmicroUSBケーブル接続を行わないようご注意ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

⚠警告

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電子機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部の表面には、飛散防止フィルムを貼った強化ガラスを使用し、カメラのレンズの表面には、アクリル樹脂を使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

FOMA端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
各箇所の材質について→P.16「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

3. 電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4. ACアダプタケーブルの取り扱いについて

⚠警告

microUSBケーブルが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタケーブルは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、ACアダプタケーブルには触れないでください。
感電の原因となります。

コンセントにつないだ状態でmicroUSBプラグをショートさせないでください。また、microUSBプラグに手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

microUSBケーブルの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

コンセントにACアダプタケーブルを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れた手でACアダプタケーブル、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

⚠警告

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタケーブルで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタケーブル：AC100V～240V
（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜く場合は、microUSBケーブルを無理に引っ張らず、ACアダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

5. ドコモUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。

⚠警告

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

7. 材質一覧

使用箇所	使用材料	表面処理
外装ケース（フロント）	PC樹脂（ガラス入り）	UV塗装処理
近接センサー	PC樹脂	表面処理無し
ライトセンサー	PC樹脂	表面処理無し
通知LED	PC樹脂	表面処理無し
外装ケース（リア、HDMI接続端子カバー）	PC樹脂（ガラス入り）	不連続蒸着（錫）＋UV塗装処理
ハードウェアキー（バックキー、ホームキー、メニューキー、カメラキー、音量キー、電源キー）	PC樹脂	不連続蒸着（錫）＋UV塗装処理
透明板（ディスプレイ）	強化ガラス	飛散防止フィルム（PET）
透明板（カメラレンズ）	PMMA	ハードコート
フラッシュ／フォトライト	PC樹脂	表面処理無し
リアカバー	PC樹脂	不連続蒸着（錫）＋UV塗装処理

取り扱い上のご注意

■ 共通のお願い

- 水をかけないでください。

  FOMA端末、電池パック、ACアダプタケーブル、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

- 端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。

  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり、充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器をmicroUSB接続端子やヘッドセット接続端子、HDMI接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。
- 電池パック、ACアダプタケーブルに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

■ FOMA端末についてのお願い

- タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
  タッチパネルが破損する原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
  温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障、破損の原因となります。
- microUSB接続端子やヘッドセット接続端子、HDMI接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
  故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はHDMI接続端子カバーを閉じた状態でご使用ください。
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- リアカバーを外したまま使用しないでください。
  電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。

- 磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

■ 電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程度消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

■ ACアダプタケーブルについてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、ACアダプタケーブルが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、microUSBプラグを変形させないでください。
  故障の原因となります。

■ ドコモUIMカードについてのお願い

- ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  データの消失、故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  故障の原因となります。
- ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  故障の原因となります。

■ Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります。（対応しているBluetooth機器のみ）
- 周波数帯について
  FOMA端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

2.4FH1/DS4/OF4

2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH/DS/OF：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。

次ページへつづく

1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
▬ ▬ ▬：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

- Bluetooth機器使用上の注意事項
  本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
  1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
  3. その他、ご不明な点につきましては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 無線LAN（WLAN）についてのお願い

- 無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- 無線LANについて
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線 LAN アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 2.4GHz機器使用上の注意事項
  WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

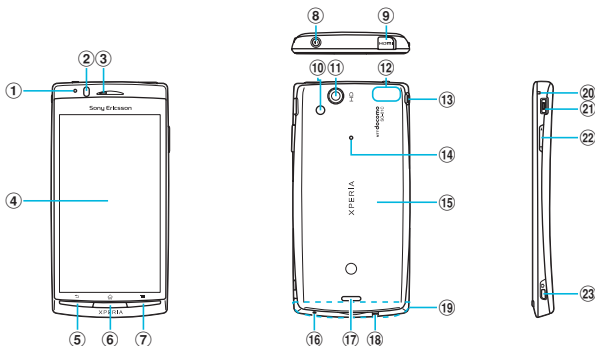
■ 注意

- 改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。

  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク 〒」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
  FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
  技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。

  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は、罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。

  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

各部の名称と機能

① ライトセンサー：画面の明るさの自動制御に使用されます。
② 近接センサー：タッチスクリーンのオンとオフを切り替えて、通話中の誤動作を防止します。
③ 受話口
④ タッチスクリーン
⑤ バックキー
⑥ ホームキー
⑦ メニューキー
⑧ 電源キー／画面ロックキー
⑨ HDMI接続端子（type D）
⑩ フラッシュ／フォトライト
⑪ カメラレンズ
⑫ GPSアンテナ部※
⑬ ヘッドセット接続端子
⑭ セカンドマイク：通話相手が聞き取りやすいようにノイズを抑制したり、動画撮影時にステレオマイクとして使用します。
⑮ リアカバー
⑯ 送話口（マイク）
⑰ スピーカー
⑱ ストラップホール
⑲ FOMAアンテナ部※
⑳ 通知LED
㉑ microUSB接続端子
㉒ 音量キー／ズームキー
㉓ カメラキー
※ アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

❖注意

- 各センサー上にシールなどを貼らないでください。

ドコモUIMカードについて

ドコモUIMカードとは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードのことです。ドコモUIMカードがFOMA端末に取り付けられていないと、FOMA端末の一部（電話機能など）を操作することができません。

- 本FOMA端末ではFOMAカード（青色）は使用できません。FOMAカード（青色）をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモUIMカードを取り付け／取り外すときは、必ずFOMA端末の電源をオフにして、リアカバーを取り外してから行ってください。また、ACアダプタケーブルは取り付けないでください。

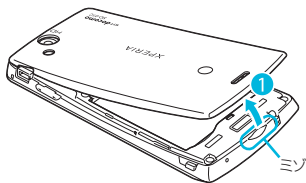
❖お知らせ

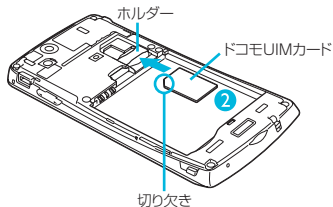
- ドコモUIMカードを取り扱うときは、金属（IC）部分に触れたり、傷つけないようにご注意ください。故障や破損の原因となります。

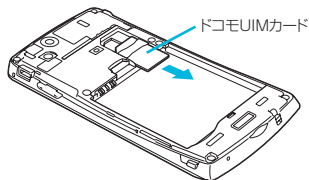
■ ドコモUIMカードの暗証番号について

ドコモUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。（P.103）

ドコモUIMカードを取り付ける

1 リアカバーのミゾに親指の指先（爪）をかけて、矢印（❶）の方向へリアカバーを持ち上げて取り外す

2 電池パックを取り出して、ドコモUIMカードの金属（IC）部分を下に向けてホルダーに差し込む

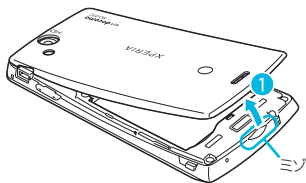
- 切り欠き部分を奥側にして、差し込みます。

ドコモUIMカードを取り外す

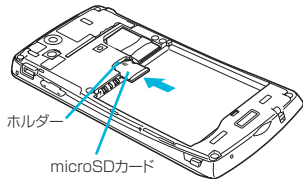
1 **リアカバーを外し、電池パックを取り出して、ドコモUIMカードを指の先で押さえながら、手前にすべり出すように取り出す**

microSDカードについて

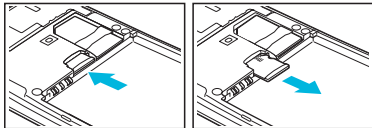
microSDカードは、互換性のある他の機器でも使用できます。

- microSDカードを取り付けていない場合、カメラ機能、音楽・動画の再生やダウンロード、Bluetooth機能を使用した通信などはご利用になれません。
- 本FOMA端末では市販の2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2011年3月現在）。
- 対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカへお問い合わせください。

microSDカードを取り付ける

1 **リアカバーのミゾに親指の指先（爪）をかけて、矢印（❶）の方向へリアカバーを持ち上げて取り外す**

2 **電池パックを取り出してmicroSDカードの金属端子面を下に向けてホルダーに差し込む**

- microSDカードの金属端子面を下にして差し込みます。

microSDカードを取り外す

1　リアカバーを外し、電池パックを取り出して、microSDカードを指の先で押さえながら、手前にすべり出すように取り出す

充電する

お買い上げ時は、FOMA端末の電池は十分に充電された状態ではありません。

充電時間

電池パックが空の状態から充電したときの時間です。低温時に充電すると、充電時間は長くなります。

ACアダプタケーブル S002（付属品）	約170分

十分に充電したときの使用時間（目安）

使用環境や電池パックの状態によって使用時間は異なります。詳しくは（P.204）をご参照ください。

連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約460時間 移動時（自動）：約320時間 移動時（3G固定）： 約420時間
	GSM	約300時間（静止時）
連続通話時間	FOMA／3G	約360分
	GSM	約390分

電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 環境保全のため、不要になった電池はNTT ドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

充電について

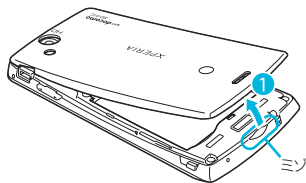
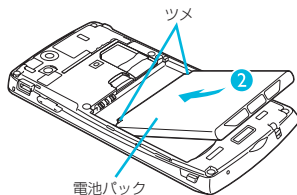
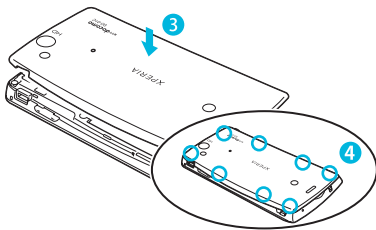
- 必ずSO-01Cに専用の電池パックSO05を取り付けて充電してください。
- 付属のACアダプタの対応電圧はAC100Vから240Vです。海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電には付属のACアダプタケーブルをお使いください。
- 充電を開始すると、FOMA端末の通知LEDが赤色／橙色／緑色に点灯し、緑色に点灯すると電池残量が90%以上になったことを示します。充電状態は、ホーム画面で ≡ を押し、［設定］▶［端末情報］▶［端末の状態］をタップして、「電池残量」で確認できます。充電が完了すると、電池残量が「100%」と表示されます。
- 電源オフ時に充電を開始すると、操作はできませんがFOMA端末の電源はオンになります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域では充電を行わないでください。

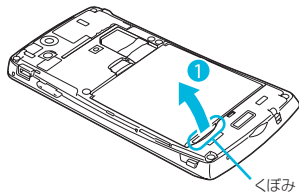
長時間（数日間）充電はおやめください

- 充電したままFOMA端末を長時間おくと、充電が終わった後、FOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際には短い時間しか使えないことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、FOMA端末を一度ACアダプタケーブルから外してもう一度セットして充電し直してください。

電池パックを取り付ける

- 電池パックの取り付け／取り外しは、FOMA端末の電源を切ってから行ってください。

1 リアカバーのミゾに親指の指先（爪）をかけて、矢印（❶）の方向へリアカバーを持ち上げて取り外す

2 **電池パックの充電端子の位置を確認して、FOMA端末と電池パックのツメを合わせるように矢印（❷）の方向へ差し込む**

3 **リアカバーの向きを確認して、FOMA端末に合わせるように装着し（❸）、○部分をしっかりと押し、FOMA端末とすき間がないことを確認する（❹）**

電池パックを取り外す

1 **リアカバーを取り外し、FOMA端末のくぼみに指先（爪）をかけ、電池パックを矢印（❶）の方向に持ち上げて取り外す**

ACアダプタを使って充電する

1 **付属のmicroUSBケーブルのmicroUSBプラグの⭠⭢の刻印面を上にして、FOMA端末のmicroUSB接続端子に水平に差し込む**

2 **microUSBケーブルのUSBプラグの⭠⭢の刻印面を上にして、ACアダプタのUSB接続端子に水平に差し込み、ACアダプタのプラグを電源コンセントに差し込む**

3 **充電が終わったら、microUSBケーブルのmicroUSBプラグをFOMA端末から取り外す**

次ページへつづく

4 ACアダプタを電源コンセントから取り外す

❖注意

- FOMA端末のmicroUSB接続端子に充電などのためmicroUSBケーブル接続を行った場合は、操作はできませんが電源はオンになります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではmicroUSBケーブル接続を行わないようご注意ください。

パソコンを使って充電する

1 microUSBケーブルのmicroUSBプラグの の刻印面を上にして、FOMA端末のmicroUSB接続端子に水平に差し込む

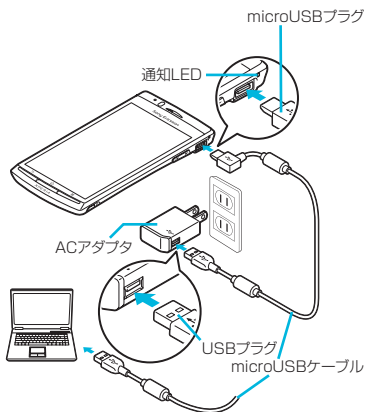
2 microUSBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートに水平に差し込む

- 本FOMA端末上に「PC Companion ソフトウェア」画面が表示されたら、[スキップ] をタップしてください。
- パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示されたら [キャンセル] を選択してください。

3 充電が終わったら、microUSBケーブルのmicroUSBプラグをFOMA端末から取り外す

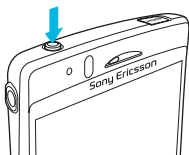
4 microUSBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートから取り外す

❖注意

- FOMA端末のmicroUSB接続端子に充電などのためmicroUSBケーブル接続を行った場合は、操作はできませんが電源はオンになります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではmicroUSBケーブル接続を行わないようご注意ください。
- 接続方向をよくご確認の上、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **⏻ を１秒以上押す**

- キーロックの解除画面が表示されます。

2 **キーロックを解除する**

- キーロックの解除方法については、「キーロックを解除する」（P.30）をご参照ください。

❖お知らせ

- 初めて電源を入れたときは「セットアップガイド」（P.30）が表示されます。
- 画面ロック、SIMカードロックをかけていた場合は、電源を入れるとPINコード入力画面が表示されますので、PINコードを入力して、［OK］をタップします。PINの入力ミスを訂正するには、DEL／✕をタップします。

電源を切る

1 **⏻ を１秒以上押す**

- 携帯電話オプションメニューが表示されます。

2 **［電源を切る］をタップする**

3 **［OK］をタップする**

キーロックを設定する

キーロックを設定すると、画面のバックライトが消灯し、タッチスクリーンやボタンの誤動作を防止することができます。

- 本FOMA端末では、設定した時間が経過すると、自動的に画面のバックライトが消灯してキーロックが設定されます。

1 **⏻ を押す**

❖お知らせ

- バックライトの消灯とキーロックするまでの時間の設定は、「画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定する」（P.101）をご参照ください。
- キーロックを無効にする設定はありません。
- 画面ロックを設定している場合、キーロックを解除するときにパターン、PIN、パスワードの入力などを求められます。画面ロックの設定については、「画面ロック」（P.104）をご参照ください。

キーロックを解除する

キーロック解除画面は、電源を入れたとき、または ⓘ ／ [⌂] を押してバックライトを点灯させたときに表示されます。

1 **にタッチして、を に向かって重なるまでドラッグする**

キーロック

❖**お知らせ**

- にタッチするまでは、右側には が表示されています。にタッチして左側へドラッグすると、キーロックや画面ロックを解除せずに着信音のオン／オフを切り替えることができます。

初期設定（セットアップガイド）

本FOMA端末の電源を初めて入れたときは、使用する言語や、ワイヤレスネットワーク、オンラインサービスなどを設定したり、連絡先をインポートするセットアップガイドが表示されます。

❖**お知らせ**

- 必要に応じて後から設定・変更することができます。
  後から設定をする場合は、ホーム画面で をタップし、[設定] または [セットアップガイド] をタップして、表示されるメニューから設定してください。

1 **ⓘ を１秒以上押す**

- 言語を選択する画面が表示されます。

2 **[日本語] ▶ [完了] をタップする**

- 「ようこそ」画面が表示され、機能の使いかたと初期設定を行うことができます。

3 **をタップする**

- インターネット接続画面が表示されます。[モバイルネットワークまたはWi-Fi] または [Wi-Fiのみ] のどちらかをタップして選択します。

4 **をタップする**

- ワイヤレスネットワーク画面が表示されます。[ネットワークの検索] をタップして、Wi-Fiネットワークの追加を行います。

5 **をタップする**

- サービス画面が表示されます。
  「Google（P.109）」「Facebook（P.110）」「Exchange ActiveSync（P.119）」の設定を行います。

次ページへつづく

6 [→]をタップする

- 自動更新画面が表示されます。[自動更新する］または［自動更新しない］のどちらかをタップして選択します。

7 [→]をタップする

- 連絡先インポート画面が表示されます。ドコモUIMカードに保存された連絡先がある場合は、ホーム画面で[▦]▶［電話帳］をタップし、連絡先インポート画面で「連絡先インポート」の［インポート］▶［SIMカード］／［メモリカード］をタップして、保存先を選択▶保存したい連絡先を選択します。

8 [→]▶［完了］をタップする

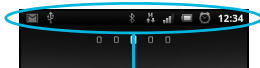
- ホーム画面が表示されます。

❖お知らせ

- オンラインサービスを設定する前に、データ接続可能な状態であること（3G/GPRS）を確認してください。データ接続状態を知るには、「ステータスアイコン」（P.31）をご参照ください。

ステータスバー

ステータスバーは画面上部に表示されます。ステータスバーにはFOMA端末のステータスと通知情報が表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側に本体のステータスアイコンが表示されます。

❖注意

- アプリケーションの「ステータスバー」を強制停止（P.107）すると正常に動作しない場合があります。

ステータスアイコン

画面に表示される主なステータスアイコンは次のとおりです。

アイコン	説明	アイコン	説明
[アイコン]	電波状態	[アイコン]	Bluetoothデバイスに接続中
[アイコン]	国際ローミング中	[アイコン]	GPS測位中
[アイコン]	圏外	[アイコン]	データ同期中
[アイコン]	FOMAハイスピード使用可能	[アイコン]	機内モード設定中
[アイコン]	FOMAハイスピードの送信およびダウンロード中	[アイコン]	マナーモード（バイブレーション）に設定中
[アイコン]	GPRS使用可能	[アイコン]	サウンドOFF（着信音量0）
[アイコン]	GPRSデータの送信およびダウンロード中	[アイコン]	スピーカーフォンがオン
[アイコン]	3G使用可能	[アイコン]	マイクをミュートに設定中

	3Gデータの送信およびダウンロード中		アラーム設定中
	Wi-Fi接続中		電池の状態
	AutoIP機能でWi-Fi接続中		充電中
	Bluetooth機能ON		ドコモUIMカードロック中、またはドコモUIMカードが未挿入

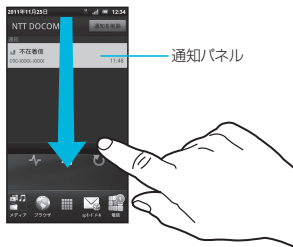
通知アイコン

画面に表示される主な通知アイコンは次のとおりです。

	新着Eメールあり		留守番電話あり
	新着Gmailあり		カレンダーの予定あり
	新着メッセージ（SMS）あり		楽曲を再生中
	メッセージ（SMS）の配信に問題あり		FMラジオ使用中
	新着インスタントメッセージあり		USB接続中
	新着エリアメールあり		HDMI接続中
	新着Facebookメッセージあり		データ通信無効
	Facebookへデータアップロード中		Wi-Fiオープンネットワーク利用可能
	Facebookへデータアップロード完了		VPN接続中
	データを受信／ダウンロード		VPN未接続
	データを送信／アップロード		Connected devicesにてメディアサーバー実行中
	Bluetooth機能の接続要求通知あり		Connected devicesにてメディアサーバーへ接続要求通知あり
	microSDカードを取り外すためにマウント解除（読み書き不可）		赤色：エラーメッセージ 黄色：注意メッセージ
	インストール完了（Android マーケットなどでアプリケーションをインストールする際）		同期に問題あり
	ソフトウェア更新通知あり、または更新中		セットアップガイド未確認
	アップデート通知（インストール済みマーケットアプリのアップデートが通知される際）		その他の（表示されていない）通知あり
	発信中、着信中、通話中		Wi-Fiテザリング設定中
	Bluetoothデバイスで通話中		USBテザリング設定中
	通話保留中		Wi-FiテザリングおよびUSBテザリング設定中
	不在着信あり		

通知パネル

通知アイコンは通知パネルに表示されます。メッセージ、リマインダー、予定の通知などの通知を通知パネルから直接開くことができます。

通知パネルを開く／閉じる

1 ステータスバーを下にドラッグする

- [戻る] を押して通知パネルを閉じます。

通知パネル内の表示を削除する

1 通知パネルで、［通知を削除］をタップする

❖**お知らせ**

- 通知内容によっては通知を削除できない場合があります。

通知LEDについて

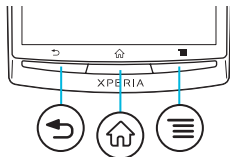
FOMA端末のステータスまたは着信や受信などの通知情報を表示します。

LEDの見かた

LEDの色と点滅	通知内容
赤の点灯	充電中、電池残量が10%以下であることを示す
赤の点滅	電源ON時に電池残量が起動するのに十分でないことを示す
緑の点灯	充電中、電池残量が90%以上であることを示す
緑の点滅	バックライト消灯中、不在着信／新着メッセージ（SMS）／新着Eメールがあることを示す
薄紫の点滅	着信中であることを示す
青の点滅	バックライト消灯中に受信したspモードメールがあることを示す
橙色の点灯	充電中、電池残量が11%-89%であることを示す

- LEDの表示色の見えかたには、多少の差異があります。

基本操作

ハードウェアキー操作の基本

キー	名称	説明
[バックキー]	バック	• 直前の画面に戻ります。または、ダイアログボックス、オプションメニュー、通知パネルを閉じます。 • ソフトウェアキーボードを閉じます。
[ホームキー]	ホーム	• ホーム画面に戻ります。 • 1秒以上押すと、最近使用したアプリケーションの一覧を表示します。
[メニューキー]	メニュー	• ホーム画面またはアプリケーションで実行できるメニューを開きます。 • 文字入力時に1秒以上押すと、ソフトウェアキーボードを表示／非表示できます。 • ホーム画面で1秒以上押してソフトウェアキーボードを表示させ、任意のキーをタップすると、Google検索が起動します。

※ 本書では、各キーの操作を[バックキー]、[ホームキー]、[メニューキー]を使って説明しています。

タッチスクリーンの使いかた

タッチスクリーン利用上のご注意

• タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
• 次の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作

タッチスクリーン上の操作

■ タップ

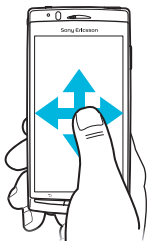
アイコンやメニューなどの項目に指で軽く触れ、すぐに離します。

• 2回続けてすばやくタップすることを、ダブルタップといいます。

■ タッチ

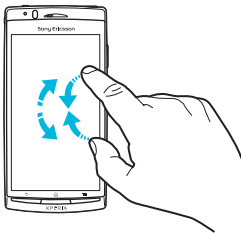
アイコンやメニューなどの項目に指で長く触れます。

■ フリック

画面を指で軽くなぞり、上下左右にはらうように操作します。
画面を切り替えたりスクロールしたりします。

■ ドラッグ

画面をタッチしたまま目的の位置までなぞり、指を離します。

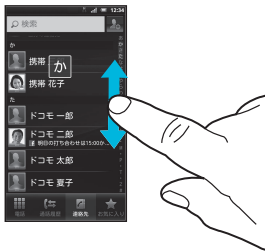
■ ピンチ

画面を2本の指で触れ、指の間隔を開いたり（ピンチアウト）閉じたり（ピンチイン）します。
一部の画面では、ピンチアウトすると表示を拡大、ピンチインすると表示を縮小します。

❖お知らせ

- 表示の拡大／縮小は、ダブルタップやズームコントロールアイコン（－／＋）をタップしても変更することができます。ズームコントロールアイコンは、好きな方向に画面をドラッグすると表示される場合があります。

リストからすばやく項目を選択する

連絡先など一部のリストでは、画面右横に五十音順、アルファベット順のインデックス文字が表示されます。

- インデックスの文字列に沿って指をドラッグすると、リストをスクロールできます。

- インデックス文字をタップすると、リスト上を移動できます。

オプションにチェックを入れるまたはチェックを外す

チェックボックスまたはラジオボタンにチェックマークを入れたり、チェックマークを外すことにより、オプション設定のオン／オフを切り替えることができます。

- オプション設定のオン／オフを切り替えるには、チェックボックスまたはラジオボタンをタップします。

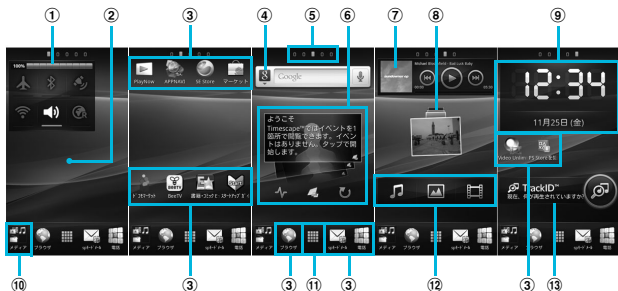
■ チェックボックス

チェックを入れる	
チェックを切る	

■ ラジオボタン

チェックを入れる	
チェックを切る	

ホーム画面

ホーム画面は、中央の画面と左右に2つずつの補助画面の5つの画面で構成されています。中央の画面はFOMA端末操作上の初期画面となります。ホーム画面ではアプリケーションのショートカットやウィジェットを追加・移動したり、壁紙を変えるなどカスタマイズできます。

① ウィジェット：ステータススイッチ
② 壁紙
③ ショートカット（アプリケーション）
④ ウィジェット：検索（P.42）
⑤ ホーム画面位置：5つのホーム画面のうちの現在表示位置
⑥ ウィジェット：Timescape™
⑦ ウィジェット：ミュージックプレーヤー
⑧ ウィジェット：写真とムービー
⑨ ウィジェット：デジタル時計
⑩ メディアフォルダ（ギャラリー、ミュージック、FMラジオ）
⑪ アプリケーションボタン
⑫ ウィジェット：メディアショートカット
⑬ ウィジェット：TrackID™

ホーム画面を切り替える

1 ホーム画面を左または右にフリックする

- ホーム画面が切り替わります。

❖お知らせ

- ホーム画面上部に表示される [インジケータ] で、現在表示しているホーム画面の位置を確認できます。

ホーム画面を変更する

1 ホーム画面で [メニューキー] を押す

2 ［追加］をタップする

- 「ホーム画面に追加」メニューが表示され、ホーム画面を変更できます。

■ ホーム画面に追加

ショートカット	アプリケーションや設定画面などのショートカットを追加します。（P.38）
ウィジェット	ウィジェットを追加します。（P.38）
フォルダ	ショートカットなどをまとめておけるフォルダを追加します。（P.40）
壁紙	壁紙を変更します。（P.41）
テーマ	テーマを変更します。（P.41）

❖お知らせ

- ホーム画面上のアイコンがない部分で画面を長くタッチしても、「ホーム画面に追加」メニューが表示されます。

ホーム画面にショートカットを追加する

1 「ホーム画面に追加」メニューで、［ショートカット］をタップする

2 追加したいショートカットを選択する

- ショートカットがホーム画面に表示されます。

❖お知らせ

- 次の操作でも、ホーム画面にアプリケーションのショートカットを追加できます。
  - ホーム画面で▦をタップし、アイコンをホーム画面が表示されるまで長くタッチして、ショートカットを置きたい場所で指を離す。

ウィジェットを追加する

1 「ホーム画面に追加」メニューで、［ウィジェット］をタップする

- ウィジェットの一覧が表示されます。

Facebook	友達のコメントを表示
Latitude	友達の現在地を表示
LiveWare™マネージャ	マイク付ステレオヘッドセット（試供品）や市販のイヤホンを接続したとき、またはmicroUSBケーブルとACアダプタで充電接続したときなどに、選択したアプリケーションが自動的に起動するように設定
Timescape™ウィジェット	最新のTimescapeタイルを表示
TrackID™	TrackIDを表示

Twitter（小）	友達のコメントを表示
Twitter（大）	友達のコメントと入力画面を表示
YouTube	再生回数の多い動画やおすすめの動画などを表示
アナログ時計	アナログ時計を表示、タップしてアラームを起動
おみせメモツール	近くのお店の情報の表示やクチコミの投稿
オン／オフ：Bluetooth	Bluetooth機能のオン／オフ切替
オン／オフ：GPS	GPS機能のオン／オフ切替
オン／オフ：WiFi	Wi-Fi機能のオン／オフ切替
オン／オフ：サウンド	スピーカーオン／バイブレータ切替
オン／オフ：バックライト	バックライトのオン／オフ切替
オン／オフ：ローミング	モバイルネットワーク設定の各設定ボタンを表示
お気に入りと通話履歴	お気に入りに設定した連絡先と、その連絡先との通話履歴を表示
カレンダー	カレンダーを表示
ステータススイッチ	電池残量（%）、機内モードのオン、Bluetooth機能のオン、GPS機能のオン、Wi-Fi機能のオン、スピーカーオン／バイブレータ切替、モバイルネットワーク設定の各設定ボタンを表示
ソニーミュージック アプリ	ソニーミュージックのウェブサイトを表示
タイマー	タイマーを表示
データ送受信	データ通信のオン／オフ切り替え
デジタル時計	デジタル時計を表示、タップしてアラームを起動
デジタル時計	デジタル時計を表示
ニュースと天気	ニュースや天気を表示
ホーム画面のヒント	ホーム画面の操作のヒントを表示
マーケット	Androidマーケットのおすすめのアプリケーションを表示
ミュージックプレーヤー	ミュージックプレーヤーを表示
メディアショートカット	ミュージックプレーヤー、ギャラリー（写真、動画）を表示
検索	クイック検索ボックスを表示
写真とムービー	microSDカード内に保存された写真や動画を表示
写真フレーム	撮影した写真をトリミングしてホーム画面に表示
渋滞状況	ウィジェット名と目的地を入力すると、ホーム画面に現在地から目的地までの所要時間とともにウィジェットが表示され、タップして提供されている渋滞状況を確認
世界時計	タイムゾーンを選択して世界各地の日時を3つまで表示
天気ウィジェット	設定した場所の天気を表示
友達のゲームとアプリケーション	Facebookにログインして友達が使用しているアプリケーション情報を取得・確認
友達の音楽と動画	Facebookで共有されている動画や音楽の一覧を表示

次ページへつづく

2 項目を選択する

❖お知らせ

- Androidマーケットからウィジェットのあるアプリケーションをインストールした場合、インストールしたウィジェットもウィジェット一覧に表示されます。

ホーム画面のウィジェットを一覧表示する

1 ホーム画面でピンチインする

- ホーム画面に追加しているウィジェットの一覧が表示されます。

❖お知らせ

- ホーム画面に戻るには、ピンチアウトするか、［戻る］をタップするか、［戻るキー］を押します。

ホーム画面にフォルダを作成する

1 「ホーム画面に追加」メニューで、［フォルダ］をタップする

- ［新規フォルダの作成］入力ボックスをタップすると、フォルダの名前を変更できます。

2 ［完了］をタップする

- フォルダがホーム画面に表示されます。

フォルダに項目を追加する

1 ホーム画面で、ショートカットアイコンをFOMA端末が振動するまで長くタッチする

2 ショートカットアイコンをフォルダの上にドラッグする

3 アイコンから指を離す

- フォルダにショートカットが追加されます。

フォルダの名前を変更する

1 フォルダをタップして開く

2 フォルダのタイトルバーをタップする

3 ［フォルダ名］入力ボックスをタップしてフォルダ名を入力し、［完了］をタップする

壁紙を変更する

1 **「ホーム画面に追加」メニューで、[壁紙] をタップする**

2 **[Sony Ericssonの壁紙] ／ [ギャラリー] ／ [ライブ壁紙] をタップする**

- [Sony Ericssonの壁紙] をタップした場合は、壁紙にする画像を選択し、[壁紙を設定] をタップします。
- [ギャラリー] をタップした場合は、壁紙にする画像を選択し、ピンチまたはドラッグして壁紙に使用したい画像の範囲にトリミング枠を設定して、[保存] をタップします。
- [ライブ壁紙] をタップした場合は、コンテンツを選択し、[壁紙に設定] をタップします。ライブ壁紙のコンテンツは、ウェブサイトからダウンロードして追加することもできます。

❖お知らせ

- ホーム画面で を押し、[壁紙] をタップしても変更することができます。

テーマを変更する

ホーム画面や設定画面の背景の画像を、テーマの中から設定します。

1 **「ホーム画面に追加」メニューで、[テーマ] をタップする**

2 **変更したいテーマを選択する**

❖お知らせ

- ホーム画面で を押し、[テーマ] をタップするか、ホーム画面で を押し、[設定] ▶ [画面設定] ▶ [テーマ] をタップしても変更することができます。

ホーム画面のアイコンを移動する

1 **ホーム画面で、アイコンをFOMA端末が振動するまで長くタッチする**

2 **アイコンをタッチしたままドラッグする**

- タッチしたままホーム画面の左または右までドラッグすると、別のホーム画面へ移動できます。

3 **アイコンから指を離す**

ホーム画面のアイコンを削除する

1 **ホーム画面で、アイコンを画面下部に が表示されるまで長くタッチする**

2 **アイコンを のところまでドラッグする**

- アイコンが赤色に表示されます。

3 **アイコンから指を離す**

ホーム画面のショートカットやウィジェットを共有する

ホーム画面上のアプリケーションのショートカットやウィジェットを、簡単な操作で他の人に紹介することができます。自分で見つけたアプリケーションやウィジェットのダウンロード情報（URL）を手動で入力することなく送信／投稿します。

1 ホーム画面でショートカットやウィジェットを長くタッチする

- ステータスバーの位置に「共有エリア」が表示されます。

2 ショートカットやウィジェットをタッチしたまま「共有エリア」にドラッグする

- 送信方法の選択画面が表示されます。

3 送信方法（Bluetooth／Facebook／Gmail／Twitter／メッセージ）を選択して送信する

- 送信方法については、「Bluetooth機能を利用する」（P.163）、「Gmailを利用する」（P.126）、「メッセージ（SMS）を送信する」（P.117）をご参照ください。FacebookとTwitterについては、あらかじめ「Facebookアカウントを設定する」（P.110）を参考にしてアカウントを設定しておくと、投稿画面が表示され、情報を投稿できます。
- すでにFacebookのアカウント設定およびSony Ericsson端末用Facebookの設定をしていた場合は、手順2の操作で直接Facebookの投稿画面が表示され、そのままFacebookへ投稿できます。「他の共有方法」をタップして送信方法を選択することもできます。

❖お知らせ

- アプリケーションやウィジェットによっては、共有できないものがあります。
- ドコモUIMカードを取り付けていない場合、共有はできません。

FOMA端末内やウェブページの情報を検索する

検索ボックスに文字を入力すると、FOMA端末内やウェブ上の情報を検索することができます。

1 ホーム画面上の検索ボックス（P.37の④）をタップする

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

2 検索する語句を入力する

- 文字の入力に従って、検索結果の候補が表示されます。
- 文字の入力については、「文字入力」（P.50）をご参照ください。

3 **検索項目または → をタップする**

- 検索語句を入力し直す場合は、[戻る] を押します。

❖**お知らせ**

- ホーム画面で ▦ をタップし、［検索］をタップしても検索画面が表示されます。
- 検索ボックス左の 8 をタップすると、「すべて」「ウェブ」「アプリ」など検索する範囲を設定できます。
- 検索ボックス右の 🎤 をタップすると、音声で検索語句を入力し、ウェブ上を検索できます。

検索設定

クイック検索ボックスで使用するウェブ検索エンジンや、FOMA端末内での検索対象を設定できます。

1 **ホーム画面上の検索ボックス（P.37の④）をタップする**

2 **[メニュー] を押し、［検索設定］をタップする**

- 検索設定画面が表示され、次の設定ができます。

Google検索の設定	検索文字の入力時に検索候補を表示するかどうか、検索候補に以前の検索結果を反映させるかどうかなどを設定することができます。また、ブラウザでウェブ検索履歴設定のページを開くことができます。 • Googleアカウントが必要になります。
検索対象	検索対象とするFOMA端末内のデータの種類（ウェブ・Twitter・アプリ・ミュージック・メッセージ・電話帳・音声検索）にチェックを入れる／外すことで、検索範囲を変更できます。
ショートカットを消去	最近選択した検索結果を表示しないようにできます。

アプリケーション画面

アプリケーション画面から、FOMA端末に搭載されているアプリケーションにアクセスできます。

アプリケーション画面を表示する

アプリケーションボタン

1 **ホーム画面で ▦ をタップする**

- アプリケーション画面で左右にフリックすると、アプリケーション画面を切り替えられます。

❖**お知らせ**

- アプリケーション画面を閉じるには、🏠 をタップするか、[戻る] または [ホーム] を押します。

アプリケーションの種類

お買い上げ時のアプリケーション画面に表示されるアプリケーションは次のとおりです。
• 一部のアプリケーションの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがあります。

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	ドコモマーケット	アプリも動画も探せるドコモマーケットにアクセスすることができます。	P.169
	BeeTV	BeeTVは携帯電話専用放送局です。オリジナルのドラマ、音楽、バラエティなどの番組を視聴できます。	－
	書籍・コミック E★エブリスタ	プロ作家・有名人のオリジナル作品から一般ユーザーの人気投稿作品まで、話題の電子書籍や電子コミックなどが閲覧できます。	－
	BOOKストア 2Dfacto	本格的な文芸書、人気のコミック、話題のビジネス書など、数多くのジャンルの電子書籍を購入して閲覧できる電子書籍ストアです。	－
	PlayNow	各種お得情報が閲覧できるPlayNowのサイトに接続します。	P.184
	電話帳	友人や同僚の連絡先を管理します。	P.70
	電話	電話の発信／着信、通話の切り替えが行えます。	P.66
	メッセージ	メッセージ（SMS）を送受信します。	P.117
	ブラウザ	ウェブサイトおよびWAPサイトの閲覧（WMLは除く）や、ファイルのダウンロードができます。	P.128
	Timescape™	ソーシャルネットワークサービス（SNS）、不在着信、メッセージ（SMS）の履歴を閲覧できます。履歴からは電話の発信やメッセージの送信などを行うことができます。	P.170
	設定	FOMA端末の各種設定を行います。	P.87
	セットアップガイド	セットアップガイドを表示します。	P.30
	ミュージック	microSDカードに保存した音楽データを再生します。	P.153
	ギャラリー	撮影した写真や動画、PicasaやFacebookなどにアップした画像を閲覧できます。	P.148
	アラーム	アラームの設定を行います。	P.183

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	カメラ	写真の撮影、動画の録画ができます。	P.134
	Eメール	Eメール（複数のアカウントを使用可）を送受信します。	P.119
	マーケット	Androidマーケットにアクセスして新しいアプリケーションのダウンロード・購入ができます。	P.168
	Facebook	Facebookクライアントアプリを起動します。	P.110
	カレンダー	カレンダーを表示して、予定の管理をします。	P.180
	Video Unlimited	お気に入りの映像作品を端末にダウンロードして、どこでも視聴することができるサービス「Video Unlimited（ビデオアンリミテッド）」へ接続します。	P.184
	マップ	現在地の確認、他の場所の検索や経路検索などGoogleマップのサービスを利用できます。	P.175
	Gmail	Googleアカウントのメールを送受信できます。	P.126
	トーク	Google トークを利用してチャットができます。	P.127
	ナビ	Googleマップナビを表示して、目的地への音声ナビゲーションなどを利用できます。	P.178
	プレイス	Googleマップ上に登録された現在地付近のお店など各種情報を利用できます。	P.177
	Latitude	地図上で特定の友人と位置の確認や位置情報などを共有できます。	P.178
	電卓	加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算を行います。	―
	TrackID™	再生している音楽の情報を確認するサービスを利用できます。	P.156
	YouTube	世界中の動画を再生したり、録画した動画をアップロードできます。	P.151
	Evernote Launcher	Webサイトの内容や撮影した画像、アイデアのメモなど、さまざまな情報をサーバーに保存し、必要なときに検索・閲覧できます。情報の保存や閲覧は本FOMA端末だけでなく、パソコンやその他デバイスからも行えます。	―
	spモードメール	ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。	P.117

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	ecoモード	ディスプレイの明るさなど各種設定を調整することにより、電池の消費を抑える「ecoモード」を設定するアプリです。	―
	エリアメール	緊急速報「エリアメール」の受信と、受信したエリアメールの確認ができるアプリです。	P.127
	SE Store	本FOMA端末のアクセサリー製品を紹介するサイトを表示します。	P.185
	取扱説明書	本FOMA端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。	P.2
	ニュースと天気	現在地情報を取得して天気予報を表示したり、カテゴリごとの各種ニュースを閲覧できます。	―
	ダウンロード	ダウンロードの一覧を表示します。	P.106
	Mobage	Mobage提供のコンテンツを楽しむためのアプリです。	―
	ｉチャネル	ｉチャネルを利用するためのアプリです。	―
	検索	キーワードからFOMA端末内やウェブページを対象に検索できます。	P.42
	Connected devices	Connected devicesにてメディアサーバーの設定、管理を行います。	P.167
	スタートアップガイド	基本的な操作方法や初期設定をサポートします。	P.185
	FMラジオ	FMラジオを利用できます。	P.179
	トルカ	トルカの取得・表示・検索・更新などができます。	P.185
	キャンペーンナビ	Xperia のキャンペーン情報を閲覧できます。	―
	Gガイド番組表	地上波テレビやBSデジタル放送の番組表が閲覧できるアプリです。キーワードやジャンルによる番組検索、外出先からの遠隔録画も可能です。	―
	時計	時計を表示して、アラームの設定などができます。	P.182
	APPNAVI	Android端末専用のアプリケーションを紹介します。カテゴリやランキングなどからアプリケーションを検索できます。	―
	定型文	定型文の新規追加や、修正・削除などの編集が可能です。	P.64

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	Twitter	Twitterの公式クライアントアプリです。サイト上に短いメッセージを公開して、他の人とコミュニケーションをとることができます。	－
	電話帳コピーツール	microSDカードなどの外部記録媒体を利用して電話帳データの移行やコピーができるアプリです。	P.78
	VirusScan（ドコモ あんしんスキャン）	端末をウイルス被害から守るアプリです。インストールしたアプリやmicroSDカードなどに潜むウイルスを検出します。	－
	メロディコール	メロディコールを利用するためのアプリです。	－
	音楽と動画	Facebookで共有されている動画や音楽の一覧を表示します。	P.186
	Twonky	端末と家電をつなげるアプリです。端末内やインターネット上の動画・写真・音楽をテレビやオーディオにワイヤレス再生することができます。	－
	声の宅配便	「声の宅配便」をスマートフォンでも簡単・便利に利用するためのアプリです。声のメッセージを簡単な操作で録音・再生することができます。	－
	電話帳バックアップ	電話帳データを電話帳バックアップセンターに自動で定期的にバックアップすることができます。端末の紛失時や誤って削除した際にデータを復旧できます。	－
	PS Storeを始めよう	『PS Store』を紹介するサイトを表示します。 ゲームをダウンロードして端末で楽しむことができます。	－
	OfficeSuite	Officeドキュメントを閲覧、表示できます。	P.184
	地図アプリ	地図・お店や施設検索・ナビ・乗換・訪れた街などの機能でおでかけをサポートします。	－
	音声検索	音声入力によりGoogle検索を利用できます。	P.42
	ドコモ海外利用	海外でのパケット通信利用をサポートするアプリです。データローミング設定や海外パケ・ホーダイを利用する際の対象事業者設定を簡単に行うことができます。	－
	更新センター	最新のソフトウェアとアプリケーションをSony Ericssonのウェブサイトから取得することができます。	P.201

アイコン	アプリケーション	概要	参照先
	マクドナルド	マクドナルドのクーポンや店舗検索が利用できます。	―
	ゲームとアプリ	Facebookにログインして友達が使用しているアプリケーション情報を取得・確認できます。	P.186
	mora touch	音楽ダウンロードサイトmora touchに接続します。	P.186
	LiveWare™ マネージャ	マイク付ステレオヘッドセット（試供品）や市販のイヤホンを接続したとき、またはmicroUSBケーブルとACアダプタで充電接続したときなどに、選択したアプリケーションが自動的に起動するように設定できます。	―
	楽天オークション	楽天オークションへの出品および入札ができるアプリです。	―
	life.episode™	ニュースや音楽などの最新情報が閲覧できます。	P.186

❖お知らせ

- アプリケーションによっては、名称が名前の最後まで表示されない場合があります。
- アプリケーションアイコンの上に、不在着信や未読メールの件数などが数字で表示されるアイコンがあります。
- アプリケーションによっては、ダウンロードとインストールが必要になるものがあります。アプリケーションをタップしてもダウンロードできない場合は、ホーム画面で［≡］を押し、［設定］▶［アプリケーション］▶［提供元不明のアプリ］にチェックを入れてからアプリケーションをタップします。

アプリケーションを並べ替える

アプリケーション画面に表示されるアプリケーションアイコンは、「並べ替え」メニューから並べ替えができます。

1 アプリケーション画面で をタップする

- 「並べ替え」メニューが表示されます。

カスタム並べ替え	アプリケーションアイコンを個別に指定して並べ替えます。（P.49）
アルファベット順	アルファベット順に並べ替えます。
よく使うアプリ	使用頻度順に並べ替えます。
最近インストールしたアプリ	インストール順に並べ替えます。

アプリケーションを指定して並べ替える

1 アプリケーション画面で をタップし、並べ替えたいアプリケーションのアイコンを長くタッチしてドラッグする

2 アプリケーションアイコンから指を離す

- アプリケーションアイコンが移動します。

3 をタップする

❖**お知らせ**

- アプリケーション画面の左または右までアイコンをドラッグすると、別のアプリケーション画面に移動できます。
- 一番右の画面までアイコンをドラッグすると、アプリケーション画面が追加できます。

アプリケーションをアンインストールする

アプリケーション画面から一部のアプリケーションアイコンを削除できます。

- アンインストールする前に、アプリケーション内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
- いくつかのアプリケーションはアンインストールできません。

1 アプリケーション画面で をタップする

2 の付いたアイコンをタップする

- アンインストール画面が表示されます。

3 ［OK］▶［OK］をタップする

4 をタップする

❖お知らせ

- FOMA端末にプリインストールされているアプリケーションは、アンインストールできない場合があります。
- アプリケーションを管理する画面からもアンインストールできます。詳細については、「インストールされたアプリケーションを削除する」（P.108）をご参照ください。

最近使用したアプリケーションのウィンドウを開く

最近使用したアプリケーションを表示してアクセスできます。

1 **[ホーム]を1秒以上押す**
- 最近使用したアプリケーションが一覧で表示されます。

文字入力

文字入力は、メッセージの作成や連絡先の登録など、文字入力欄をタップすると表示されるソフトウェアキーボードを使います。

❖お知らせ

- 文字入力画面から元の画面に戻るときは、[戻る]を押します。

入力方法の選択

本FOMA端末では、入力方法（キーボード種別）を「POBox Touch（日本語）」「外国語キーボード」「中国語キーボード」から選択できます。

POBox Touch（日本語）	日本語を入力する場合に選択します。
外国語キーボード	入力する言語を選択できます。日本語以外の言語を入力する場合に選択します。
中国語キーボード	中国語を入力する場合に選択します。

1 **文字入力画面でテキストボックスを長くタッチする**

2 **［入力方法］▶［POBox Touch（日本語）］／［外国語キーボード］／［中国語キーボード］をタップする**

❖お知らせ

- 入力方法（キーボード種別）は、文字入力中に変更することができます。

ソフトウェアキーボード

POBox Touch（日本語）では、QWERTY、12キー、50音の3種類のソフトウェアキーボードのスタイルを切り替えて使用できます。

❖お知らせ

- ソフトウェアキーボードのキー表示は、入力画面や文字種、設定によって変わります。

■ QWERTYキーボード

日本語を「ローマ字入力」で行う場合に使用します。

縦画面

横画面

■ 12キーキーボード

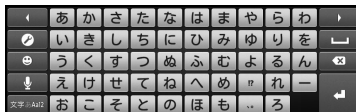
日本語を「かな入力」で行う場合に使用します。

縦画面

横画面

■ 50音キーボード

五十音順に並んだキーで日本語を「かな入力」できます。

縦画面

横画面

キーボードを切り替える

1 文字入力画面で、文字種アイコン を長くタッチする

2 ／／／／をタップする

- ：12キーキーボードを表示します。
- ：QWERTYキーボードを表示します。
- ：50音キーボードを表示します。
- をタップすると、POBox Touch（日本語）の設定画面が表示されます。
- をタップすると、プラグインアプリの一覧が表示され、［定型文］や［連絡先引用2.3］をタップすると、各プラグインアプリから文字を引用できます。

❖お知らせ

- お買い上げ時は、QWERTYキーボードに設定されています。その他、「キーポップアップ」「自動大文字変換」「予測変換」「入力ミス補正」のオプション設定がオンに設定されています。

QWERTYキーボードでの文字入力

日本語入力を「ローマ字入力」で行う場合は、QWERTYキーボードを使用します。

各タッチキーの主な役割

- QWERTYキーボード画面で表示されている次のアイコンをタップすると、文字種の変更など、入力操作の切り替えを行うことができます。

アイコン	機　能
／	タップするたびに、「ひらがな漢字」→「英字」→「数字」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーにあ→Aa／a／A→1の順にステータスアイコンが表示されます。 あ：ひらがな漢字 Aa：半角英字／A：全角英字 12：半角数字／1：全角数字
／ 長くタッチ	ポップアップウィンドウを表示します。 ／：キーボード切り替え 全（全角）／半（半角）：文字種切り替え ：POBox Touch（日本語）の設定画面を表示 ：プラグインアプリの一覧表示
	タップすると、半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます。（spモードメール入力時は絵文字タブも表示されます。）

アイコン	機　能
長くタッチ	プラグインアプリの一覧が表示され、プラグインアプリを起動することができます。
、。？！	句読点、？、！を入力します。 左右にフリックして、（スペース）・～…「」（）を入力できます。
	カーソル移動※1：左へ移動します。タッチしたままで連続移動します。変換時は変換範囲を変更します。
	カーソル移動※1：右へ移動します。タッチしたままで連続移動します。変換時は変換範囲を変更します。 未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します。
※2	入力文字、変換文字を確定します。入力・変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。
	カーソル位置の前の文字を削除します。タッチしたままで連続削除します。
	音声で文字を入力できます。候補一覧が表示されますので、入力したい文字列をタップします。
変換	変換確定前に表示され、タップすると文字の変換方法を「直変換」に切り替えます。
／	英字入力時にタップすると、大文字／小文字を切り替えます。 数字入力時にタップすると、キー入力できる記号に切り替えます。

※1 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタップするだけでカーソルを移動できます。

※2 変換確定前は「確定」と表示されます。また、検索ボックスやメールアカウントの登録画面など、一部の画面では、「次へ」「完了」「実行」などが表示されます。

表示するキーの変更

- 日本語入力でQWERTYキーボードに使用頻度の低いキー（Q、X、Cなど）を表示しないようにできます。

1 **文字入力画面で、文字種アイコンを長くタッチする**

2 **をタップする**

3 **［ソフトキーボード設定］▶［表示キー選択］をタップする**

- アシストキーボード（P.54）を「ノーマル」に設定している場合は、「表示キー選択」を選択できず、表示するキーの変更はできません。

4 **表示しないキーのチェックボックスのチェックを外す**

5 **［OK］をタップする**

アシスト記号の変更

- 、。？！(記号アシストエリア)に表示される記号（12個）をよく使うものに入れ替えることができます。

1 **文字入力画面で、文字種アイコン 文字 あAa12 を長くタッチする**

2 **をタップする**

3 **［ソフトキーボード設定］▶［アシスト記号変更］をタップする**

- QWERTYキーボードに表示される12個の記号の一覧が表示されます。

4 **変更したい記号をタップし、あらかじめ設定されている文字を削除して表示したい文字を入力する**

5 **［OK］をタップする**

❖お知らせ

- 初期状態に戻すには、手順３で ≡ を押し、［リセット］▶［OK］をタップします。

アシストキーボードを選択する

QWERTYキーボードでひらがな漢字入力する場合に、よく使用するキーの表示幅を大きく、タップしやすくするようにアシストキーボードを変更することができます。

1 **文字入力画面で、文字種アイコン 文字 あAa12 を長くタッチする**

2 **をタップする**

3 **［ソフトキーボード設定］▶［アシストキーボード選択］をタップする**

4 **［ワイド］／［ハイライト］／［ダイナミック］／［ノーマル］のいずれかをタップする**

■ ワイド

入力時によく使うキーの幅を広くタップしやすく表示します。

■ ハイライト

入力時によく使うキーの幅を広くして、次に入力が予測されるキーをハイライト表示します。

■ ダイナミック

次に入力が予測されるキーの幅をさらに広くタップしやすくして、ハイライト表示します。

■ ノーマル

キーの幅を均等に表示します。

12キーキーボードでの文字入力

日本語入力を「かな入力」で行う場合は、あかさたな順に並んだキーボードを使用して入力できます。

各タッチキーの主な役割

- 12キーキーボード画面で表示されている次のアイコンをタップすると、文字種の変更など、入力操作の切り替えを行うことができます。

アイコン	機　能
[文字 あAa12]／[文字 あA1]	タップするたびに、「ひらがな漢字」→「英字」→「数字」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーに あ→Aa／a→1 の順にステータスアイコンが表示されます。 あ：ひらがな漢字 Aa：半角英字／A：全角英字 12：半角数字／1：全角数字
[文字 あAa12]／[文字 あA1] **長くタッチ**	ポップアップウィンドウを表示します。 [キーボード]／[キーボード]：キーボード切り替え [全]（全角）／[半]（半角）：文字種切り替え [設定]：POBox Touch（日本語）の設定画面を表示 [プラグイン]：プラグインアプリの一覧表示
[顔]	タップすると、半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます。（spモードメール入力時は絵文字タブも表示されます。）

アイコン	機　能
☻ 長くタッチ	プラグインアプリの一覧が表示され、プラグインアプリを起動することができます。
英数カナ	変換確定前に表示され、文字の変換方法（「予測変換」「直変換」）を切り替えます。また、タップしたキーに割り当てられた英数文字の変換候補を表示します。
取消	変換確定後に表示され、変換前の表示に戻ります。
◂	カーソル移動※1：左へ移動します。タッチしたままで連続移動します。変換時は変換範囲を変更します。
▸	カーソル移動※1：右へ移動します。タッチしたままで連続移動します。変換時は変換範囲を変更します。未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します。
↵ ※2	入力文字、変換文字を確定します。入力・変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。
⌫	カーソル位置の前の文字を削除します。タッチしたままで連続削除します。
␣	直変換候補に表示されている候補を選択することができます。文字未入力時や文字を入力し確定した後にスペースを入力します。タッチしたままで連続してスペースを入力します。
🎤	音声で文字を入力できます。候補一覧が表示されますので、入力したい文字列をタップします。

アイコン	機　能
↺	1つ前の文字を表示（逆順）します。

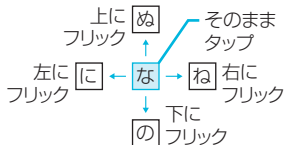
※1 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタップするだけでカーソルを移動できます。
※2 変換確定前は「確定」と表示されます。また、検索ボックスやメールアカウントの登録画面など、一部の画面では、「次へ」「完了」「実行」などが表示されます。

キー入力の設定

■ フリック入力

上下左右にフリックして各行の文字を入力します。

- **例：「な」行を入力する場合**

「な」は指をフリックせずタップだけで入力できます。「に」は左、「ぬ」は上、「ね」は右、「の」は下にそれぞれフリックして入力できます。

- 大文字／小文字の切り替えや濁点の付加は、大⇔小をフリックまたはタップして行います。
- フリック入力は、お買い上げ時の状態で利用できるように設定されています。ご利用にならない場合は、次の操作であらかじめ解除できます。
  ① ホーム画面で ≣ を押し、［設定］をタップする
  ② ［言語とキーボード］→［POBox Touch（日本語）］→［ソフトキーボード設定］をタップする
  ③ ［フリック入力］のチェックボックスのチェックを外す

■ トグル入力

同じキーを連続してタップし、割り当てられた文字を入力します。
同じキーに配列された文字を続けて入力するには、次のように操作します。

- **例：「あお」と入力する場合**
  ①「あ」を1回タップする
  ② ▸ をタップして「あ」を5回タップする
- **例：「ca」と入力する場合**
  ①「ABC」を3回タップする
  ② ▸ をタップして「ABC」を1回タップする

❖お知らせ

- キーをタップして一定時間が経過し、タップしたキーのハイライトが消えると、▸ をタップしなくても同じキーに配列された文字を続けて入力できます。

- 大文字／小文字の切り替えや濁点の付加は、大⇔小をタップして行います。
- フリック入力を設定しているときに、トグル入力でも文字を入力できるようにするには、次の操作を行います。
  ① ホーム画面で ≣ を押し、［設定］をタップする
  ② ［言語とキーボード］→［POBox Touch（日本語）］→［ソフトキーボード設定］をタップする
  ③ ［トグル入力］のチェックボックスにチェックを入れる

50音キーボードでの文字入力

日本語入力を「かな入力」で行う場合に、五十音順に並んだキーボードを使用して入力できます。

各タッチキーの主な役割

- 50音キーボード画面で表示されている次のアイコンをタップすると、文字種の変更など、入力操作の切り替えを行うことができます。

アイコン	機能
文字 あAa12／文字 あA1	タップすると、「ひらがな漢字」→「英数字」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーにあ→Aa1／a1／A1の順にステータスアイコンが表示されます。
文字 あAa12／文字 あA1 長くタッチ	ポップアップウィンドウを表示します。 ／：キーボード切り替え 全（全角）／半（半角）：文字種切り替え ：POBox Touch（日本語）の設定画面を表示 ：プラグインアプリの一覧表示
゛゜大⇔小	タップして大文字／小文字の切り替えや濁点を付加します。
	タップすると、半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます。（spモードメール入力時は絵文字タブも表示されます。）
長くタッチ	プラグインアプリの一覧が表示され、プラグインアプリを起動することができます。
	カーソル移動※1：左へ移動します。タッチしたままで連続移動します。変換時は変換範囲を変更します。
	カーソル移動※1：右へ移動します。タッチしたままで連続移動します。変換時は変換範囲を変更します。 未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します。
	直変換候補に表示されている候補を選択することができます。文字未入力時や文字を入力し確定した後にスペースを入力します。タッチしたままで連続してスペースを入力します。
※2	入力文字、変換文字を確定します。入力・変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。
	カーソル位置の前の文字を削除します。タッチしたままで連続削除します。
	音声で文字を入力できます。候補一覧が表示されますので、入力したい文字列をタップします。
／	英数入力時にタップすると、大文字／小文字を切り替えたり、キー入力できる記号に切り替えます。
	横画面時に表示され、POBox Touch（日本語）の設定を変更できます。

※1 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタップするだけでカーソルを移動します。

※2 変換確定前は「確定」と表示されます。また、検索ボックスやメールアカウントの登録画面など、一部の画面では、「次へ」「完了」「実行」などが表示されます。

テキストの編集

文字入力中にテキストボックスを長くタッチすると「テキストを編集」メニューが表示され、入力したテキストを編集できます。

語句を選択	スライダをドラッグし、入力したテキストの一部を選択します。
すべて選択	入力したテキストをすべて選択します。
入力方法	P.50
単語リストに「XX」(入力した語句)を追加	入力したテキストを単語リストに追加します。
切り取り	「語句を選択」/「すべて選択」すると表示されます。「語句を選択」/「すべて選択」で選択したテキストを切り取ります。
コピー	「語句を選択」/「すべて選択」すると表示されます。「語句を選択」/「すべて選択」で選択したテキストをコピーします。
貼り付け	「切り取り」/「コピー」すると表示されます。「切り取り」/「コピー」したテキストを貼り付けます。

文字入力の設定

キーボード種別ごとに、文字入力の各種設定を行うことができます。

1 ホーム画面で [≡] を押し、[設定] ▶ [言語とキーボード] をタップする

2 [外国語キーボード] / [POBox Touch(日本語)] / [中国語キーボード] をタップする

- 各キーボードの設定画面が表示されます。表示される画面の項目をタップして設定してください。

❖お知らせ

- 設定できる項目は、キーボードの種類により異なります。

POBox Touchの設定

ソフトキーボードの共通設定

キー操作音やキー操作バイブなどの入力に伴う各種設定を行います。

1 ホーム画面で［≡］を押し、［設定］▶［言語とキーボード］▶［POBox Touch（日本語）］をタップする

- POBox Touch（日本語）の設定画面が表示されます。

2 ［ソフトキーボード設定］をタップする

- 「ソフトキーボード共通設定」の項目をタップ（チェックを入れる／チェックを外す）して設定します。

キー操作音	キーをタップしたときに音を出すか出さないかを設定
キー操作バイブ	キーをタップしたときに振動するかしないかを設定
キーポップアップ	キーをタップしたときにどのキーをタップしたか確認するように設定
モード別キーボード保持	画面の向きとかな／英字／数字ごとに最後に使用したキーボードの状態を保つように設定

自動大文字変換

英字入力時に文頭の文字が自動的に大文字になるように設定します。

1 ホーム画面で［≡］を押し、［設定］▶［言語とキーボード］▶［POBox Touch（日本語）］をタップする

2 ［自動大文字変換］にチェックを入れる

キセカエ設定

キーボードの外観を変更することができます。

1 ホーム画面で［≡］を押し、［設定］▶［言語とキーボード］をタップする

2 ［POBox Touch（日本語）］▶［キセカエキーボード選択］をタップする

3 表示されるキーボードから選択し、［決定］をタップする

❖お知らせ

- キセカエキーボードをウェブサイトからダウンロードして追加するには、手順3で［Webから取得］をタップします。

予測変換設定

予測変換機能では、日本語・英語ともに入力した文字列に対して予測される変換候補を表示します。また、予測変換設定のチェックボックスにチェックを入れると、「入力ミス補正」「自動スペース入力」のオプション設定ができるようになり、文字入力の手間を軽減することができます。

予測変換を設定する

1 **ホーム画面で ≡ を押し、[設定] ▶ [言語とキーボード] をタップする**

2 **[POBox Touch（日本語）] をタップする**

3 **[予測変換] にチェックを入れる**

❖お知らせ

- 予測変換候補内で画面下部に向かってフリックまたはドラッグすると、予測変換候補が画面下部まで表示され、ソフトウェアキーボードが非表示となります。ソフトウェアキーボードを表示させたいときは、［戻る］または ⮌ を押します。

入力ミス補正を設定する

- QWERTYキーボードで半角英字を入力し、変換前の文字列に入力ミスがあった場合に、入力ミスを補正して変換候補を表示します。

1 **ホーム画面で ≡ を押し、[設定] ▶ [言語とキーボード] をタップする**

2 **[POBox Touch（日本語）] をタップする**

3 **[入力ミス補正] にチェックを入れる**

自動スペース入力を設定する

- 英語予測候補選択時に入力文字の後ろにスペースを入力します。ただし、メールアドレスやウェブアドレスしか入力できない入力欄では、自動スペースは入力されません。

1 **ホーム画面で ≡ を押し、[設定] ▶ [言語とキーボード] をタップする**

2 **[POBox Touch（日本語）] をタップする**

3 **[自動スペース入力] にチェックを入れる**

辞書設定

あらかじめ辞書の設定をしておくと、文字入力時に優先的に変更候補として表示されます。

ユーザー辞書に登録する

ユーザー辞書には「日本語ユーザー辞書」（かな漢字）と「英語ユーザー辞書」（半角英字）の2種類があります。

1 **ホーム画面で［≡］を押し、［設定］▶［言語とキーボード］をタップする**

2 **［POBox Touch（日本語）］をタップする**

3 **［日本語ユーザー辞書］／［英語ユーザー辞書］をタップする**

4 **［≡］を押して、［追加］をタップする**

5 **「読み」の文字入力欄をタップして、読みを入力し、［次へ］をタップする**

6 **「表記」の文字入力欄に語句を入力し、［完了］をタップする**

7 **［保存］をタップする**

❖**お知らせ**

- ユーザー辞書に登録できる文字数は「読み」「表記」ともに、全角・半角に関わらず最大50文字まで、登録できる件数は最大500件となります。
- 登録した語句によっては、文字入力時に予測変換候補内で［直変換］をタップすると、優先的に変換候補として表示される場合もあります。

ユーザー辞書を編集する

1 **ユーザー辞書画面で編集したい語句を選択する**

2 **［≡］を押して、［編集］をタップする**

3 **編集内容を入力したら、［保存］をタップする**

ユーザー辞書を削除する

1 **ユーザー辞書画面で削除したい語句を選択する**

2 **［≡］を押して、［削除］▶［OK］をタップする**

- リスト内の語句をすべて削除するには、［すべて削除］▶［OK］をタップします。

学習辞書を設定する

1 **ホーム画面で を押し、[設定] ▶ [言語とキーボード] をタップする**

2 **[POBox Touch(日本語)] ▶ [学習辞書] をタップする**

3 **[入力した語句を自動学習] にチェックを入れる**

- 「学習辞書リセット」▶ [OK] をタップすると、すでに学習した内容をリセットします。

❖お知らせ

- すでに学習した語句を個別に削除するには、予測変換候補の中から削除したい語句を長くタッチし、[学習データ削除] をタップすると削除できます。

辞書のバックアップと復元

ユーザー辞書と学習辞書は、microSDカードへバックアップ保存し、必要なときに復元することができます。

1 **ホーム画面で を押し、[設定] ▶ [言語とキーボード] をタップする**

2 **[POBox Touch(日本語)] ▶ [バックアップと復元] をタップする**

3 **[バックアップ] / [復元] をタップする**

4 **[日本語ユーザー辞書]、[英語ユーザー辞書]、[学習辞書] のうち、バックアップ/復元する辞書にチェックを入れる**

5 **[実行] をタップする**

- バックアップでは、microSDカード内の辞書に上書きするかどうかの確認画面が表示されます。復元では、FOMA端末内の辞書に上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

6 **[OK] ▶ [OK] をタップする**

- バックアップ/復元が実行されます。

❖お知らせ

- 復元に失敗した場合は、FOMA端末内の辞書は初期化されます。

プラグインアプリの「定型文」や「連絡先引用2.3」を利用する

文字入力時に、 を長くタッチするか、文字種アイコン を長くタッチして をタップすると、プラグインアプリの一覧が表示されます。プラグインアプリの［定型文］または［連絡先引用2.3］をタップすると、引用することができます。
引用できる「定型文」は、あらかじめ「インターネット」「あいさつ」「ビジネス」「返事」「プライベート」の5つのカテゴリに分けて保存されています。カテゴリも定型文も新規追加したり、削除したりして編集できます。
また、電話帳に連絡先が登録されていると、文字入力時に「連絡先引用2.3」を利用することができます。電話帳に登録されている内容（連絡先の名前や電話番号、メールアドレスなど）から引用したい項目にチェックを入れます。連絡先一覧画面で［引用履歴］や［お気に入り］をタップすると、連絡先を限定して表示することができます。

定型文のカテゴリを追加する

新しいカテゴリを作成し、定型文を登録します。

1 **ホーム画面で をタップし、［定型文］をタップする**
カテゴリの一覧が表示されます。

2 **を押し、［カテゴリー追加］をタップする**

3 **カテゴリ名称を入力し、［OK］をタップする**

4 **［新規追加］をタップし、定型文を入力する**

5 **［OK］をタップする**

❖お知らせ

- 各カテゴリをタップすると、登録されている定型文の一覧が表示されます。定型文をタップして、編集／削除できます。
- カテゴリの一覧で を押して、［初期化］をタップすると、定型文を追加・削除する前の状態に戻します。

プラグインアプリを追加する

プラグインアプリをインストールして、文字入力時に呼び出せるプラグインアプリを追加できます。

1 **ホーム画面で [メニューキー] を押し、[設定] ▶ [言語とキーボード] をタップする**

2 **[POBox Touch（日本語）] ▶ [アプリケーションを管理] をタップする**

3 **情報画面で [OK] をタップする**
プラグイン設定の画面が表示されます。

4 **[新規アプリケーションのダウンロード] をタップする**

5 **アプリをタップして、画面の指示に従って操作する**

❖お知らせ

- プラグイン設定の画面でチェックの入っているプラグインアプリは、文字入力画面で起動することができます。プリインストールされているプラグインアプリの「定型文」「連絡先引用2.3」は、お買い上げ時にはチェックが入っています。

POBox Touch 徹底ガイド

基本から応用まで、高機能なPOBox Touchを詳しく解説したガイドを閲覧できます。また、プラグインアプリやキセカエキーボードの紹介サイトから最新の情報を取得できます。

1 **ホーム画面で [メニューキー] を押し、[設定] ▶ [言語とキーボード] をタップする**

2 **[POBox Touch（日本語）] ▶ [POBox Touch 徹底ガイド] をタップする**

電話をかける／受ける

電話をかける

1 ホーム画面で［電話］をタップする

2 電話番号を入力し、［発信］をタップする

- 電話番号の入力を間違えた場合は、電話番号表示欄の右にある［×］をタップして消すことができます。

❖お知らせ

- FOMA端末を横向きにしても自動的に画面の向きが変わらないときは、ホーム画面で［≡］を押して、［設定］▶［画面設定］をタップし、［画面の自動回転］のチェックボックスにチェックを入れます。

ポーズ（,）を入力する

ご自宅の留守番電話、チケットの予約、銀行の残高照会などのサービスに利用します。

1 ホーム画面で［電話］をタップする

2 電話番号を入力し、カンマ（,）記号が表示されるまでアスタリスク（＊）のキーを長くタッチする

緊急通報

FOMA端末が電波の届く範囲内にあるときは、緊急電話番号の110番（警察）、119番（消防と救急）、118番（海上保安庁）を入力して電話をかけることができます。

1 ホーム画面で［電話］をタップする

2 緊急電話番号を入力し、［発信］をタップする

- 電話番号の入力を間違えた場合は、電話番号表示欄の右にある［×］をタップして消すことができます。

❖注意

- 日本国内では、ドコモUIMカードを取り付けていない場合、緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。
  お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。

次ページへつづく

- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からかけてください。

ドコモUIMカードロック中の緊急通報

1 ［緊急通報］をタップする

2 緊急電話番号を入力し、［通話］をタップする

- 電話番号の入力を間違えた場合は、電話番号表示欄の右にある［×］をタップして消すことができます。

❖注意

- 日本国内では、PINコードの入力画面（P.103）またはPINコードロック（PUKロック）中（P.104）には、緊急通報110番、119番、118番に発信できません。

電話を終了する

1 ［通話終了］をタップする

国際電話をかける（WORLD CALL）

WORLD CALLについての詳細は、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

1 ホーム画面で［電話］をタップする

2 プラス（+）記号が表示されるまで、数字［0］のキーを長くタッチする

- 日本から国際電話をかけるときに「+」を国際電話アクセス番号に置き換えて発信しています。

3 国番号▶地域番号（市外局番）▶相手先電話番号の順に入力し、［発信］をタップする

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

電話を受ける

1 着信時に［📞］（左）にタッチして［📞］（右）へドラッグする

❖お知らせ

- マイクの付いていない一般的なヘッドフォンを使用している場合、FOMA端末のマイク（送話口）を使用して通話する必要があります。
- 画面ロック中、またはキーロックされている場合も、アイコンが表示され、同様の操作で応答できます。

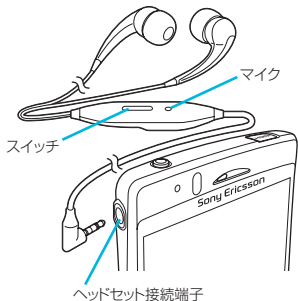
着信を拒否する

1 着信時に［📞］（右）にタッチして［📞］（左）へドラッグする

❖お知らせ

- 画面ロック中、またはキーロックされている場合も、アイコンが表示され、同様の操作で拒否することができます。

マイク付ステレオヘッドセットで電話をかける／受ける

マイク付ステレオヘッドセット（試供品）を接続した状態で電話をかけたり、受けたりすることができます。

■ 電話をかける

1 マイク付ステレオヘッドセットを接続した状態で電話をかける

- 電話をかける操作は、通常の操作と同様になります。（P.66）

2 通話を終了するときはスイッチを押す

■ 電話を受ける

1 着信時にマイク付ステレオヘッドセットのスイッチを押す

- 電話がつながり、通話できます。
- 着信時にスイッチを1秒以上押し続けると、着信を拒否することができます。

2 通話を終了するときは再度スイッチを押す

❖お知らせ

- マイク付ステレオヘッドセットを接続して音楽を聴いている場合に着信したときも、スイッチを押して電話に出ることができます。音楽は通話状態では一時停止して、通話が終了すると再開します。
- 通話中、マイク付ステレオヘッドセットの抜き差しを繰り返すと通話が切断される場合があります。

通話音量を調節する

1 通話中に ◁ ▷ を押して調節する

❖お知らせ

- 通話中以外は、通話音量を調節することはできません。

着信音を聞こえないようにする

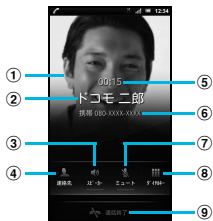
1 着信時に ◁ ▷ を押す

❖お知らせ

- 着信時に ⓞ を押しても、着信音を消音にすることができます。

• ホーム画面で［音量キー］の上下を押すと、着信音量を調節できます。

通話中の操作

■ 通話中画面

① 連絡先に設定された写真
② 通話相手の名前
③ スピーカー：スピーカーフォンのオン／オフを設定
  • 相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。
  • スピーカーフォンがオンになっているときは、ステータスバーにスピーカーフォンアイコン［アイコン］が表示されます。
④ 連絡先：連絡先一覧画面を表示
⑤ 通話時間
⑥ 通話相手の電話番号
⑦ ミュート：通話中のマイクの消音のオン／オフを設定
  • マイクがオフになっているときは、ステータスバーに消音アイコン［アイコン］が表示されます。
⑧ ダイヤルキー：追加したい電話番号を入力して電話をかける
  • 最初の通話は自動的に保留中になります。
  • 通話を追加するには、「キャッチホン」の契約が必要です。（P.82）
⑨ 通話終了

［メニューキー］：通話中に押して［保留］／保留中に押して［保留解除］
  • 保留を設定するには、「キャッチホン」の契約が必要です。（P.82）

❖注意
• 聴力を損わないために、スピーカーフォンがオンになっている状態でFOMA端末を耳に当てないでください。

発着信履歴

通話履歴では、不在着信（［アイコン］）、音声着信（［アイコン］）、およびダイヤル発信（［アイコン］）が時系列で一覧表示されます。

不在着信を表示する

不在着信がある場合は、［アイコン］がステータスバーに表示されます。

1 ステータスバーを下にドラッグする

2 ［不在着信］をタップする

通話履歴から電話をかける

1 **ホーム画面で［電話］▶［通話履歴］をタップする**

2 **電話番号の横にある をタップする**

通話履歴の電話番号を連絡先に登録する

1 **ホーム画面で［電話］▶［通話履歴］をタップする**

2 **電話番号を長くタッチして、［連絡先に追加］をタップする**

- 電話番号をタップして表示されるメニューからでも［連絡先に追加］を選択できます。

3 **電話番号を追加する連絡先、または［連絡先を新規登録］をタップする**

- ［連絡先を新規登録］をタップすると、保存先を選択する画面が表示されます。保存先として、本体連絡先やdocomoアカウントなどが選択できます。

4 **連絡先の情報を入力して［完了］をタップする**

通話履歴を削除する

1 **ホーム画面で［電話］▶［通話履歴］をタップする**

2 **を押して、［通話履歴を全件削除］をタップする**

❖お知らせ

- 通話履歴の一覧で、削除したい履歴を長くタッチして、［通話履歴から削除］をタップすると、1件のみ削除できます。

電話帳

電話帳では、電話番号、Eメールアドレス、インターネット上の各種サービスのアカウントなど連絡先に関するさまざまな情報を入力できます。連絡先を表示して、その連絡先にすばやくアクセスできます。

電話帳を開く

1 **ホーム画面で をタップし、［電話帳］をタップする**

- 連絡先一覧画面が表示されます。
- ホーム画面で［電話］▶［連絡先］をタップしても電話帳を開くことができます。

❖お知らせ

- 初めて電話帳を開いたときは、セットアップウィザードが表示されます。セットアップウィザードでは、ドコモUIMカードやmicroSDカードから連絡先を読み込んだり、事前に設定されているアカウントと連絡先の同期を行うことができます。［完了］をタップすると、電話帳をご利用になれます。
- FOMA端末を横向きにしても自動的に画面の向きが変わらないときは、ホーム画面で［≡］を押して、［設定］▶［画面設定］をタップし、［画面の自動回転］のチェックボックスにチェックを入れます。

連絡先一覧画面

電話帳の連絡先一覧画面では、連絡先の各種情報が表示されます。連絡先に写真を追加したり、ソーシャルネットワークサービス（SNS）のステータス更新情報を表示したりすることもできます。

① 連絡先検索フィールド
② 連絡先に登録された写真
③ 新しい連絡先の追加アイコン
④ 自分の連絡先
⑤ 連絡先に登録された名前
⑥ 名前を五十音順、アルファベット順などで検索するバー
⑦ Google トーク（チャット）のオンライン状況※（P.127）
⑧ ソーシャルネットワークサービス（SNS）のステータス更新情報
⑨ 画面切替（電話／通話履歴／連絡先／お気に入り）

※ 使用状況によりGoogle トークのオンライン表示と異なる場合があります。

連絡先を管理する

連絡先を追加する

1 連絡先一覧画面（P.71）で右上の［👤］をタップする

2 ［docomo］／［本体連絡先］をタップする

- Googleアカウントなどを設定している場合は、保存先として表示されます。

3 名前を入力する

4 追加情報を選択、入力する

- 追加情報として、電話番号、Eメールアドレス、着信音のほか、［フィールドを追加］をタップして項目を増やすことができます。

5 ［完了］をタップする

❖お知らせ

- 「留守番電話に自動転送する」を利用するには、留守番電話サービスの契約が必要です。詳細については「留守番電話サービス」(P.80)をご参照ください。
- 「ふりがな(姓/名)」を登録した場合、連絡先のリストには「ふりがな」の五十音順、アルファベット順に従って表示されます。

連絡先のショートカットを利用する

連絡先一覧画面で写真(画像)部分をタップすると、電話番号やメールなどのショートカットが表示され、ショートカットをタップして電話をかけたり、メールを作成して送信したりできます。

	登録した電話番号に電話をかけます。
	連絡先の「情報」フィルター(P.76)画面が表示されます。
	メッセージ(SMS)を作成して送信します。
	Eメールアプリを選択してEメールを作成して送信します。

※ その他、登録したGoogle トークアカウントや住所などを利用することができます。

❖お知らせ

- 連絡先のリスト画面で写真(画像)部分以外をタップすると、ショートカットは表示されず、「情報」フィルター(P.76)画面が表示されます。
- E メールのショートカットは、選択している連絡先にEメールアドレスが登録されていて、自分のEメールアカウントを設定している場合に表示されます。自分のEメールアカウントを設定していない場合は、Gmailのショートカット / が表示されます。
  ※ はご利用いただけません。

連絡先を検索する

1 連絡先一覧画面(P.71)で、検索する名前や読みを検索フィールドに入力する

- 入力した文字で始まる連絡先が表示されます。

連絡先の表示条件を変更する

連絡先一覧画面で を押し、[連絡先フィルター]をタップすると、表示条件を設定したり、連絡先の保存先(docomo、本体連絡先)やアカウントごとの連絡先の表示/非表示を設定したりすることができます。

■ 表示条件

次の項目にチェックを入れて設定します。

電話番号のある連絡先のみ	電話番号を登録している連絡先のみを表示
オンラインの連絡先のみ	Googleトークでオンライン中の方の連絡先のみを表示

■ 表示/非表示の設定

連絡先の保存先やアカウント設定(P.110)したソーシャルネットワークサービス(SNS)名をタップして、[すべての連絡先]にチェックを入れると同期している連絡先が表示され、チェックを外すと表示されなくなります。

連絡先を編集する

1 連絡先一覧画面（P.71）で、編集する連絡先の名前をタップする

- 連絡先の「情報」フィルター（P.76）画面が表示されます。
- 連絡先の画像（写真）部分をタップした場合は、連絡先のショートカットが表示されます。（P.72）をタップして「情報」フィルター画面を表示してください。

2 ［編集］をタップする

- 編集画面で（フィールドを追加）をタップすると、入力できる情報項目を追加できます。

3 必要な情報項目をタップして編集し、［完了］をタップする

連絡先をリンクする

複数の連絡先として登録された連絡先を1つにリンクさせて、まとめることができます。

1 連絡先一覧画面（P.71）で、リンクさせる連絡先を長くタッチし、［連絡先のリンク］をタップする

- リンクする候補が表示されます。

2 リンクさせる連絡先をタップする

3 ［OK］をタップする

❖お知らせ

- 連絡先のリンクを解除するには、連絡先の編集画面でを押し、［リンク解除］▶［OK］をタップします。

連絡先を削除する

1 連絡先一覧画面（P.71）で、を押し、［連絡先を削除］をタップする

2 削除する連絡先にチェックを入れる

- すべての連絡先を削除するには［すべて選択］をタップします。

3 ［削除］▶［OK］をタップする

❖お知らせ

- 連絡先一覧画面で削除する連絡先に長くタッチして、［連絡先を削除］▶［OK］をタップしても削除できます。

連絡先に電話をかける

1 連絡先一覧画面（P.71）で、電話をかけたい連絡先の名前をタップする

2 電話番号をタップする

自分の連絡先を確認して情報を編集する

1 **連絡先一覧画面（P.71）で、リスト最上部の［XXX-XXXX-XXXX］（自分の連絡先）をタップする**

2 **［編集］をタップする**

- 「自分の連絡先」の編集画面が表示されます。

3 **必要な情報を入力する**

- 編集画面で［+］（フィールドを追加）をタップすると、入力できる情報項目を追加できます。

4 **編集したら、［完了］をタップする**

❖お知らせ

- 「自分の連絡先」には、複数の電話番号、メールアドレスなどを登録できます。登録した電話番号との発着信の履歴が「情報」フィルター（P.76）画面の「通話履歴」に表示されます。
- 「Eメール」アプリでEメールアカウントを設定している場合は、「自分の連絡先」の詳細画面には表示されますが、編集画面には表示されません。

連絡先をBluetooth／Eメール／Gmailで送信する

登録した連絡先や「自分の連絡先」の情報をBluetooth機能（P.163）やEメールの添付機能などを利用して送信できます。

1 **連絡先一覧画面（P.71）で、［≡］を押し、［連絡先を送信］をタップする**

2 **送信する連絡先にチェックを入れる**

- 全件を送信する場合は、［すべて選択］をタップします。

3 **［送信］▶［OK］をタップする**

4 **送信方法を選択して画面の指示に従って操作する**

❖お知らせ

- Bluetooth機能を利用する場合は、［ONにする］をタップしてBluetooth機能をONにしてから送信相手のBluetooth端末を検索して送信します。
- Eメール／Gmailに添付して送信する場合は、アカウントを設定したEメール作成画面から送信します。Gmailのアカウントを設定していない場合は、設定ウィザードが表示され、設定後にEメールを作成、送信できます。

連絡先をお気に入り登録する

連絡先にお気に入りのマークを付けることができます。お気に入りリストを使用すると、マークを付けた連絡先にすばやくアクセスできます。

1 **連絡先一覧画面（P.71）で、マークを付ける連絡先を長くタッチする**

2 **［お気に入りに追加］をタップする**

❖お知らせ

- 「情報」フィルター（P.76）画面を表示して、[お気に入り] をタップしても、お気に入りに追加することができます。
- 連絡先一覧画面で［お気に入り］をタップすると、お気に入りに登録した連絡先を表示できます。

連絡先に写真を設定する

1 **連絡先一覧画面（P.71）で、連絡先をタップする**

2 **［編集］をタップする**

3 **をタップする**

4 **［ギャラリーから選択する］／［新しい写真を撮影する］をタップする**

- ［ギャラリーから選択する］をタップした場合は、保存した写真を選択して登録します。
- ［新しい写真を撮影する］をタップした場合は、写真を撮影して登録します。

5 **［完了］をタップする**

❖お知らせ

- 次の操作でも、連絡先に写真を設定できます。
  - ホーム画面で［メディア］▶［ギャラリー］をタップします。設定したい画像を選択し、[≡] を押し、［登録］▶［連絡先の画像］をタップします。登録したい連絡先を選択して［保存］をタップします。

ソーシャルネットワークサービス（SNS）の連絡先情報を表示する

ソーシャルネットワークサービス（SNS）のアカウント設定（P.110）を行っている場合、連絡先を同期させて、連絡先一覧画面に「友達」などの連絡先情報を表示することができます。また、各サービスのステータス更新情報を表示させることもできます。

1 **連絡先一覧画面（P.71）で、[≡] を押し、［設定］▶［アカウントと同期］をタップする**

- 同期の基本設定とアカウントの管理画面が表示されます。アカウントを設定していない場合は、［アカウントを追加］をタップして設定することもできます。（P.110）

2 **アカウント名をタップする**

- 同期する項目が表示されます。

3 **［連絡先を同期］をタップする**

- 同期が終わると、連絡先一覧画面に「友達」などの連絡先情報が表示されるようになります。
- 手順2で［自動同期を有効にする］にチェックを入れて同期させることもできます。自動同期については、「自動同期を設定する」（P.111）をご参照ください。

■ ステータス更新情報の表示／非表示を設定する

1 連絡先一覧画面（P.71）で、[≡]を押し、［設定］▶［ステータス表示設定］をタップする

- ステータス更新情報を表示するサービスの選択画面が表示されます。

2 表示したい項目をタップする

- ［すべて］をタップすると、すべてのサービスのステータス更新情報を表示できますが、1つの連絡先に複数のサービスリンクがある場合は、ステータス更新の新しい方の更新情報が表示されます。
- ［OFF］をタップすると、ステータス更新情報を表示しないように設定されます。

サービスダイヤル番号に電話をかける

1 連絡先一覧画面（P.71）で、[≡]を押し、［設定］▶［サービスダイヤル番号］をタップする

- ドコモUIMカードに登録されているサービスダイヤル番号（総合お問い合わせ先、故障お問い合わせ先など）が表示されます。

2 電話をかけたい連絡先をタップする

連絡先情報フィルター

連絡先詳細画面を表示しているときに、画面下に表示されるフィルターを左右にフリックさせて次の情報を表示することができます。

フィルター	表　示
情報	連絡先電話番号、メールアドレス、Facebookプロフィール、最新ステータスの情報など
写真	連絡先の「友達」がFacebookにアップした画像や、タグ付き画像
趣味と関心	連絡先の「友達」がFacebookに登録した「いいね！」情報
Facebook	連絡先のFacebookステータス更新履歴 • TimescapeからFacebookアカウントで接続して、情報を更新した場合に表示されます。
メッセージ	連絡先とのメッセージ（SMS）履歴
通話履歴	連絡先との通話履歴

連絡先のエクスポート／インポート

microSDカードやドコモUIMカードへ連絡先をエクスポート／インポートすることができます。エクスポートした情報は、別の電話に転送する場合などに役立ちます。

❖お知らせ

- オンラインの同期サービスでも連絡先などを同期することができます。詳細については、「データの同期について」（P.111）をご参照ください。
- 本FOMA端末からドコモUIMカードへエクスポートされた連絡先が他の携帯電話にインポートされると、名前の後ろに電話番号の種別である「自宅：/H」「携帯：/M」「勤務先：/W」、それらに該当しない場合は「/O」と表示される場合があります。

すべての連絡先をmicroSDカードにエクスポートする

1 連絡先一覧画面（P.71）で、[≡]を押し、［連絡先エクスポート］▶［メモリーカード］をタップする

2 ［OK］をタップする

❖お知らせ

- 連絡先の表示条件（P.72）を設定している場合は、表示設定している連絡先のみエクスポートされます。

microSDカードから連絡先をインポートする

1 連絡先一覧画面（P.71）で、[≡]を押し、［連絡先をインポート］▶［メモリーカード］をタップする

2 ［docomo］／［本体連絡先］をタップする

- Googleアカウントなどを設定している場合は、インポート先として表示されます。

3 インポートしたいvCardファイルを選択する

- vCardファイルが1件しかない場合は、vCardファイル選択画面は表示されず、すぐにインポートが開始されます。
- vCardファイルの中に複数の連絡先が入っている場合は、すべて一度にインポートされます。
- vCardファイルが2件以上存在する場合は、［vCard1件インポート］／［複数vCardインポート］／［全vCardインポート］のいずれかをタップして選択します。

4 ［OK］をタップする

❖お知らせ

- 連絡先によっては、データの一部がインポートまたはエクスポートされない場合があります。

名前と電話番号をドコモUIMカードにエクスポートする

1 **連絡先一覧画面（P.71）で、[メニュー]を押し、［連絡先エクスポート］▶［SIMカード］をタップする**

2 **コピーする連絡先にチェックを入れる**

- すべての連絡先にチェックを入れる場合は、［すべて選択］をタップします。

3 **［エクスポート］をタップする**

4 **［連絡先を追加］／［連絡先を上書き］をタップする**

- ［連絡先を上書き］を選択した場合、既存のドコモUIMカード情報が上書きされます。

❖お知らせ

- 連絡先をドコモUIMカードにコピーすると、ドコモUIMカードのメモリ容量が限られているため、名前と1つ目の電話番号のみが保存されます。
- 電話番号が登録されていない連絡先は、ドコモUIMカードに保存することができません。

ドコモUIMカードから連絡先をインポートする

1 **連絡先一覧画面（P.71）で、[メニュー]を押し、［連絡先をインポート］▶［SIMカード］をタップする**

2 **［docomo］／［本体連絡先］をタップする**

- Googleアカウントなどを設定している場合は、インポート先として表示されます。

3 **1件インポートする場合は、インポートする連絡先をタップする**

- すべての連絡先をインポートする場合は、［すべてインポート］をタップします。
- インポートした際に、同じ名前の連絡先がすでに存在していても、別々の連絡先としてインポートされます。

❖お知らせ

- インポート可能な情報は、名前と電話番号です。

電話帳コピーツールを利用する

microSDカードを利用して、他のFOMA端末との間で連絡先データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された連絡先データをdocomoアカウントにコピーできます。

1 **ホーム画面で[アプリ]をタップし、［電話帳コピーツール］をタップする**

- 初めてご利用される際には、「使用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

連絡先をmicroSDカードにエクスポートする

1 **microSDカードをFOMA端末に取り付ける**

2 **「エクスポート」タブ画面で［開始］をタップする**

- docomoアカウントに保存されている連絡先データがmicroSDカードに保存されます。

連絡先をmicroSDカードからインポートする

1 **連絡先データが保存されたmicroSDカードをFOMA端末に取り付ける**

2 **「インポート」タブ画面でインポートしたいファイルをタップする**

3 **［上書き］／［追加］をタップする**

- インポートした連絡先データは、docomoアカウントに保存されます。

Googleアカウントの連絡先をdocomoアカウントにコピーする

1 **「docomoアカウントへコピー」タブ画面でコピーしたいGoogleアカウントをタップする**

2 **［上書き］／［追加］をタップする**

- コピーした連絡先データは、docomoアカウントに保存されます。
- 「本体」に登録した連絡先データもGoogleアカウントと同様にdocomoアカウントへのコピーが可能です。

❖お知らせ

- 他のFOMA端末の連絡先項目名（電話番号など）が本FOMA端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、連絡先に登録可能な文字はFOMA端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- グループ情報はインポートできません。
- 連絡先をmicroSDカードにエクスポートする場合は、名前が登録されていないデータはコピーできません。
- 連絡先をmicroSDカードからインポートする場合は、「一括バックアップ」で作成したファイルは読み込むことができません。

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。各サービスの概要やご利用方法については、以下の表の参照先をご覧ください。

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用になれません。
- 「サービス停止」とは留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。
- ネットワークサービスについて詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- お申し込み、お問い合わせについては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

サービス名	月額使用料	お申し込み	参照先
留守番電話サービス	有料	必要	P.80
キャッチホン	有料	必要	P.82
転送でんわサービス	無料	必要	P.84
発信者番号通知	無料	不要	P.86

❖お知らせ

- 本書では各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。

留守番電話サービス

電波の届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わってメッセージをお預かりするサービスです。

- 留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた電話に応答しなかった場合には、「通話履歴」には「不在着信」として記録され、（不在着信あり）がステータスバーに表示されます。
- 本FOMA端末は、テレビ電話の留守番電話サービスに対応しておりません。「1412」へ発信し、「非対応」に設定してください。

❖お知らせ

- 本FOMA端末にはFOMA端末内にメッセージを保存する伝言メモの機能はありません。留守番電話サービスをご利用ください。
- メッセージは1件あたり最長3分、最大20件まで録音でき、最長72時間保存されます。
- 留守番メッセージの件数表示は、すべてのメッセージを再生するまで表示したままです。

留守番電話サービスの基本的な流れ

留守番電話サービスを開始する

お客様のFOMA端末に電話がかかる

電話に出ないと留守番電話サービスセンターに接続される

▼

相手がメッセージを録音する

急いでいるときなど、留守番電話の応答メッセージを省略してメッセージを録音したい場合は、応答メッセージが流れているときに［ダイヤルキー］→［#］をタップすると、すぐに録音できる状態になります。

留守番電話サービスセンターにメッセージが入っていることが通知される

メッセージを再生する

留守番電話サービスを設定する

1 **ホーム画面で［≡］を押し、［設定］をタップする**

2 **［通話設定］▶［ネットワークサービス設定］をタップする**

3 **［留守番電話］をタップする**

- 以下から利用したい項目を選択します。

留守番電話サービス開始	［OK］をタップすると、留守番電話サービスを開始します。
留守番呼び出し時間の設定	呼び出し時間（0～120秒）を入力します。 呼び出し時間のみを変更します。 呼び出し時間を0秒に設定した場合、かかってきた電話は「通話履歴」には記録されません。
留守番電話サービス停止	［OK］をタップすると、留守番電話サービスを停止します。
留守番設定確認	現在のサービスの設定内容を確認します。
留守番メッセージ再生※	［OK］をタップすると、留守番電話サービスセンターに電話がかかります。この後は音声ガイダンスの指示に従ってメッセージを再生します。
留守番サービス設定※	［OK］をタップすると、音声ガイダンスで留守番電話の設定を変更します。留守番電話サービスセンターに電話がかかります。この後は音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

メッセージ問い合わせ※	メッセージがあるかどうかを確認します。問い合わせ後、問い合わせが完了したことを通知するメッセージが表示されます。
メッセージ通知の鳴動設定	新しいメッセージをお預かりしたときに、音を鳴らしたり、バイブレータを振動させたりするかどうかを設定します。
着信通知開始	電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、その着信の情報（着信日時や発信者番号）を、再び電源を入れたときや圏内に入ったときにメッセージ（SMS）でお知らせします。 ［全着信］を選択すると、すべての着信を通知します。 ［発信者番号あり］を選択すると、番号を通知している着信のみ通知します。
着信通知停止	着信通知開始中に、[OK]をタップすると着信通知を停止することができます。
着信通知設定確認	着信通知の設定を確認します。

※ 操作終了後、「NTT DoCoMo VM:XX」というSMSが受信されます。

❖お知らせ

- 留守番電話サービスセンターでメッセージをお預かりしている場合、ステータスバーに（新着メッセージ（SMS）あり）と（留守番電話あり）が表示されます。（留守番電話あり）は、すべてのメッセージを消去すると消えます。
- 着信通知設定および通知（メッセージ（SMS）の受信）にかかる料金は無料です。

メッセージを再生する

1 **「NTT DoCoMo VM:XX」というSMSの通知画面が表示されたら通知パネル（P.33）から［留守番メッセージ］をタップする**

- 録音されたメッセージが再生されます。

2 **音声ガイダンスに従って操作する**

キャッチホン

通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができるサービスです。また、通話中の電話を保留にして、別の相手へ電話をかけることもできます。

❖お知らせ

- 保留中も、電話を発信した方に通話料金がかかります。

キャッチホンを設定する

1 **ホーム画面で［≡］を押し、［設定］をタップする**

2 **［通話設定］▶［ネットワークサービス設定］をタップする**

3 ［キャッチホン］をタップする

次の操作を選択できます。

キャッチホンサービス開始	［OK］をタップすると、キャッチホンサービスを開始します。
キャッチホンサービス停止	［OK］をタップすると、キャッチホンサービスを停止します。
設定の確認	現在のサービスの設定内容を確認します。

通話中の電話を保留にして、かかってきた電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら［応答］をタップする

最初の相手との通話は自動的に保留となり、あとからかかってきた電話を受けます。

- 本FOMA端末は三者間通話には対応していません。
- ［着信拒否］をタップすると、かかってきた電話を留守番電話サービスセンターへ接続します。あらかじめ、留守番電話サービスを開始にする設定が必要です。

2 最初の相手との通話に切り替える

- あとからかかってきた相手との通話を終了する場合は、［通話終了］をタップします。
  あとからかかってきた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。
- あとからかかってきた相手との通話を保留にする場合は、［この通話に切り替える］をタップします。
  あとからかかってきた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。［この通話に切り替える］をタップするたびに通話相手が切り替わります。

通話中の電話を終了して、かかってきた電話に出る

1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら［現在の通話を終了して応答］をタップする

- 最初の相手との通話が終了し、あとからかかってきた電話を受けます。

通話中の電話を保留にして、別の相手に電話をかける

1 **通話中に［連絡先］／［ダイヤルキー］をタップする**

2 **相手の電話番号を入力して 通話 をタップする**

- 最初の相手との通話は自動的に保留となり、新しくかけた相手との通話に切り替わります。［連絡先］や［通話履歴］をタップして相手を検索して電話をかけることもできます。

3 **最初の相手との通話に切り替える**

- 新しくかけた相手との通話を終了する場合は、［通話終了］をタップします。新しくかけた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。
- 新しくかけた相手との通話を保留にする場合は、［この通話に切り替える］をタップします。
新しくかけた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。［この通話に切り替える］をタップするたびに通話相手が切り替わります。

転送でんわサービス

電波の届かないところにいるとき、電源が入っていないとき、設定した呼び出し時間内に応答がなかったときなどに、電話を転送するサービスです。

- 転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた電話に応答しなかった場合には、「通話履歴」には「不在着信」として記録され、（不在着信あり）がステータスバーに表示されます。

転送でんわサービスの基本的な流れ

転送先の電話番号を登録する

転送でんわサービスを開始に設定する

お客様のFOMA端末に電話がかかる

電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

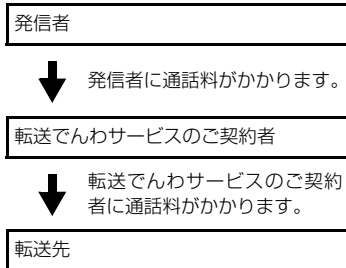
転送でんわサービスの通話料について

発信者

発信者に通話料がかかります。

転送でんわサービスのご契約者

転送でんわサービスのご契約者に通話料がかかります。

転送先

❖お知らせ

- 転送でんわサービスを「開始」に設定していても、着信音が鳴っている間に応答すればそのまま通話できます。

転送でんわサービスを設定する

1　ホーム画面で ≡ を押し、[設定]をタップする

2　[通話設定] ▶ [ネットワークサービス設定] をタップする

3　[転送でんわ] をタップする

- 利用したい項目を選択します。

項目	説明
転送サービス開始	転送先の番号や呼び出し時間を入力し、[OK] をタップすると、転送でんわサービスを開始します。
転送先を変更する	チェックボックスにチェックを入れて転送先の電話番号を入力します。
呼び出し時間を変更する	チェックボックスにチェックを入れて呼び出し時間（0～120秒）を入力します。 呼び出し時間を0秒に設定した場合、かかってきた電話は「通話履歴」に記録されません。
転送サービス停止	[OK] をタップすると、転送でんわサービスを停止します。
転送先変更	転送先の番号を変更します。転送先の電話番号を入力し、[OK] をタップします。
転送でんわを開始する	チェックボックスにチェックを入れて転送先の番号変更と同時に転送でんわを開始します。
転送先通話中時設定※	転送先が通話中のとき、かかってきた電話を留守番電話サービスセンターに接続します。[接続する] をタップすると設定がオンになり、[接続しない] をタップすると設定がオフになります。
転送サービス設定確認	現在のサービスの設定内容を確認します。

※「留守番電話サービス」のご契約が必要です。

転送ガイダンスの有無を設定する

1 ホーム画面で［電話］をタップする

2 ［1］［4］［2］［9］▶［発信］をタップする

- 音声ガイダンスに従って設定してください。詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

発信者番号通知

電話をかけたときに相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号をお知らせすることができます。電話番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際にはご注意ください。

- 圏外（）が表示されているところで、発信者番号通知の操作はできません。
- 相手の電話機が発信者番号表示が可能なときだけ有効です。
- 電話をかけたときに、発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか186を付けてからおかけ直しください。

1 ホーム画面で［≡］を押し、［設定］をタップする

2 ［通話設定］▶［ネットワークサービス設定］をタップする

3 ［発信者番号通知］をタップする

- 利用したい項目を選択します。

発信者番号通知開始	ネットワーク暗証番号を入力し、［OK］をタップする。 電話をかけた相手にお客様の電話番号を通知します。
発信者番号通知停止	ネットワーク暗証番号を入力し、［OK］をタップする。 お客様の電話番号の通知を停止します。
設定の確認	現在の設定内容を確認します。

設定メニューを表示する

1 **ホーム画面で［≡］を押す**

2 **［設定］をタップする**

■ 設定メニュー

Sony Ericsson	本FOMA端末のFacebookの同期機能を設定したり（P.110）、本FOMA端末をパソコンや他の機器にUSB接続またはWi-Fiで接続するときの設定を行います。（P.158）
無線とネットワーク	P.87
通話設定	P.97
音設定	P.97
画面設定	P.100
現在地情報とセキュリティ	P.101
アプリケーション	P.106
アカウントと同期	P.109
プライバシー設定	P.112
ストレージ	P.113
言語とキーボード	P.114
音声入出力	P.114
ユーザー補助	P.115
日付と時刻	P.115
端末情報	P.116

❖ **お知らせ**

- ホーム画面で▦をタップし、［設定］をタップしても表示できます。

無線とネットワーク

Wi-Fi、Bluetooth機能など、各種ネットワークに関する設定をします。

機内モード	P.89
Wi-Fi／Wi-Fi設定	P.90
Bluetooth／Bluetooth設定	P.163
テザリングとポータブルホットスポット	P.94
VPN設定	P.96
モバイルネットワーク	P.87、P.190

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモード（P.88）が設定されています。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 **設定メニュー画面で（P.87）、［無線とネットワーク］▶［モバイルネットワーク］▶［アクセスポイント名］をタップする**

- 利用可能なアクセスポイント（APN）が表示されます。

- 表示されるアクセスポイント（APN）は編集せずにそのままお使いいただくことをおすすめします。

❖お知らせ

- 使用できる接続が複数ある場合は、右側のラジオボタンにチェックの付いたものが、現在使用されているネットワーク接続を示します。

アクセスポイントを追加で設定する

1 **設定メニュー画面で（P.87）、[無線とネットワーク] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [アクセスポイント名] をタップする**

2 **[≡] を押す**

3 **[新しいAPN] をタップする**

4 **[名前] をタップし、任意の名前を入力して [OK] をタップする**

5 **[APN] をタップし、アクセスポイント名を入力して [OK] をタップする**

6 **通信事業者によって要求されているその他すべての情報をタップして入力する**

7 **[≡] を押し、[保存] をタップする**

❖お知らせ

- APN設定の際に、MCC/MNCをデフォルト設定値（440/10）以外に変更すると、APN画面上に表示されなくなりますので、変更しないでください。APN画面上に表示されなくなった場合には、[初期設定にリセット] もしくは [新しいAPN] にて、再度APNの設定を行ってください。
- POBox Touch（日本語）の設定画面で [自動スペース入力] にチェックを入れて（P.61）、半角英字（英語モード）にて予測変換を利用する際は、確定時に自動的にスペースが入力される場合があります。手動でスペースを削除してください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 **設定メニュー画面で（P.87）、[無線とネットワーク] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [アクセスポイント名] をタップする**

2 **[≡] を押し、[初期設定にリセット] をタップする**

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

mopera Uを設定する

1 **設定メニュー画面で（P.87）、[無線とネットワーク]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]をタップする**

2 **[mopera U（スマートフォン定額）]／[mopera U設定]のラジオボタンにチェックを入れる**

- ホーム画面に戻ってブラウザを開くと、インターネットへの快適なアクセスを楽しめます。

❖お知らせ

- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
- 「mopera U（スマートフォン定額）」をご利用の場合、パケット定額サービスのご契約が必要です。mopera U（スマートフォン定額）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

機内モード

電話、インターネット接続（メールの送受信含む）など、電波を発する機能をすべて無効にします。電話やメールの着信などを気にしないでFOMA端末を操作したいときに便利です。

機内モードをONにする

1 **設定メニュー画面で（P.87）、[無線とネットワーク]をタップする**

2 **[機内モード]にチェックを入れる**

- [機内モード]のチェックを外すと、機内モードはOFFになります。

❖お知らせ

- ⓞを1秒以上押して、携帯電話オプションメニューで[機内モード]をタップしてもON／OFFを切り替えることができます。
- 機内モードがONの場合でもWi-FiやBluetooth機能をONにすることができます。

Wi-Fiについて

Wi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

- Wi-FiがONのときでもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。
- Wi-Fiネットワークが切断された場合には、自動的に3G/GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままご利用される場合は、パケット通信料が発生しますのでご注意ください。
- Wi-Fiを使用しないときは、OFFにすることで電池の消費を抑制できます。

Wi-Fiを使用する前に

Wi-Fiを使用するには、Wi-FiをONにしてから利用可能なWi-Fiネットワークを検索して接続します。

- Wi-Fiを使用してインターネットへ接続する場合、事前にWi-Fiネットワークへの接続を行ってください。

❖お知らせ

- Wi-Fiを使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fiネットワークの電波強度は、お使いのFOMA端末の位置によって異なります。Wi-Fiルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

■ Bluetooth機器との電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。また、ストリーミングデータ再生時などで通信が途切れたり音声が乱れることがあります。この場合、次の対策を行ってください。

- FOMA端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、ワイヤレス接続するBluetooth機器の電源を切ってください。

Wi-FiをONにする

1 設定メニュー画面で（P.87）、［無線とネットワーク］をタップする

2 ［Wi-Fi］のチェックボックスにチェックを入れる

- 利用可能なWi-Fiネットワークがスキャンされます。

❖お知らせ

- Wi-Fi接続がONになるまで、数秒かかる場合があります。

Wi-Fiネットワークに接続する

1 設定メニュー画面で（P.87）、［無線とネットワーク］▶［Wi-Fi設定］をタップする

- 利用可能なWi-Fiネットワークが「Wi-Fiネットワーク」の下に表示されます。利用可能なネットワークは、オープンネットワークまたはセキュリティで保護されたネットワークである場合があります。これは、Wi-Fiネットワーク名の横にあるまたはによって示されます。

2 接続したいWi-Fiネットワークを選択し、［接続］をタップする

- セキュリティで保護された Wi-Fi ネットワークに接続しようとすると、接続する前にそのWi-Fiネットワークのセキュリティキーの入力が求められます。

❖お知らせ

- 次回接続時は、本体にセキュリティキーが記録されています。

■ ステータスバーに表示されるWi-Fiネットワーク状態表示アイコン

Wi-Fiネットワークの接続状態によって、ステータスバーに次のアイコンが表示されます。

	Wi-Fiネットワークに接続すると表示されます。
	AutoIP機能を使ってWi-Fiネットワークに接続すると表示されます。
	オープンネットワークを検出すると表示されます。※

※ Wi-Fiネットワークに接続していない状態で、あらかじめWi-Fiネットワークの通知をONにしておく必要があります。（P.92）

Wi-Fiネットワークから切断する

1 設定メニュー画面で（P.87）、［無線とネットワーク］▶［Wi-Fi設定］をタップする

2 接続中のWi-Fiネットワークを長くタッチする

3 ［ネットワークから切断］をタップする

Wi-Fiネットワークのステータス

Wi-Fiネットワークに接続している場合、または近くにWi-Fiネットワークが存在する場合、これらのWi-Fiネットワークのステータスを表示できます。また、セキュリティで保護されていないWi-Fiネットワークを検出した場合は、通知するように設定することもできます。

Wi-FiネットワークのFの通知をONにする

1 **Wi-FiがONになっていることを確認し、設定メニュー画面で（P.87）、［無線とネットワーク］▶［Wi-Fi設定］をタップする**

2 **［ネットワークの通知］にチェックを入れる**

Wi-Fiネットワークを手動でスキャンする

1 **設定メニュー画面で（P.87）、［無線とネットワーク］▶［Wi-Fi設定］をタップする**

2 **[≡]を押す**

3 **［スキャン］をタップする**

- Wi-Fiネットワークのスキャンが開始され、Wi-Fiネットワークが「Wi-Fiネットワーク」の下に表示されるようになります。

4 **一覧にあるWi-Fiネットワークをタップし、ネットワークに接続する**

Wi-Fiの詳細設定

Wi-Fiネットワークを手動で追加する前にWi-Fi設定をONにしておく必要があります。（P.90）

Wi-Fiネットワークを手動で追加する

1 **設定メニュー画面で（P.87）、［無線とネットワーク］▶［Wi-Fi設定］をタップする**

2 **［Wi-Fiネットワークを追加］をタップする**

3 **追加するWi-Fiネットワークの［ネットワークSSID］名を入力する**

4 **［セキュリティ］フィールドをタップし、追加するWi-Fiネットワークのセキュリティタイプのラジオボタンにチェックを入れる**

- 「なし」「WEP」「WPA/WPA2 PSK」「802.1x EAP」の4種類が表示されます。

5 **必要に応じて、追加するWi-Fiネットワークのセキュリティ情報を入力する**

6 **[保存]をタップする**

接続中のWi-Fiネットワーク情報を確認する

1 **設定メニュー画面で（P.87）、[無線とネットワーク]▶[Wi-Fi設定]をタップする**

2 **現在接続中のWi-Fiネットワークをタップする**

- ネットワーク情報の詳細が表示されます。

❖お知らせ

- 設定メニュー画面で（P.87）、[無線とネットワーク]▶[Wi-Fi設定]をタップし、[≡]を押して[詳細設定]をタップすると、「MACアドレス」および「IPアドレス」が表示されます。

Wi-Fiのスリープ設定

Wi-Fiのスリープ設定を変更することで、画面のバックライトが消灯したときに本体のWi-Fi機能がOFFになるように設定できます。また、Wi-Fi機能を常にONにするか、あるいは充電時には常にONにするように設定することも可能です。

❖お知らせ

- Wi-Fiネットワークが切断された場合は、自動的に3G/GPRSネットワークでの接続に切り替わります。

Wi-Fiのスリープ設定を追加する

1 **設定メニュー画面で（P.87）、[無線とネットワーク]▶[Wi-Fi設定]をタップする**

2 **[≡]を押す**

3 **[詳細設定]をタップする**

4 **[Wi-Fiのスリープ設定]をタップする**

5 **[画面がOFFになったとき]／[電源接続時はスリープにしない]／[スリープにしない]のいずれかをタップする**

静的IPアドレスを使用する

静的IPアドレスを使用してWi-Fiネットワークに接続するように本体を設定できます。

静的IPアドレスを設定する

1 **設定メニュー画面で（P.87）、[無線とネットワーク]▶[Wi-Fi設定]をタップする**

2 **[≡]を押す**

3 **[詳細設定]をタップする**

次ページへつづく

4 **［静的IPを使用する］のチェックボックスにチェックを入れる**

- IP設定の項目が選択できるようになります。

5 **項目をタップし、必要な情報を入力する**

- 静的IPアドレスを使用するには、「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットマスク」「DNS 1」の入力が必要です。

6 **［≡］を押す**

7 **［保存］をタップする**

テザリング機能を利用する

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、USB対応機器や、無線LAN対応機器をインターネットに接続させることです。

❖お知らせ

- ご利用の料金プランにより、テザリング利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスへのご加入を強くおすすめします。
- パケット定額サービスご加入の場合、パケット通信料は、「パソコンなどの外部機器を接続した通信」となります。なお、テザリングを有効にした場合、外部機器が接続されていない状態でも、すべてのパケット通信が「パソコンなどの外部機器を接続した通信」となります。
  外部機器での通信が終了次第、必ずテザリングを無効にしてください。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/をご覧ください。
- テザリングの詳細については、設定メニュー画面で（P.87）、［無線とネットワーク］▶［テザリングとポータブルホットスポット］▶［ヘルプ］をご覧ください。

USBテザリングを設定する

本FOMA端末を付属のmicroUSBケーブルと接続し、モデムとして利用することで、USB対応機器をインターネットに接続することができます。

1 **設定メニュー画面で（P.87）、［無線とネットワーク］▶［テザリングとポータブルホットスポット］をタップする**

2 **FOMA端末をmicroUSBケーブルでパソコンに接続する（P.28）**

- 初めてmicroUSBケーブルを接続したときは、パソコンにFOMA端末のドライバソフトがインストールされます。インストール完了までしばらくお待ちください。完了後、続いてPC Companionソフトウェアのインストール確認画面が表示されます。

3 **［スキップ］をタップする**

- お買い上げ時のUSB接続モードの「メディア転送モード（MTP）」でパソコンに接続されます。

4 **［USBテザリング］をタップする**

次ページへつづく

5 **表示される注意事項の詳細を確認して、[OK]をタップする**
- [USBテザリング]にチェックがつきます。

❖**お知らせ**
- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境(OS)は以下のとおりです。なお、ドライバは自動でインストールされます。
  - Microsoft Windows 7
  - Microsoft Windows Vista
  - Microsoft Windows XP
- FOMA端末とパソコンをmicroUSBケーブルで接続する際は、USB接続モードを「メディア転送モード(MTP)」に設定しておく必要があります。

ポータブルWi-Fiアクセスポイントを設定する

本FOMA端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに5台まで同時に接続することができます。

1 **設定メニュー画面で(P.87)、[無線とネットワーク]▶[テザリングとポータブルホットスポット]をタップする**

2 **[ポータブルWi-Fiアクセスポイント設定]をタップする**

3 **設定するWi-Fiホットスポットの[ネットワークSSID]名を入力する**
- お買い上げ時には「SO-01C」が設定されています。

4 **[セキュリティ]フィールドをタップし、設定するWi-Fiホットスポットのセキュリティタイプのラジオボタンにチェックを入れる**
- 「WPA2 PSK」「なし」が表示されます。

5 **必要に応じて、設定するWi-Fiホットスポットのセキュリティ情報を入力する**

6 **[保存]をタップする**

Wi-Fiテザリングを設定する

1 **設定メニュー画面で(P.87)、[無線とネットワーク]▶[テザリングとポータブルホットスポット]をタップする**

2 **[ポータブルWi-Fiアクセスポイント]をタップする**

3 **表示される注意事項の詳細を確認して、[OK]をタップする**
- [ポータブルWi-Fiアクセスポイント]にチェックがつきます。

❖**お知らせ**
- Wi-Fiネットワークに接続しているときに、Wi-Fiテザリングを開始するとWi-Fi接続は切断されますが、Wi-Fiテザリングを終了すると自動的に接続されます。また、Wi-Fi機能を利用してDLNA機器と本FOMA端末を接続しているときも、Wi-Fiテザリングを開始すると自動的に切断/接続されます。
- USBテザリングとWi-Fiテザリングは同時に利用できます。

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。本FOMA端末からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。詳しくは、http://www.sonyericsson.co.jp/support/をご参照ください。

❖お知らせ

- ISPをspモードに設定している場合は、PPTPはご利用いただけません。

VPNを追加する

1 設定メニュー画面で（P.87）、[無線とネットワーク] ▶ [VPN設定]をタップする

2 [VPNの追加] をタップする

3 追加するVPNの種類をタップする

4 画面が表示されたら、ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を設定する

5 を押し、[保存] をタップする

- VPN設定画面のリストに、新たなVPNが追加されます。

❖お知らせ

- 追加したVPNは編集したり、削除したりできます。
  編集するには、変更したいVPNを長くタッチし、[ネットワークの編集] をタップします。必要に応じてVPNの設定を変更し、を押して [保存] をタップします。
  削除するには、削除したいVPNを長くタッチし、[ネットワークを削除] ▶ [OK] をタップします。

VPNに接続する

1 設定メニュー画面で（P.87）、[無線とネットワーク] ▶ [VPN設定]をタップする

- VPN設定画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNをタップする

3 ダイアログボックスが表示されたら、必要な認証情報を入力し、[接続] をタップする

- VPNに接続すると、接続中を示す通知がステータスバーに表示されます。切断すると、VPN設定画面に戻るための通知が表示され、再接続できます。詳細は、「ステータスバー」（P.31）をご参照ください。

VPNを切断する

1 通知パネルを開き、VPN接続中を示す通知をタップする

- 接続中のVPNをタップすると切断されます。

通話設定

ネットワークサービスを設定したり、利用可能なネットワークを検索したりできます。

ネットワークサービス設定	P.80
携帯電話事業者	海外での利用開始時や利用中のネットワークが圏外になったときに、利用可能なネットワークを検索し、接続し直します。
ノイズ抑制	通話中、通話相手が会話の内容を聞き取りやすくなります。
アカウント	インターネット通話(SIP)アカウントの設定をします。
通話方法	インターネット通話(SIP)の通話方法を設定します。

音設定

着信音や操作音、バイブレータなどを設定します。

xLOUD™	オーディオ再生レベル強調技術("xLOUD")を設定すると、ミュージック、YouTube、ギャラリーなどの再生時に、本体スピーカーで迫力のあるサウンドを楽しめます。
マナーモード	P.98
バイブレーション	P.98
音量	P.98
着信音	P.99
通知音	P.99
タッチ操作音	P.99
選択時の操作音	P.99
画面ロックの音	画面ロック解除時の音のオン/オフを設定します。
入力時バイブレーション	特定のソフトキー操作など一部の操作時に、バイブレータを振動させるかどうかを設定します。

マナーモードを設定する

1 **ⓘ を1秒以上押す**

- 携帯電話オプションメニューが表示されます。

2 **［マナーモード］をタップする**

❖お知らせ

- 設定メニュー画面で（P.87）、［音設定］をタップして［マナーモード］にチェックを入れても設定できます。
- 本FOMA端末では、マナーモードに設定中でも、着信音、操作音、各種通知音以外の音声（動画再生、音楽の再生、アラームなど）は消音されません。

バイブレータを設定する

1 **設定メニュー画面で（P.87）、［音設定］▶［バイブレーション］をタップする**

2 **［常に使用］／［なし］／［マナーモードがONの時のみ］／［マナーモードがOFFの時のみ］のいずれかをタップする**

各種音量を調節する

1 **設定メニュー画面で（P.87）、［音設定］▶［音量］をタップする**

- 次の項目の音量を調節します。
  - 着信音
  - メディア（ミュージックプレーヤーやギャラリー、FMラジオの再生音）
  - アラーム
  - 通知

2 **スライダを左右にドラッグして、レベルを調節する**

- 音量を下げるにはスライダを左にドラッグ、上げるにはスライダを右にドラッグします。

3 **［OK］をタップする**

❖お知らせ

- お買い上げ時は、着信音量を調節すると通知音量も同じ音量に調節されます。着信音と通知音を個別に調節するには、手順1で［通知音にも着信音量を適用］のチェックを外します。着信音・通知音それぞれの音量調節のスライダが表示され、スライダを左右にドラッグして個別に音量を設定できます。

着信音の音量を音量キーで調節する

1 ホーム画面で ◁ ▷ の上下を押す

- 音量の調節バーが表示され、音を大きくまたは小さくできます。

❖お知らせ

- 着信時に ◁ ▷ または ⓘ を押すと、着信音を消音にすることができます。

着信音を設定する

1 設定メニュー画面で（P.87）、[音設定] ▶ [着信音] をタップする

2 着信音を選択し、[完了] をタップする

- Media Go（P.162）から転送したり、インターネットからダウンロードした「.wav」、「.m4a」または他の形式の音声ファイルを着信音として設定できます。（P.155）

❖お知らせ

- お買い上げ時に登録されている着信音以外の着信音を設定する場合は、「ミュージックライブラリ」からも設定できます。

通知音を選択する

1 設定メニュー画面で（P.87）、[音設定] ▶ [通知音] をタップする

2 通知音を選択し、[完了] をタップする

❖お知らせ

- お買い上げ時に登録されている通知音以外の通知音を設定する場合は、「ミュージックライブラリ」からも設定できます。

タッチ操作時の音をONにする

1 設定メニュー画面で（P.87）、[音設定] をタップする

2 [タッチ操作音]、[選択時の操作音] にチェックを入れる

- チェックを外すと、タッチやタップしたときに操作音が鳴らないようになります。

❖お知らせ

- 「タッチ操作音」はダイヤルパッドを操作したときの音です。「選択時の操作音」はメニューを選択したときの音です。
- ソフトウェアキーボードのキー操作音の設定は、設定メニュー画面で（P.87）、[言語とキーボード] をタップして、ソフトウェアキーボードの種類を選択してから設定します。

画面設定

画面の明るさや表示方法などを設定します。

モバイルブラビアエンジン	色鮮やかで美しい写真や動画を表示するために、画質改善処理（モバイルブラビアエンジン）を設定します。コントラストや色合いなどが調節されます。
画面の明るさ	P.100
画面の自動回転	P.100
アニメーション表示	P.100
バックライト消灯	P.101
テーマ	P.41

画面の明るさを調節する

1 設定メニュー画面で（P.87）、［画面設定］▶［画面の明るさ］をタップする

2 スライダを左右にドラッグする

- 画面の明るさを下げるにはスライダを左にドラッグ、上げるにはスライダを右にドラッグします。

3 ［OK］をタップする

画面の表示のしかたを変える

FOMA端末を横向き／縦向きにすると、自動的に横画面表示／縦画面表示に切り替わるように設定できます。

❖お知らせ

- ホーム画面など、表示中の画面によっては、FOMA端末の向きを変えても横画面表示されない場合があります。

横画面表示に切り替わるように設定する

1 設定メニュー画面で（P.87）、［画面設定］をタップする

2 ［画面の自動回転］にチェックを入れる

画面切り替え時のアニメーション効果を設定する

画面がなめらかに切り替わるように見えるアニメーションの効果を設定します。

1 設定メニュー画面で（P.87）、［画面設定］▶［アニメーション表示］をタップする

2 アニメーション表示の設定項目を選択する

画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定する

1 **設定メニュー画面で（P.87）、［画面設定］▶［バックライト消灯］をタップする**

2 **画面のバックライトが消灯するまでの時間を選択する**

❖お知らせ

- 画面のバックライトをすぐ消灯するには、⓪ を押します。

現在地情報とセキュリティ

現在地情報表示やセキュリティに関する設定をします。

無線ネットワークを使用	P.175
GPS機能を使用	P.175
画面ロックの設定	P.104
SIMカードロック設定	P.103
パスワードを表示	パスワードの入力画面で、「・」が表示される前に入力した文字を表示するかどうかを設定します。
デバイス管理者を選択	デバイス管理者を有効にするかどうかを設定します。
安全な認証情報の使用	安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスをアプリケーションに許可します。※1
SDカードからインストール	暗号化された証明書をmicroSDカードからインストールします。
パスワードの設定	認証情報ストレージ※2のパスワードを設定したり、変更したりします。
ストレージの消去	認証情報ストレージ※2からすべての証明書や認証情報を消去して、認証情報ストレージのパスワードをリセットします。

※1 あらかじめ認証情報ストレージのパスワードを設定しておいてください。

※2 認証情報ストレージに証明書や認証情報を保管します。

ドコモUIMカードの保護

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。FOMA端末をロックするためのコードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」※の「docomoID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

※「My docomo」については、本書裏表紙の裏面をご覧ください。

PINコード

ドコモUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

PINコードは、第三者による無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のドコモUIMカードを差し替えてお使いになるときは、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。（P.103）

PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

ドコモUIMカードのPINを有効にする

ドコモUIMカードにPIN（暗証番号）を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。

1　設定メニュー画面で（P.87）、［現在地情報とセキュリティ］▶［SIMカードロック設定］▶［SIMカードをロック］をタップする

2　ドコモUIMカードのPINコードを入力して、［OK］をタップする

- ［SIMカードをロック］にチェックがつきます。

電源を入れたときにPINコードを入力する

1　PINコードの入力画面で、ドコモUIMカードのPINコードを入力する

2　［OK］をタップする

❖お知らせ

- SIMカードロックを解除しなくても、キーロック解除後のSIMカードロックの解除画面で［緊急通報］をタップして、緊急通報をかけることができます。詳細については、「緊急通報」（P.66）をご確認ください。

PINコードを変更する

- ドコモUIMカードのPINが有効に設定されているときのみ変更できます。

1　設定メニュー画面で（P.87）、［現在地情報とセキュリティ］▶［SIMカードロック設定］▶［SIM PINの変更］をタップする

2　現在のドコモUIMカードのPINコードを入力して、［OK］をタップする

3　新しいドコモUIMカードのPINコードを入力して、［OK］をタップする

4 もう一度新しいドコモUIMカードのPINコードを入力して、[OK]をタップする

ドコモUIMカードのPUKロックを解除する

1 PUKコードの入力画面でPUKコードを入力して、[OK]をタップする

2 新しいドコモUIMカードのPINコードを入力して、[OK]をタップする

3 もう一度新しいドコモUIMカードのPINコードを入力して、[OK]をタップする

画面ロック

FOMA端末の電源を入れたり、スリープモードから復帰したりするたびに画面のロック解除が必要になることで、データを保護できます。
画面ロックの設定には、「パターン」「PIN」「パスワード」の3種類があります。(P.104)

❖お知らせ

- キーロック(P.29)を使用すると、画面ロックの設定を行わずにFOMA端末の誤動作防止と省電力を行えます。

画面ロックの解除方法を設定する

1 設定メニュー画面で(P.87)、[現在地情報とセキュリティ]▶[画面ロックの設定]をタップする

2 [パターン]/[PIN]/[パスワード]をタップする

- [パターン]をタップした場合は、画面の指示に従って、ロック解除パターンを入力します。
  パターンを忘れた場合の秘密の質問および答えを設定してください。
- [PIN]をタップした場合は、画面の指示に従って、4つ以上の数字を入力します。この「PIN」は、ドコモUIMカードに設定されるPINコード(P.102)とは別のものです。
- [パスワード]をタップした場合は、画面の指示に従って、アルファベットを含む4つ以上の文字を入力します。

画面ロックの解除方法を変更する

1 設定メニュー画面で(P.87)、[現在地情報とセキュリティ]▶[画面ロックの変更]をタップする

- 現在のロック解除パターン、PIN、またはパスワードを入力します。
- ロック解除パターンの入力を5回続けて失敗した場合は、30秒待ってから再試行してください。

次ページへつづく

2 **［パターン］／［PIN］／［パスワード］をタップする**

- 新しく変更したい項目を選択します。設定方法は「画面ロックの解除方法を設定する」の手順2（P.104）をご参照ください。

画面ロックをかける

画面ロックの解除方法を設定（P.104）した後に、スリープモード、または ⓘ を押すと、キーロックと画面ロックがかかります。

画面ロックを解除する

1 **［⌂］または ⓘ を押して、FOMA端末をアクティブにする**

2 **キーロックを解除して、画面のロック解除方法を入力する**

- あらかじめ設定しておいたロック解除パターン、PIN、またはパスワードを入力します。

❖お知らせ

- 画面ロックを解除しなくても、キーロック解除後の画面ロックの解除画面で［緊急通報］をタップして、緊急通報をかけることができます。詳細については、「緊急通報」（P.66）をご確認ください。

ロック解除方法を忘れた場合

■「パターン」を設定している場合

画面ロック解除パターンを5回続けて間違えると、「パターンが違います」と表示されます。

- ［次へ］をタップし、［質問に回答］にチェックを入れて［次へ］をタップすると、ロック解除パターン設定時に設定した質問に答えることで画面ロックを解除することができます。
- Google アカウントを登録している場合は、「パターンが違います」画面で［次へ］をタップし、［Googleアカウント情報を入力］にチェックを入れて［次へ］をタップし、Googleアカウントとパスワードを入力して画面ロックを解除することもできます。

❖お知らせ

- ［やり直す］をタップすると、30秒後にパターンの入力を再試行できます。
- ［やり直す］▶［パターンを忘れた場合］をタップしても、ロック解除パターン設定時に設定した質問に答える画面が表示されます。
- Googleアカウントは複数のアカウントを設定できますので、Googleアカウントとパスワードを入力して画面ロックを解除するには、そのいずれかのアカウントを入力して解除できます。

■「PIN」／「パスワード」を設定している場合

ドコモショップにお問い合わせください。

画面ロックがかからないようにする

一度設定した画面ロックをかからない設定に戻します。

1 **設定メニュー画面で（P.87）、［現在地情報とセキュリティ］▶［画面ロックの変更］をタップする**

- あらかじめ設定しておいたロック解除パターン、PIN、またはパスワードを入力します。

2 **［なし］をタップする**

アプリケーション

アプリケーションの表示や、管理に関する設定をします。

提供元不明のアプリ	P.106
アプリケーションの管理	P.107
実行中のサービス	現在実行中のサービスを表示／管理します。
ストレージ使用状況	すべてのアプリケーションの容量や使用状況などを表示します。
電池使用量	電池を使用している操作を表示します。
開発	アプリケーション開発時に利用できるオプションを設定します。

提供元不明のアプリケーションのダウンロードを許可する

提供元不明のアプリケーションをダウンロードする前に、本体の設定でダウンロードを許可する必要があります。
ダウンロードするアプリケーションは発行元が不明な場合もあります。お使いのFOMA端末と個人データを保護するため、Androidマーケットなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

1 **設定メニュー画面で（P.87）、［アプリケーション］をタップする**

2 **［提供元不明のアプリ］をタップする**

3 **表示される注意文を読んで、［OK］をタップする**

- ［提供元不明のアプリ］にチェックがつきます。

ダウンロードしたアプリケーションを確認する

提供元不明のアプリケーションなどウェブからダウンロードしたデータを次の操作で確認できます。

1 **ホーム画面で［ブラウザ］をタップする**

次ページへつづく

2 [メニュー]を押し、[その他]▶[ダウンロード履歴]をタップする

❖お知らせ
- ホーム画面で[アプリ]▶［ダウンロード］をタップしても確認できます。
- Androidマーケットからダウンロードしたアプリケーションは表示されません。

アプリケーションを管理する

インストールされたアプリケーションの管理や削除、メモリの使用状況などを表示したり、設定を変更したりできます。

FOMA端末のアプリケーションに許可されている動作を表示する

各アプリケーションの操作に伴い、本FOMA端末内のネットワーク通信機能や位置情報機能など、アクセスが許可されている機能が確認できます。

1 設定メニュー画面で（P.87）、［アプリケーション］▶［アプリケーションの管理］をタップする

2 表示したいアプリケーションをタップする

3 スクロールして許可されている動作を表示する
- すべての許可されている動作が表示されていない場合は、［すべて表示］をタップします。

アプリケーションを強制停止する

アプリケーションが応答しないというポップアップウィンドウが表示された場合に、アプリケーションを強制停止することができます。

1 設定メニュー画面で（P.87）、［アプリケーション］▶［アプリケーションの管理］をタップする

2 強制停止するアプリケーションをタップする

3 ［強制停止］をタップする

4 表示される注意文を読んで、［OK］をタップする

❖お知らせ
- アプリケーションを強制停止したくないときには、［キャンセル］をタップしてアプリケーションの応答を待ってください。

❖注意
- アプリケーションの「ステータスバー」を強制停止すると正常に動作しない場合があります。

アプリケーションのすべてのデータを消去する

- インストールされたアプリケーションのすべてのデータを消去する前に、アプリケーション内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。

次ページへつづく

1 設定メニュー画面で（P.87）、[アプリケーション] ▶ [アプリケーションの管理] をタップする

2 データを消去したいアプリケーションをタップする

3 [データを消去] をタップする

4 [OK] をタップする

インストールされたアプリケーションを削除する

- インストールされたアプリケーションを削除する前に、アプリケーション内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
- いくつかのアプリケーションは削除できません。

1 設定メニュー画面で（P.87）、[アプリケーション] ▶ [アプリケーションの管理] をタップする

2 削除したいアプリケーションをタップする

3 [アンインストール] をタップする

4 [OK] をタップする

5 アンインストールが完了したら [OK] をタップする

❖お知らせ

- FOMA端末にプリインストールされているアプリケーションは、アンインストールできない場合があります。
- アプリケーション画面でもアプリケーションを削除することができます。詳細については、「アプリケーションをアンインストールする」（P.49）をご参照ください。

アプリケーションのキャッシュを消去する

1 設定メニュー画面で（P.87）、[アプリケーション] ▶ [アプリケーションの管理] をタップする

2 キャッシュを消去したいアプリケーションをタップする

3 [キャッシュを消去] をタップする

充電中に画面のバックライトをONにしておく

1 設定メニュー画面で（P.87）、[アプリケーション] ▶ [開発] をタップする

2 [スリープモードにしない] にチェックを入れる

アカウントと同期

オンラインサービスのアカウント管理（追加または削除）や、オンラインサービス上の連絡先やメッセージなどの情報を本FOMA端末と同期させる設定をします。

バックグラウンドデータ	FOMA端末にインストールされているすべてのアプリケーションが自動的にデータ通信を行います。
自動同期を有効にする	GoogleサービスのGmailやカレンダー、連絡先などのオンラインサービス上の情報を自動的に同期します。（P.111）
アカウントを管理	P.109

アカウントを管理する

オンラインサービスのアカウントを追加または削除します。

Googleアカウントを設定する

Googleアカウントを FOMA 端末に設定し、Gmail、Google トーク、Googleカレンダー、AndroidマーケットなどのGoogleサービスを利用できます。
なお、FOMA端末には複数のGoogleアカウントを設定することができます。

1 設定メニュー画面で（P.87）、［アカウントと同期］▶［アカウントを追加］▶［Google］をタップする

2 登録ウィザードの説明に従ってGoogleアカウントを設定する

- Googleアカウントを持っていない場合は、アカウントを作成してください。
- すでにGoogleアカウントを持っている場合は、ログインしてください。

❖お知らせ

- Googleアカウントを設定しない場合でもFOMA端末をお使いいただくことはできますが、Googleトーク、Gmail、AndroidマーケットなどのGoogleサービスがご利用になれません。
- サインインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。
- Googleアカウントを設定すると、設定メニューの「アカウントと同期」の画面に表示されるGoogleアカウントをタップして、次の項目からそれぞれのデータを手動で同期させることができます。

連絡先を同期	Gmailに登録されている連絡先を本FOMA端末の電話帳に同期
Gmailを同期	Googleアカウントで利用しているメールの送受信履歴を本FOMA端末のGmailに同期
カレンダーを同期	Googleアカウントに登録されている予定などのカレンダー情報を本FOMA端末のカレンダーに同期

- 設定したGoogleアカウントでPicasaをご利用の場合は、「Picasa Web Albumsを同期」が表示され、タップして同期させるとFOMA端末のギャラリーにPicasaのウェブアルバムが表示されます。

- Googleアカウントでログインする前に、データ接続可能な状態であることを確認してください。データ接続状態を知るには、「ステータスアイコン」（P.31）をご参照ください。

Facebookアカウントを設定する

Facebookアカウントの登録・ログインを行うと、オンラインサービス上の「友達」が公開しているプロフィール情報を連絡先に同期（登録・更新）させることができます。
また、「友達」がFacebookにアップしている画像をギャラリーや連絡先の「写真」フィルターに表示したり、「いいね！」に登録した情報を連絡先の「趣味と関心」フィルターに表示したり、Timescapeにも「友達」の更新情報が表示できるようになります。

❖お知らせ

- Facebook アカウントをまだお持ちでない場合は、http://www.facebook.com のウェブサイトからもアカウントを新規作成することができます。
- Twitter、mixiのクライアントアプリをダウンロード・インストールすると、Facebook同様にアカウントの設定や連絡先情報の同期ができます。

1 設定メニュー画面で（P.87）、［アカウントと同期］▶［アカウントを追加］▶［Facebook］をタップする

- すでにFacebookアカウントを持っていて、本FOMA端末で電話帳やTimescapeなどからアカウント設定している場合は、追加する必要はありません。

2 画面の指示に従ってログイン情報などを設定する

- Facebookアカウントを持っていない場合は、アカウントを登録してください。
- すでにFacebookアカウントを持っている場合は、ログインしてください。

❖お知らせ

- Facebookのアカウントを設定している場合は、設定メニューの「アカウントと同期」の画面に2つのFacebookのアイコンと設定したメールアドレスが表示されます。Facebookアイコンの（Sony Ericsson端末用Facebook）をタップすると、次の項目をタップしてそれぞれのデータを同期、表示させることができます。

カレンダーを同期	Facebookに登録されている友達の誕生日などのイベントを本FOMA端末のカレンダーに同期
ギャラリー内のアルバムを同期	Facebookにアップしている画像を本FOMA端末の連絡先情報フィルターの「写真」フィルターやギャラリーのアルバムに表示
連絡先を同期	Facebookに登録されている友達のプロフィールを本FOMA端末の電話帳に同期

- 同期が完了しなかった場合は、画面の指示に従ってステータスバーを下へドラッグして通知項目をタップし、接続先画面で［OK］をタップすると同期を完了できます。

その他のアカウントを設定する

■ Exchange ActiveSyncアカウント

- Exchange ActiveSyncアカウントをお持ちの場合、設定メニュー画面で（P.87）、[アカウントと同期] ▶ [アカウントを追加] ▶ [Exchange Active Sync] をタップし、表示される画面の指示に従って設定してください。

■ docomoアカウント

- ドコモが提供する「電話帳バックアップ」サービス（P.47）を利用する際に使用します。お買い上げ時から設定されています。

アカウントを削除する

1 **設定メニュー画面で（P.87）、[アカウントと同期] をタップし、削除したいアカウントを選択する**

2 **[アカウントを削除] ▶ [アカウントを削除] をタップする**

❖お知らせ

- はじめに登録したGoogleアカウントは、「アカウントを削除」から削除できません。はじめに登録したGoogleアカウントを削除するには、FOMA端末をリセットしてください。リセット方法について詳しくは、「FOMA端末をリセットする」（P.112）をご参照ください。

データの同期について

FOMA端末とGoogleサービスのGmail、カレンダー、連絡先など、オンラインサービス上の情報を同期することができます。FOMA端末およびパソコンのどちらからでも情報を表示、編集できます。

❖お知らせ

- 同期するには、FOMA端末でGoogleアカウントなどのオンラインサービスのアカウントを設定する必要があります。手動で同期するか、またはバックグラウンドデータを使用することで自動同期するように設定できます。

自動同期を設定する

1 **設定メニュー画面で（P.87）、[アカウントと同期] をタップする**

2 **[バックグラウンドデータ] のチェックボックスにチェックを入れる**

3 **[自動同期を有効にする] をタップする**

4 **表示される注意文を読んで、[OK] をタップする**

- [自動同期を有効にする]にチェックがつきます。

5 **アカウントを設定したオンラインサービスをタップする**

6 **自動同期する同期項目をタップしてチェックを入れる**

- 同期する項目にチェックが入っていてチェックボックスの前に が表示されている場合は、同期が始まります。 が1つも表示されていない場合は、 を押して［今すぐ同期］をタップして同期を開始できます。

❖注意

- ［バックグラウンドデータ］にチェックを入れると、FOMA端末にインストールされているすべてのアプリケーションおよびアカウントを設定したオンラインサービスとの間で自動的にデータ通信を行うことを許可します。また［自動同期を有効にする］にチェックを入れると、Googleアカウントでの Gmail、カレンダー、連絡先などのデータ、およびオンラインサービスで設定した「友達」などが公開しているプロフィールの情報などを自動的に同期することを許可します。これらの通信は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- 「自動同期を有効にする」にチェックを入れていない場合は、手動で同期することができます。設定メニュー画面（P.87）で、［アカウントと同期］をタップし、アカウントを設定したサービスをタップして同期項目を表示させ、同期させたい項目をタップします。

同期を中止する

1 **同期中（ステータスバーに が表示中）に を押す**

2 **［同期をキャンセル］をタップする**

プライバシー設定

FOMA端末をお買い上げ時の状態に初期化します。

データの初期化	FOMA端末をリセットします。

FOMA端末をリセットする

FOMA端末をリセットすると、ダウンロードしたアプリケーションを含むすべてのデータ、およびGoogleアカウントが削除され、FOMA端末は初期状態（お買い上げ時の状態）に戻ります。必ずFOMA端末の重要なデータをバックアップしてから、FOMA端末をリセットしてください。
初期設定については、「初期設定（セットアップガイド）」（P.30）をご参照ください。

1 **設定メニュー画面で（P.87）、［プライバシー設定］▶［データの初期化］▶［携帯端末をリセット］をタップする**

- ［SDカード内データを消去］のチェックボックスにチェックを入れると、microSDカードの内容がすべて消去されます。
- 必要に応じて、画面ロックの解除方法を入力します。

次ページへつづく

2 [すべて削除] をタップする

- [すべて削除] をタップすると、FOMA端末は自動的に再起動します。

❖注意

- FOMA端末の再起動またはリセット中は、そのままお待ちください。再起動またはリセット中に電池パックを取り外すと、FOMA端末が故障する恐れがあります。

ストレージ

microSDカードやFOMA端末のメモリ容量を確認したり、microSDカードの初期化を設定します。

合計容量	microSDカードの容量を確認します。
空き容量	microSDカードの空き容量を確認します。
SDカードのマウント解除※	microSDカードの認識を解除して、microSDカードの安全な取り外しを設定します。
SDカードをマウント※	microSDカードを認識します。
SDカード内データを消去	P.113
空き容量	FOMA端末のメモリの空き容量を確認します。

※ microSDカードの認識状態によって表示が変わります。

メモリを管理する

microSDカードをフォーマットする

1 設定メニュー画面で（P.87）、[ストレージ] ▶ [SDカードのマウント解除] をタップする

- 確認画面が表示された場合は、[OK] をタップします。

2 [SDカード内データを消去] をタップする

3 再度 [SDカード内データを消去] をタップし、[すべて削除] をタップする

❖お知らせ

- フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

microSDカード、端末内部の空き容量を確認する

1 設定メニュー画面で（P.87）、[ストレージ] をタップする

- 画面上部にmicroSDカードの合計容量と空き容量、画面下部に端末内部メモリの空き容量が表示されます。

端末内部またはmicroSDカードの空き容量を増やす

端末メモリが少ない場合、次の操作を行うことで端末メモリの空き容量を増やすことができます。

- ブラウザで、すべての一時インターネットファイルとブラウザ履歴情報をクリアします。詳細については、「履歴を削除する」（P.133）をご参照ください。
- 使用しないアプリケーションをアンインストールします。詳細については、「インストールされたアプリケーションを削除する」（P.108）をご参照ください。

言語とキーボード

使用する言語とキーボードの入力方法を設定します。

地域／言語を選択	P.114
単語リスト	単語を登録します。
外国語キーボード	P.59
POBox Touch（日本語）	
中国語キーボード	

使用する言語を変更する

1 **設定メニュー画面で（P.87）、［言語とキーボード］▶［地域／言語を選択］をタップする**

2 **言語を選択する**

❖お知らせ

- 間違った言語を選択して表示内容が読めなくなった場合は、http://www.sonyericsson.co.jp/so-01c/faq.htmlのヘルプをご参照ください。

音声入出力

Google音声認識を設定したり、テキスト読み上げの設定をします。

■ 音声認識の設定

言語	Google音声検索時に入力する言語を設定します。
セーフサーチ	アダルトフィルタを設定します。
不適切な語句をブロック	音声認識の不適切な結果を表示するかどうかを設定します。

■ テキスト読み上げの設定

サンプルを再生	音声合成の短いサンプルを再生します。
常に自分の設定を使用	アプリケーションの設定を、「規定のエンジン」、「音声データをインストール」、「音声の速度」、「言語」、「Pico TTS」で設定した内容で上書きします。
既定のエンジン	テキストを読み上げるための音声合成エンジンを設定します。お買い上げ時には「Pico TTS」が設定されています。

音声データをインストール	音声合成に必要な音声データをインストールします。音声データがインストールされていない場合は、Androidマーケットに接続し、音声データを検索します。
音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
言語	テキストを読み上げる言語を設定します。
Pico TTS※	インストールされている音声合成エンジンについて設定します。

※ 日本語には対応しておりません。

ユーザー補助

通話終了時の動作や、ユーザーの操作に音や振動で反応するユーザー補助サービスを設定します。

❖お知らせ

- お買い上げ時はユーザー補助アプリケーションがインストールされておりません。初めて使用するときは、表示される画面に従ってAndroidマーケットからFOMA端末用のスクリーンリーダーをインストールしてください。
- Androidマーケットのご利用には、Googleアカウントの設定（P.109）が必要となります。

ユーザー補助	ユーザー補助サービスのオン／オフを設定します。
電源ボタンで通話を終了	ⓞを押すことで、通話の終了ができるように設定します。

日付と時刻

FOMA端末の日付と時刻を変更できます。

日付、タイムゾーン、時刻を手動で設定する場合は、「自動」時刻設定（ネットワーク自動設定）のチェックをタップして、解除する必要があります。

自動	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って、日付、タイムゾーン、時刻などを自動的に補正します。
日付設定	P.115
タイムゾーンの選択	P.116
時刻設定	P.116
24時間表示	P.116
日付形式	P.116

日付を設定する

1. **設定メニュー画面で（P.87）、[日付と時刻] ▶ [日付設定] をタップする**
2. **数字をタップして日付を合わせる**
3. **[設定] をタップする**

❖お知らせ

- 海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定（P.116）してください。

タイムゾーンを設定する

1 **設定メニュー画面で（P.87）、［日付と時刻］▶［タイムゾーンの選択］をタップする**

2 **設定する項目をタップする**

時刻を設定する

1 **設定メニュー画面で（P.87）、［日付と時刻］▶［時刻設定］をタップする**

2 **数字をタップして時間と分を合わせる**

- ［24時間表示］のチェックを外している場合は、午前・午後を切り替えることができます。［午前］をタップすると［午後］に変わります（その逆も同じ）。

3 **［設定］をタップする**

時間形式を設定する

1 **設定メニュー画面で（P.87）、［日付と時刻］をタップして、［24時間表示］にチェックを入れる／外す**

- チェックを入れると時刻の表示が24時間表示になり、チェックを外すと12時間表示になります。

日付形式を設定する

1 **設定メニュー画面で（P.87）、［日付と時刻］▶［日付形式］をタップする**

2 **設定する項目をタップする**

端末情報

電話番号や電波状態、法定情報などの情報を確認できます。

ソフトウェア更新	P.201
端末の状態	自分の電話番号や電波の状態、電池残量などを確認できます。
電池使用量	電池を使用している操作が表示されます。
法的情報	使用許諾条件や利用規約などを確認できます。
モデル番号	バージョンや番号を確認できます。
Androidバージョン	
ベースバンドバージョン	
カーネルバージョン	
ビルド番号	

spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しております。spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 ホーム画面で［spモードメール］をタップする
- 以降は画面の指示に従って操作してください。

メッセージ（SMS）

携帯電話番号を宛先にして、全角最大70文字（半角英数字のみの場合は160文字）まで、テキストメッセージを送受信できます。

メッセージ（SMS）を送信する

1 ホーム画面で▦をタップし、［メッセージ］をタップする

2 ［新規作成］▶［宛先を追加］をタップする

3 連絡先の一覧から送信する相手のチェックボックスにチェックを入れる
- 画面上部のボックスに名前か電話番号を入力すると、前方一致する連絡先がリスト表示されます。
- 画面上部のボックスに電話番号を入力して［追加］をタップしても、宛先を追加できます。

4 ［完了］をタップする

5 ［メッセージを作成］欄をタップして、メール本文を入力する
- 入力した文字数が制限文字数に近づくと、テキストボックスの左上にカウンタが表示され、あと何文字入力できるかが表示されます。

6 ［送信］をタップする

❖お知らせ
- テキストの入力については、「文字入力」（P.50）をご参照ください。
- 海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。利用可能な国・海外通信事業者については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください）。

メッセージ（SMS）を受信して読む

1 ホーム画面で▦をタップし、［メッセージ］をタップする

2 相手先のリストから読みたい相手をタップする

- 受信メッセージが表示されます。

❖お知らせ

- メッセージ（SMS）を受信すると、✉がステータスバーに表示されます。メールを読むには、ステータスバーを下にドラッグし、通知されたメッセージ（SMS）の項目をタップします。

メッセージの電話番号を連絡先に保存する

1 ホーム画面で▦をタップし、［メッセージ］をタップする

2 電話番号を保存するスレッドを選択する

3 ☰を押し、［宛先を編集］をタップする

4 連絡先に追加したい電話番号をタップする

5 発信画面で［保存］▶［連絡先を新規登録］をタップする

6 ［docomo］／［本体連絡先］をタップする

- Googleアカウントなどを設定している場合は、登録先として表示されます。

7 必要な項目を入力し、［完了］をタップする

メッセージ（SMS）を設定する

1 ホーム画面で▦をタップし、［メッセージ］をタップする

2 ☰を押し、［設定］をタップする

- 次の設定ができます。

配信確認レポート	チェックを入れると、相手がメッセージを受信するたびに、自分の送ったメッセージにチェックがつきます。
通知	チェックを入れると、ステータスバーでメッセージの受信を通知します。
通知音	通知設定を行っている場合、受信時に選択した着信音で通知します。
通知バイブレーション	通知設定を行っている場合に、チェックを入れると、受信時に振動でもお知らせします。

次ページへつづく

SIMメッセージ	ドコモUIMカードに保存したメッセージを管理します。
プッシュ設定	プロバイダからメッセージの設定を送信します。

メッセージを削除する

1 **ホーム画面で▦をタップし、[メッセージ]をタップする**

2 **スレッドをタップして選択する**

3 **削除するメッセージを長くタッチする**

4 **[メッセージを削除]▶[はい]をタップする**

スレッドを削除する

1 **ホーム画面で▦をタップし、[メッセージ]をタップする**

2 **削除するスレッドを長くタッチする**

3 **[メッセージを削除]▶[はい]をタップする**

すべてのスレッドを削除する

1 **ホーム画面で▦をタップし、[メッセージ]をタップする**

2 **☰を押し、[複数のメッセージを削除]をタップする**

3 **[全て選択]▶[削除]をタップする**

- [全て選択]をタップした後、個別のスレッドをタップしてチェックを外すことができます。[全クリア]をタップすると、すべてのスレッドのチェックを外すことができます。

Eメール

mopera UメールのEメールアカウント、一般のISP（プロバイダ）が提供するPOP3やIMAPに対応したEメールアカウント、Exchange ActiveSyncアカウントなどを設定して、Eメールを送受信できます。

Eメールの初期設定をする

Eメールセットアップウィザードが表示されますので、画面の指示に従って設定します。複数のEメールアカウントを設定することもできます。

1 **ホーム画面で▦をタップし、[Eメール]をタップする**

2 **Eメールアドレスとパスワードを入力する**

3 **［次へ］をタップする**

- Eメールを手動で設定する場合は、［手動セットアップ］をタップし、表示される画面に従って設定してください。

4 **アカウントの名前と送信メールに表示される名前を入力する**

- 「このアカウントのタイプ」と表示された場合は、設定するEメールアカウントの種類をタップし、表示される画面の指示に従って設定してください。
- Exchange ActiveSyncアカウントを設定する場合、送信メールに表示される名前を設定することはできません。

5 **［完了］をタップする**

- 設定したEメールアカウントの受信トレイが表示されます。

❖お知らせ

- 設定を手動で入力する必要がある場合は、Eメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいEメールアカウント設定を問い合わせてください。
- EメールアカウントにExchange ActiveSyncアカウントを設定した場合、サーバー管理者がリモートワイプを設定していると、FOMA端末内のデータが消去される場合があります。
- Eメールは、Timescapeには表示されません。

Eメールを作成して送信する

1 **ホーム画面で▦をタップし、［Eメール］をタップする**

2 **［新規作成］をタップする**

3 **相手のEメールアドレスを入力する**

- ＋をタップすると連絡先一覧画面が表示され、登録されている連絡先の中から選択できます。アルファベットまたは名前を入力すると、登録されている連絡先に前方一致するメールアドレスの候補を表示します。
- CcまたはBccを追加するには、☰を押して、［Cc／Bccを追加］をタップします。
- 複数のEメールアドレスを文字で直接入力する場合は、カンマ（,）で区切って次のEメールアドレスを入力します。
- 受信したメールの送信者名は、送信側で設定している名前が表示されます。

4 **件名を入力する**

5 **メール本文を入力する**

6 **ファイルを添付する場合は、［添付ファイルを追加］をタップし、次の操作でファイルを添付する**

画像を追加	保存した画像ファイルの一覧から選択します。

写真を撮影	カメラを起動して撮影したフォトを添付します。
ムービーを追加	保存した動画ファイルの一覧から選択します。
ムービーを録画	カメラを起動して録画したムービーを添付します。
サウンドを追加	**ミュージックを選択**：保存された音楽ファイルを選択します。 **音声レコーダー**：音声メッセージを録音して添付します。

- Eメールで添付可能なファイル種別は最大5MBの画像／動画／音楽ファイルとなります。

7 ［送信］をタップする

❖お知らせ

- ［下書き保存］をタップすると、メッセージを下書きとして保存します。また、メール作成中に他の画面に遷移すると、自動的に下書き保存します。
- Eメールの送受信には、画面に表示される文字や画像以外に通信が必要なデータが含まれており、その部分も課金の対象となります。
- Eメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信する端末で「PCからの受信拒否」の設定を行っていると、メールを受信できません。

Eメールを受信して読む

1 ホーム画面でをタップし、［Eメール］をタップする

- アカウントの一覧画面が表示された場合は、受信するEメールのアカウントをタップして選択します。

2 受信トレイでを押し、［更新］をタップする

3 メールをタップする

❖お知らせ

- Eメールアカウントの設定（P.123）で「Eメール着信通知」を設定し、「受信トレイの確認頻度」を「手動」以外に設定している場合、新しいEメールの受信をお知らせするがステータスバーに表示されます。ステータスバーを下にドラッグすると、受信したEメールを確認できます。
- Eメールアカウントの設定（P.123）で「受信トレイの確認頻度」を「手動」以外に設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着メールを確認するたびに課金が発生する場合があります。
- 受信したEメールのアドレスをタップすると、連絡先に登録したり、すでに登録した連絡先の場合は連絡先の内容を表示したりすることができます。
- メール本文の画面で（グレー）をタップすると（黄色）に変わり、マークを付けたメールがEメール画面の「スター付き」に追加されます。「スター付き」を使用すると、マークを付けたメールにすばやくアクセスできます。
  メール本文の画面にが表示されていないときは、をタップすると表示されます。
- 本体内部メモリの残量が少なくなるとメモリが少ない旨が表示され、メールの受信ができなくなります。保存しているメールを削除するなどして本体メモリの容量を空けてください。

受信トレイの表示を変更する

1 ホーム画面で[アイコン]をタップし、［Eメール］をタップする

- アカウントの一覧画面が表示された場合は、受信するEメールアカウントをタップして選択します。

2 [メニューキー]を押し、［プレビュー画面］をタップする

- 次の設定ができます。

OFF	受信トレイは分割されません。
ON	縦画面時に[アイコン]をタップ、または横画面時に[アイコン]をタップすると受信トレイが分割され、選択中のメールの本文が表示されます。

❖お知らせ

- 複数のアカウントを登録している場合、いずれかのアカウントで変更するとすべてのアカウントが同じ表示方法に変更されます。

Eメールメッセージの添付ファイルを保存する

1 ホーム画面で[アイコン]をタップし、［Eメール］をタップする

- アカウントの一覧画面が表示された場合は、添付ファイルを保存したいEメールのアカウントをタップして選択します。

2 メールをタップする

- メール文面下部に添付ファイルのリストが表示されます。

3 保存したいファイルの［保存］をタップする

- 添付ファイルがmicroSDカードに保存されます。
- ［開く］をタップして添付ファイルを表示させることもできます。

Eメールを返信／転送する

1 ホーム画面で[アイコン]をタップし、［Eメール］をタップする

- アカウントの一覧画面が表示された場合は、返信または転送したいEメールのアカウントをタップして選択します。

■ 返信する

メールをタップする▶[メニューキー]を押す▶［返信］または［全員に返信］をタップする▶テキストを入力し、［送信］をタップする

■ 転送する

メールをタップする▶[メニューキー]を押す▶［転送］をタップする▶相手のEメールアドレスを入力する▶テキストを入力し、［送信］をタップする

次ページへつづく

❖お知らせ

- メール本文の画面で ▶ （返信）／ （全員に返信）／ （転送）をタップしても、返信または転送できます。
- メールを返信または転送すると、返信または転送元のメールの内容が引用されます。元のメールの内容の引用を削除するには、 をタップします。
- メールを転送すると、元のメールの添付ファイルが引用されます。添付ファイルの引用を削除するには、 をタップします。
- メールを長くタッチしても、返信または転送することができます。

Eメールを削除する

1 ホーム画面で をタップし、［Eメール］をタップする

- アカウントの一覧画面が表示された場合は、Eメールを削除したいアカウントをタップして選択します。

2 削除するメールを長くタッチする

3 ［削除］▶［はい］をタップする

❖お知らせ

- 削除したいメールの左側のチェックボックスをタップして、画面下部に表示される をタップすると、複数のEメールを同時に削除することができます。
- 送信中のメールを削除するには、 を押して、［フォルダ］▶「送信トレイ」をタップし、削除したいメールを長くタッチして、［削除］をタップします。

Eメールアカウントの設定を変更する

1 ホーム画面で をタップし、［Eメール］をタップする

- アカウントの一覧画面が表示された場合は、設定を変更したいアカウントを長くタッチし、［アカウント設定］をタップすると、設定を変更できます。

2 を押し、［アカウント設定］をタップする

- 次の設定ができます。

アカウント名	アカウント名を変更します。
名前	あなたの名前（差出人名）を変更します。
署名	署名を変更します。
受信トレイの確認頻度	新着Eメールの自動確認の有無や自動確認の間隔を設定します。
優先アカウントにする	メールアカウントが複数設定されている場合、Eメールを作成するときの優先アカウントに設定します。
Eメール着信通知	新着Eメールの通知をステータスバーに表示するかどうかを設定します。
着信音を選択	Eメールを受信した場合の着信音を設定します。
バイブレーション	Eメールを受信した場合に振動でお知らせするかどうかを設定します。
受信サーバー設定	受信メールサーバーを設定します。

次ページへつづく

送信サーバー設定	送信メールサーバーを設定します。

❖お知らせ

- Exchange ActiveSyncアカウントでは、「同期の頻度」「連絡先を同期」「カレンダーを同期」も設定できます。また、「送信サーバー設定」は設定できません。
- 「受信トレイの確認頻度」を「手動」以外に設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着メールを確認するたびに課金が発生する場合があります。

別のEメールアカウントを設定する

1 ホーム画面で をタップし、[Eメール]をタップする

- アカウントの一覧画面以外が表示された場合は、 を押して[アカウント]をタップします。

2 を押し、[アカウントを追加]をタップする

3 Eメールアドレスとパスワードを入力する

- 必要に応じて、[いつもこのアカウントでEメールを送信]のチェックボックスにチェックを入れます。

4 [次へ]をタップする

- Eメールを手動で設定する場合は、[手動セットアップ]をタップし、表示される画面に従って設定してください。

5 アカウントの名前と送信メールに表示される名前を入力する

- 「このアカウントのタイプ」と表示された場合は、設定するEメールアカウントの種類をタップし、表示される画面の指示に従って設定してください。
- Exchange ActiveSyncアカウントを設定する場合、送信メールに表示される名前を設定することはできません。

6 [完了]をタップする

- 設定したEメールアカウントの受信トレイが表示されます。

❖お知らせ

- 設定を手動で入力する必要がある場合は、Eメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいEメールアカウント設定を問い合わせてください。
- EメールアカウントにExchange ActiveSyncアカウントを設定した場合、サーバー管理者がリモートワイプを設定していると、FOMA端末内のデータが消去される場合があります。
- 受信トレイで を押し、[アカウント]をタップすると、Eメール画面が表示され、設定したアカウントの一覧が表示されます。
- Eメール画面の「統合受信トレイ」には、設定したアカウントの受信メールがすべて表示されます。
- Eメール画面でアカウント名をタップすると、選択したアカウントのみの受信トレイが表示されます。
- Eメールは、Timescapeには表示されません。

Eメールアカウントを削除する

1 ホーム画面で▦をタップし、[Eメール]をタップする

- アカウントの一覧画面以外が表示された場合は、▤を押して[アカウント]をタップします。

2 削除するアカウントを長くタッチして、[アカウント削除]▶[OK]をタップする

mopera Uメールを利用する

mopera Uをご利用いただいているお客様（設定方法は「mopera Uを設定する」（P.89）をご参照ください）は、mopera Uメールのご利用が可能です。

mopera UメールはPOPメール、IMAPメール両方の利用が可能です。メールBOXは50Mバイト利用可能です。ウェブメールでも利用が可能です。

POPメールの場合

1 ホーム画面で▦をタップし、[Eメール]をタップする

- すでにEメールアカウントを設定している場合は、次の操作を行ってください。
  - アカウントの一覧画面が表示された場合は、▤を押して[アカウントを追加]をタップします。
  - アカウントの一覧画面以外が表示された場合は、▤を押して[アカウント]をタップし、▤を押して[アカウントを追加]をタップします。

2 mopera Uメールアドレスとmopera Uのパスワードを入力し、[手動セットアップ]／[次へ]をタップする

- [次へ]をタップした場合は、自動的にPOP3アカウントとなるので、手順4へ進みます。

3 メールアカウントのタイプから[POP3]をタップする

4 mopera Uの［ユーザー名］［パスワード］を正しく入力し、POP3サーバーには［mail.mopera.net］を入力して、入力内容を確認する

- 手順2で［次へ］をタップした場合は、POP3サーバー欄に「mail.mopera.net」が入力されています。

5 セキュリティの種類を選択する

- 選択しない場合は、［次へ］をタップして手順8へ進みます。

6 セキュリティの選択画面で、使用するセキュリティのラジオボタンにチェックを入れる

7 入力内容を確認して、［次へ］をタップする

8 SMTPサーバーには［mail.mopera.net］を入力し、mopera Uの［ユーザー名］［パスワード］の入力内容を確認する

- 手順2で［次へ］をタップした場合、mopera Uの［ユーザー名］［パスワード］の入力内容を確認するには、［ログインが必要］にチェックを入れておく必要があります。
- 手順2で［次へ］をタップした場合は、SMTPサーバー欄に「mail.mopera.net」が入力されています。また、ポート欄は「587」に設定してください。

9 ［次へ］をタップする

10 オプションの設定画面で、Eメールチェックの頻度などを設定し、［次へ］をタップする

11 メールアカウントの登録画面で、送信メールに表示される名前を入力し［完了］をタップする

- メーラーが表示され、設定したメールが利用可能になります。

❖お知らせ

- SMTPサーバーの設定画面で［ログインが必要］にチェックを入れていない場合は、メールを送信することができないため、［ログインが必要］にチェックを入れておく必要があります。

Gmailを利用する

Googleアカウントをお持ちの場合は、FOMA端末でGmailを使用してEメールの送受信を利用できます。Googleアカウントをお持ちでない場合は、「Googleアカウントを設定する」（P.109）をご参照ください。

❖お知らせ

- Gmailは、Timescapeには表示されません。

Gmailを更新する

1 ホーム画面で▦をタップし、［Gmail］をタップする

2 **受信トレイで［≡］を押し、[更新]をタップする**

- FOMA端末のGmailアプリケーションとGmailアカウントを同期させ、受信トレイを更新します。

❖**お知らせ**

- Gmailの詳細については、Gmailの画面で［≡］を押して、[その他] ▶ [ヘルプ] をタップして、モバイルヘルプをご覧ください。

Google トーク（チャット）

Google トークを使用してチャットをすることができます。Google トークを使用するには、Googleアカウントを設定する必要があります。詳細については、「Googleアカウントを設定する」（P.109）をご参照ください。

サインインとオンラインチャット

Google トークにサインインする

すでにGoogleアカウントを設定している場合は、サインインなしでご利用になれます。

1 **ホーム画面で▦をタップし、[トーク] をタップする**

2 **[次へ] ▶ [ログイン] をタップし、ユーザー名とパスワードを入力する**

3 **[ログイン] をタップする**

❖**お知らせ**

- Google トークの詳細については、Google トークの画面で［≡］を押して、[設定] ▶ [利用規約とプライバシー] ▶ [Help Center] をタップしてください（Talk Helpは英語で表示されます）。

緊急速報「エリアメール」

緊急速報「エリアメール」とは、気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
  - 音声電話中
  - 圏外時
  - 電源OFF時
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - ソフトウェア更新中
  - 他社のSIMカードをご利用時
  - メッセージ（SMS）送受信中
- テザリング設定中およびパケット通信を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。
- 受信できなかったエリアメールを再度受信することはできません。

緊急速報「エリアメール」を受信する

FOMA端末が圏内にあるときは、自動的にエリアメールが送られてきます。

1 **エリアメールを自動的に受信する**

2 **エリアメールを受信すると、専用の着信音が鳴り通知LEDが点滅する**

- 専用の着信音は10秒間鳴動します。
- 着信音および着信音量は変更することはできません。

3 **エリアメールの本文が自動で表示される**

受信したエリアメールを後で閲覧する

1 **ホーム画面で▦をタップし、[エリアメール]をタップする**

2 **エリアメール一覧から、任意のエリアメールを選択する**

- エリアメールの本文を閲覧することができます。

緊急速報「エリアメール」を設定する

1 **ホーム画面で▦をタップし、[エリアメール]をタップする**

2 **☰を押し、[設定]をタップする**

エリアメール受信設定	エリアメールを受信するかどうかを設定します。
受信登録設定	緊急情報以外のエリアメールを受信するには、受信したい情報のエリアメール名とMessage IDを登録します。20件まで登録できます。
マナーモード中の鳴動	マナーモード中でも専用の着信音を鳴らすかどうかを設定します。
着信動作確認	緊急地震速報および災害･避難情報のエリアメール受信時の着信音を確認できます。

❖お知らせ

- ドコモUIMカードを挿入していないとエリアメールを設定することはできません。

ブラウザを使用する

ブラウザを開く

1 **ホーム画面で[ブラウザ]をタップする**

❖お知らせ

- ブラウザ画面は、FOMA端末を横向きにして閲覧することもできます。FOMA端末を横向きにしても自動的に画面の向きが変わらないときは、ホーム画面で [≡] を押して、[設定] ▶ [画面設定] をタップし、[画面の自動回転] のチェックボックスにチェックを入れます。

ウェブページを移動する

1 ブラウザ画面で画面上部の検索ボックスをタップする

2 キーボードを使用してウェブページのアドレスまたは検索したい文字を入力する

- アドレスや文字の入力に従って、一致するウェブページの候補が表示されます。

3 表示された候補の一覧または [→] をタップする

- ウェブページに移動します。

❖お知らせ

- [🎤] をタップすると、音声で検索語句を入力し、ウェブページを検索できます。

前のページに戻る

1 [↩] を押す

ブラウザを終了する

1 [⌂] を押す

- 開いているウィンドウをすべて閉じてブラウザを終了します。

ウェブページを表示する

ブラウザは、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できる機能を提供します。

新しいブラウザウィンドウを開く

最大で8つのブラウザウィンドウを開くことができます。

1 ウェブページ表示中に [≡] を押し、[新しいウィンドウ] をタップする

- 新しいブラウザウィンドウが開いて設定されているホームページを表示します。

ブラウザウィンドウ間を切り替える

複数のウィンドウを開くと、ウェブサイト間の切り替えが簡単になります。

1 ブラウザ画面で [≡] を押し、[ウィンドウ] をタップする

2 表示したいブラウザウィンドウをタップする

ブラウザウィンドウを閉じる

1 **ブラウザ画面で［≡］を押し、［ウィンドウ］をタップする**

2 **閉じるブラウザウィンドウの✕をタップする**

ウェブページを拡大／縮小する

ウェブページを拡大／縮小するには、次のいずれかの操作を行ってください。

- 画面上の拡大／縮小したい場所でダブルタップ
- 画面上の拡大したい場所でピンチアウト、縮小したい場所でピンチイン
- ズームコントロールアイコンをタップ（ズームコントロールアイコンは、好きな方向に画面をドラッグすると表示されます。）

縮小	−
拡大	＋

❖お知らせ

- 画面にフィットするように作られたウェブページは拡大／縮小できません。

ウェブページでテキストを検索する

1 **ウェブページ表示中に［≡］を押し、［その他］▶［ページ内検索］をタップする**
- 画面上部に検索バーが表示されます。

2 **検索項目を入力する**
- 文字を入力すると、一致する文字が緑色でハイライト表示されます。

前の一致項目に戻る	＜
次の一致項目に進む	＞

3 **検索バーを閉じるには、✕をタップする**

ウェブページでテキストをコピーする

1 **ウェブページ表示中に［≡］を押し、［その他］▶［テキストを選択してコピー］をタップする**

2 **コピーするテキストの開始点に指を置き、コピーするテキストの終了点までドラッグする**
- コピーされたテキストはオレンジ色でハイライト表示されます。

3 **画面から指を離し、選択したテキスト部分をタップする**
- テキストがコピーされると、「テキストをクリップボードにコピーしました。」と表示されます。

4 **テキストをEメールやメッセージに貼り付けるには、メッセージまたはEメールのテキストボックスを長くタッチして、メニューの［貼り付け］をタップする**

❖お知らせ
- ウェブページでは、文字を選択できない場合があります。

ページの自動調整

画面に合わせてウェブページの表示やサイズを自動調整します。

1 ブラウザ画面で［≡］を押し、［その他］▶［設定］▶［ページの自動調整］にチェックを入れる

❖お知らせ
- ウェブページによっては自動調整が行われない場合があります。

ブラウザの設定を調整する

1 ブラウザ画面で［≡］を押し、［その他］▶［設定］をタップして、ブラウザの設定とオプションを設定する

ホームページを設定する

1 ブラウザ画面で［≡］を押し、［その他］▶［設定］をタップする

2 ［ホームページ設定］をタップし、ホームページに設定したいURLを入力して、［OK］をタップする

❖お知らせ
- 設定されたURLは、新しいブラウザウィンドウを開く際に表示されます。

リンクを操作する

ウェブページのリンクを操作する

1 リンクを操作するウェブページを開く

2 ウェブページを開くには、リンクをタップする
- 選択すると、リンクはオレンジのボックスで囲まれます。
- リンクを長くタッチすると、「開く」「新しいウィンドウで開く」「リンクをブックマーク」「リンクを保存」「リンクを共有」「URLをコピー」のメニューが表示されます。画像または、画像を含むリンクを長くタッチすると、「画像を保存」「画像を表示」「壁紙として設定」も表示されます。「リンクを共有」は、Eメール、Bluetooth機能、Gmail、メッセージなどでリンクを共有します。
- ブラウザでは一部の電話番号が認識されるため、電話番号に発信できます。電話番号への発信を行うには、電話番号をタップします。
- Basic認証またはSSL通信を必要とするウェブサイトから「リンクを保存」でファイルをダウンロードする際、ダウンロードできない場合があります。

ブックマークと履歴を管理する

本FOMA端末では、履歴の確認や多数のブックマークの保存を行えます。

ウェブページをブックマークする

1 ブラウザ画面でブックマークするウェブページまで移動する

2 を押し、[ブックマーク] をタップする

- ブックマークの一覧画面が表示されます。
- URLの右側に表示される をタップしても一覧画面が表示されます。
- ブックマークの一覧画面では、 を押してサムネイル表示とリスト表示を切り替えることができます。

■ サムネイル表示の場合

画面左上に表示される［★追加］をタップする▶必要に応じて、ブックマークの名前を編集し、［OK］をタップする

■ リスト表示の場合

画面上部に表示される［現在のページをブックマーク］をタップする▶必要に応じて、ブックマークの名前を編集し、［OK］をタップする

❖お知らせ

- ブックマークの一覧画面で を押して［最後に表示したページをブックマークする］をタップしても、ブックマークに追加できます。
- ブックマークの一覧画面の［よく見るサイト］タブ／［履歴］タブをタップし、各履歴の右端の★をタップすると、☆に変わりブックマークに追加できます。

ブックマークを開く

1 ブラウザ画面で を押し、[ブックマーク] をタップする

2 開くブックマークをタップする

- タップしないでブックマークを長くタッチすると、「開く」「新しいウィンドウで開く」「編集」「ショートカットを作成」「リンクを共有」「URLをコピー」「削除」「ホームページとして設定」のメニューが表示されます。「ショートカットを作成」は、ホーム画面にショートカットを作成します。「リンクを共有」は、Eメール、Bluetooth機能、Gmail、メッセージなどでリンクを共有します。

履歴を確認する

1 **ブラウザ画面で [メニュー] を押し、[ブックマーク] ▶ [履歴] タブをタップする**

2 **[今日]、[昨日] など閲覧した時期をタップする**

- ページを開くには、項目をタップします。
- よく閲覧するウェブページを確認するには、[よく見るサイト] タブをタップします。

❖お知らせ

- ブラウザ画面で [戻る] を1秒以上押しても、履歴を確認することができます。

履歴を削除する

1 **ブラウザ画面で [メニュー] を押し、[ブックマーク] ▶ [履歴] タブをタップする**

2 **[メニュー] を押し、[履歴削除] をタップする**

- 履歴を削除すると、「よく見るサイト」タブの一覧もすべて削除されます。

❖お知らせ

- キャッシュなどの一時インターネットファイルを消去するには、ブラウザ画面で [メニュー] を押し、[その他] ▶ [設定] をタップして表示される画面の「プライバシー設定」メニューから各項目を設定してください。

カメラで撮影する

画面をタップするか、カメラキー（📷）を使用して、写真の撮影や動画の録画ができます。写真の撮影は、横向きと縦向きの画面のどちらでも利用できます。動画の録画は横向きの画面のみ利用できます。撮影した写真や動画は自動的にmicroSDカードに保存されます。

始める前に

- カメラを使用する前にmicroSDカードを挿入してください。本FOMA端末で撮影した写真または動画は、すべてmicroSDカードに保存されます。また、Media Goからのファイル転送中などmicroSDカードでデータを読み書きしている場合、写真を撮影することはできません。
- 本FOMA端末のmicroSDカードをｉモード対応端末で利用する場合、本FOMA端末で撮影した写真や動画は閲覧できません。
- 本FOMA端末を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

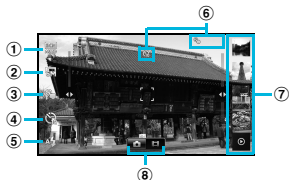
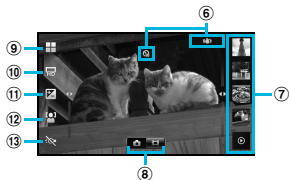
■著作権・肖像権について

お客様がFOMA端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

撮影画面とキー操作

■ 写真の撮影画面

■ 動画の撮影画面

① 撮影モードの選択（写真）
② 解像度の選択（写真）
③ タッチ撮影のON／OFF（写真）
④ セルフタイマーの設定（写真）
⑤ フラッシュの設定（写真）
⑥ 選択された設定を表示するステータスアイコンの表示エリア
⑦ 最近の撮影履歴
- タップすると最近撮影した写真や動画の再生画面に切り替わります。
- 再生画面で ［≡］ を押すと、［スライドショー］［共有］［削除］［詳細情報］［登録］※1［その他］※1［動画を編集］※2が表示されます。
  ※1 写真再生画面でのみ表示されます。
  ※2 動画再生画面でのみ表示されます。

⑧ 写真と動画の切り替え
⑨ シーンの選択（動画）
⑩ ムービーサイズの選択（動画）
⑪ 明るさの調節（動画）
⑫ フォーカスモードの選択（動画）
⑬ 照明のON／OFF（動画）
［カメラ］（カメラキー）：カメラの起動／写真の撮影／動画の録画
［◁ ▷］：ズームイン／アウト（写真）

❖お知らせ

- カメラを終了するには、［戻る］を押します。

写真を撮影する

画面をタップして写真を撮る

1 ［カメラ］を1秒以上押す
- 写真撮影画面が表示されていない場合は、［カメラ］をタップします。

2 撮影画面で「タッチ撮影」（P.139）をタップする

3 ［タッチ］（ON）をタップする

4 **画面をタップする**
- ピントが合うと、すぐに写真が撮影されます。写真は自動的にmicroSDカードに保存されます。

❖お知らせ
- オートフォーカス機能を使って写真を撮影するときは、画面を長くタッチし、フォーカスフレームが緑色に変わって音が鳴ったら指を離してください。指を離すとすぐに写真が撮影されます。フォーカスフレームが赤色になった場合は、オートフォーカスが失敗しています。
- 「フォーカスモード」(P.140)を「無限遠」に設定している場合、オートフォーカス機能は使用できません。
- マイク付ステレオヘッドセット(試供品)や市販のイヤホン、または他のBluetoothデバイスなどと接続しているときは、シャッター音が通常より小さくなることがあります。

カメラキー( )を使用して写真を撮る

1 ** を1秒以上押す**
- 写真撮影画面が表示されていない場合は、 をタップします。

2 ** を押す**
- 写真は自動的にmicroSDカードに保存されます。

❖お知らせ
- オートフォーカス機能を使って写真を撮影するときは、 を半押しし、フォーカスフレームが緑色に変わって音が鳴ったら、そのまま を止まるまでしっかり押してください。フォーカスフレームが赤色になった場合は、オートフォーカスが失敗しています。 を半押しし直してください。
- 「フォーカスモード」(P.140)を「無限遠」に設定している場合、オートフォーカス機能は使用できません。
- マイク付ステレオヘッドセット(試供品)や市販のイヤホン、または他のBluetoothデバイスなどと接続しているときは、シャッター音が通常より小さくなることがあります。

ズームを使用する

1 **撮影画面で を押す**

明るさを調節する

1 **撮影画面で を押し、 (明るさ(EV補正))をタップする**

2 **バーをタップまたはドラッグして、明るさを調節する**

❖お知らせ
- 「撮影モード」(P.139)が「標準」の場合のみ、明るさの調節ができます。

顔検出

顔検出を使用すると、中心から外れた位置の顔にピントを合わせることができます。カメラが最高5つまで顔を自動的に検出し、ピントを合わせる顔は黄色、その他の顔は白色のフレームで示します。カメラからの距離と、中心からの距離のバランスにより、最適な顔が判断され、自動的にピントが合わせられます。フレームをタップして、ピントを合わせる顔を選択することもできます。

顔検出を設定する

1 [カメラキー]を1秒以上押す

- 写真撮影画面が表示されていない場合は、[カメラアイコン]をタップします。

2 撮影画面で[メニューキー]を押し、「フォーカスモード」(P.140)をタップする

3 [顔検出アイコン](顔検出)をタップする

❖**お知らせ**

- 「撮影モード」が「標準」の場合に使用できます。
- 「シーン」(P.140)を「風景」/「夜景」/「ドキュメント」に設定している場合は、顔検出を使用できません。

顔検出を使用して写真を撮る

1 顔検出を設定し、カメラを被写体に向ける

- 検出した顔にフレームが表示されます(最高で5つ)。

2 ピントを合わせるフレームをタップするか、タップせずにピントを合わせる顔をカメラに選ばせる

- ピントを合わせる顔のフレームが黄色に変わります。

3 [カメラキー]を半押しする

- ピントを合わせる顔のフレームが緑色に変わり、音が鳴ります。

4 [カメラキー]を止まるまでしっかり押す

- 写真は自動的にmicroSDカードに保存されます。

スマイル検出

スマイル検出を使用すると、笑った瞬間の顔を撮影できます。カメラが最高5つの顔を検出し、そのうち1つをスマイル検出とオートフォーカスの対象に選びます。選択した顔のフレームが黄色に変わります。選択した顔が笑うと、フレームが緑色に変わりカメラが自動的に写真を撮影します。

スマイル検出を設定する

1 **[カメラキー] を１秒以上押す**

- 写真撮影画面が表示されていない場合は、[カメラアイコン]をタップします。

2 **撮影画面で「撮影モード」（P.139）をタップする**

3 **[スマイルアイコン]（スマイル検出）をタップする**

❖お知らせ

- 「撮影モード」を「スマイル検出」に設定した場合、[スマイルレベルアイコン]（スマイルレベル）をタップすると、スマイル検出機能が反応する笑顔のレベルを「大笑い」／「普通の笑顔」／「ほほ笑み」から選択できます。

スマイル検出を使用して写真を撮る

1 **スマイル検出を設定し、カメラを被写体に向ける**

- 検出した顔にフレームが表示されます（最高で５つ）。
- カメラがピントを合わせる顔を選択します。ピントを合わせる顔のフレームが黄色に変わります。

2 **ピントを合わせる被写体が笑うと、カメラが自動的に写真を撮る**

- 写真は自動的に microSD カードに保存されます。
- 笑顔を検出できなくても写真を撮るには、[カメラキー] を止まるまでしっかり押します。

撮影時の設定を変える

1 **[カメラキー] を１秒以上押す**

- 写真撮影画面が表示されていない場合は、[カメラアイコン]をタップします。

2 **撮影画面で [メニューキー] を押し、設定項目をタップする**

- あらかじめ撮影画面に５つの設定項目アイコンが表示されています。設定内容により表示される設定項目アイコンは変わります。
- 各設定項目とアイコンについては、「写真撮影設定」（P.139）をご参照ください。

3 **選択した設定のオプションの１つをタップする**

- 撮影画面に表示される設定項目アイコンが、変更した項目のアイコンに変わります。

❖お知らせ

- 撮影画面で設定項目アイコンや、アイコン横のバーに触れたまま画面の中心に向かってドラッグしても、設定項目を表示できます。

写真撮影設定

設定項目	アイコン	説　明
撮影モード	写真の撮影方法を選択します。	
	標準	標準的な撮影モードです。
	シーン認識	カメラが最適なシーンを判断します。シーンが認識されると、認識したシーンのアイコンが表示されます。
	スマイル検出	P.137
解像度	写真撮影の前に、画像サイズと縦横比を選択します。解像度が高くなるほど、記録するためにより大きなメモリ容量が必要になります。	
	8MP 4:3	画像サイズ8メガピクセル、縦横比4:3。標準サイズの画面に表示したり、高解像度で印刷するのに適しています。
	6MP 16:9	画像サイズ6メガピクセル、縦横比16:9。高解像度、ワイドスクリーンフォーマット。フルHDより高解像度です。ワイドスクリーンの画面に表示するのに適しています。
	2MP 4:3	画像サイズ2メガピクセル、縦横比4:3。標準サイズの画面に表示するのに適しています。
	2MP 16:9	画像サイズ2メガピクセル、縦横比16:9。ワイドスクリーンの画面に表示するのに適しています。
タッチ撮影	撮影画面をタップするとすぐに写真を撮影できるように設定します。	
	ON	画面をタップして撮影します。
	OFF	を押して撮影します。
セルフタイマー	自分の写真を撮影したり、全員が揃ったグループ写真を撮影したりするときに使用します。撮影時の手ぶれを防ぐためにもセルフタイマーを使用できます。	
	ON（10秒）	を押してから10秒後に撮影します。
	ON（2秒）	を押してから2秒後に撮影します。
	OFF	を押すと、すぐに撮影します。
フラッシュ	暗い場所や逆光での撮影時に、フラッシュを点灯させるかどうかを設定します。	
	自動	明るさに応じて自動的にフラッシュを点灯します。
	強制発光	明るさに関係なく常にフラッシュを点灯します。

次ページへつづく

設定項目	アイコン	説　明
フラッシュ	OFF	フラッシュは点灯しません。 • フラッシュOFFのほうが写真の品質がよくなる場合があります。フラッシュを点灯させないときは、セルフタイマーを使用すると、手ぶれを防止することができます。
	赤目軽減	フラッシュによる赤目現象を軽減します。
シーン	プログラム済みのシーン設定を使用して、さまざまな状況に合わせてカメラを簡単に設定できます。	
	OFF	自動的に色合いや明るさを調整します。
	ポートレート	人物の肌の色を、明るく暖かい色調で、きれいに撮影します。
	風景	木々の色を鮮やかに表現し、遠景にピントを合わせて撮影します。
	夜景	夜景を明るくきれいに撮影します。夜景の雰囲気を活かすために、フラッシュをOFFにしての撮影をおすすめします。露出時間が長くなるため、手ぶれにご注意ください。
	夜景ポートレート	夜景を背景にした人物の撮影に適しています。人物を明るく撮影するために、フラッシュを点灯しての撮影をおすすめします。露出時間が長くなるため、手ぶれにご注意ください。
	ビーチ＆スノー	ビーチや雪景色を明るく鮮やかに再現します。
	スポーツ	動きの速い被写体の撮影で、露出時間を短くして動きのぶれを最小限に抑えます。
	パーティー	室内の照明の雰囲気を活かしながら、きれいに撮影します。露出時間が長くなるため、手ぶれにご注意ください。
	ドキュメント	文字や図の撮影に使用します。文字をくっきりと明るく、読みやすく撮影します。
フォーカスモード	ピントの合わせ方を設定します。「撮影モード」が「標準」のときに利用できます。	
	シングルオートフォーカス	選択した被写体にカメラが自動的にピントを合わせます。ピントが合うと、フォーカスフレームが緑色に変わります。

設定項目	アイコン	説　明
フォーカスモード	マルチオートフォーカス	撮影画面の複数箇所にカメラが自動的にピントを合わせます。ピントが合うと、フォーカスフレームが白色から緑色に変わります。
	マクロ	接写撮影用のオートフォーカスです。
	顔検出	P.137
	無限遠	離れた場所から撮影するときに使用します。遠く離れた被写体にピントを合わせます。カメラに近い被写体はぼけることがあります。
	タッチフォーカス	撮影画面で被写体をタップすると、フォーカスフレームがタップした箇所に移動します。
明るさ（EV補正）	P.136	
ホワイトバランス	ホワイトバランス設定は、周囲の光源に合わせて色合いを調整します。	
	自動	周囲の光源に合わせて自動的に色合いを調整します。
	電球	電球のような照明に合わせて色合いを調整します。
	蛍光灯	蛍光灯のような照明に合わせて色合いを調整します。

設定項目	アイコン	説　明
ホワイトバランス	太陽光	日向での撮影に合わせて色合いを調整します。
	曇り	曇り空や日陰に合わせて色合いを調整します。
測光	撮影画面の明るさを測定して、最適な露出のバランスを自動的に判断します。	
	中央	撮影画面の中央に重心を置き、画面全体で測光して露出を調整します。
	平均	撮影画面全体の明るさに基づいて露出を調整します。
	スポット	撮影画面内の中央の一点のみで測光して露出を調整します。
手ぶれ補正	写真撮影の際に、わずかな手の動きによる写真のぶれを補正します。	
	ON	手ぶれを軽減します。
	OFF	手ぶれ補正を使用しません。
スマイルレベル	「撮影モード」を「スマイル検出」に設定して写真を撮影する前に、スマイル検出機能が反応する笑顔のレベルを設定します。	
	大笑い	大笑いしている顔を検出したときに写真を撮影します。
	普通の笑顔	普通の笑顔を検出したときに写真を撮影します。
	ほほ笑み	ほほ笑み程度の笑顔でも写真が撮影されます。

設定項目	アイコン	説　明
ジオタグ	写真に詳細な撮影場所を示す位置情報のタグを付けることができます。 あらかじめ「現在地情報とセキュリティ」の設定で、「無線ネットワークを使用」(P.175)または「GPS機能を使用」(P.175)のチェックボックスにチェックを入れておく必要があります。位置情報の詳細については、「位置情報サービスについて」(P.173)をご参照ください。 • ジオタグの付加(位置情報)により、写真の撮影場所を特定できるようになります。	
	ON	ONに設定すると、位置情報が撮影した写真に付加されます。
	OFF	写真を撮影した場所を地図上で確認することはできません。
シャッター音	写真を撮影するときに鳴るシャッター音を選択します。	

❖注意

- 設定によっては、他の設定と同時に使用できない場合があります。

動画を録画する

画面をタップして録画する

1 [カメラキー]を1秒以上押す

- 動画撮影画面が表示されていない場合は、[動画]をタップします。
- 動画撮影画面の表示は、横画面表示のみとなります。

2 撮影画面で[メニュー]を押し、「タッチ撮影」(P.145)をタップする

3 (ON)をタップする

4 画面をタップして、録画を開始する

5 画面をタップして、録画を停止する

- 録画データが自動的にmicroSDカードに保存されます。

❖お知らせ

- マイク付ステレオヘッドセット(試供品)や市販のイヤホン、または他のBluetoothデバイスなどと接続しているときは、シャッター音が通常より小さくなることがあります。

カメラキー([カメラキー])を使用して録画する

1 [カメラキー]を1秒以上押す

- 動画撮影画面が表示されていない場合は、[動画]をタップします。

2 [カメラキー]を押して、録画を開始する

3 **[カメラキー] を押して、録画を停止する**

- 録画データが自動的にmicroSDカードに保存されます。

❖お知らせ

- マイク付ステレオヘッドセット（試供品）や市販のイヤホン、または他のBluetoothデバイスなどと接続しているときは、シャッター音が通常より小さくなることがあります。

明るさを調節する

1 **撮影画面で [メニューキー] を押し、[アイコン]（明るさ（EV補正））をタップする**

2 **バーをタップまたはドラッグして、明るさを調節する**

動画を切り出す

撮影画面の右または下に表示されている最近の撮影履歴をタップして動画を表示させ、[メニューキー] を押し、［動画を編集］をタップすると、動画を部分的に切り出して保存することができます。

1 **撮影画面で撮影履歴をタップして、動画を表示させる**

2 **[メニューキー] を押し、［動画を編集］をタップする**

- 画面下に [アイコン]（プログレスバー）が表示されます。

3 **切り出しの開始点にプログレスバー左側の [アイコン] を右へドラッグする**

4 **切り出しの終了点にプログレスバー右側の [アイコン] を左へドラッグする**

- 画面をタップすると、切り出した部分を再生して確認できます。

5 **［保存］をタップする**

- ［キャンセル］をタップすると、保存せずに動画再生画面に戻ります。

❖お知らせ

- 切り出した動画は「カメラ」アルバム（P.148）に保存されます。

撮影時の設定を変える

1 **[カメラキー] を１秒以上押す**

- 動画撮影画面が表示されていない場合は、[アイコン] をタップします。

2 **撮影画面で [メニューキー] を押し、設定項目をタップする**

- あらかじめ撮影画面に５つの設定項目アイコンが表示されています。設定内容により表示される設定項目アイコンは変わります。
- 各設定項目とアイコンについては、「動画録画設定」（P.144）をご参照ください。

3 **選択した設定のオプションの１つをタップする**

- 撮影画面に表示される設定項目アイコンが、変更した項目のアイコンに変わります。

❖お知らせ

- 撮影画面で設定項目アイコンや、アイコン横のバーに触れたまま画面の中心に向かってドラッグしても、設定項目を表示できます。

動画録画設定

設　定	アイコン	説　明
シーン	プログラム済みのシーン設定を使用して、さまざまな状況に合わせてカメラを簡単に設定できます。	
	OFF	自動的に色合いや明るさを調整します。
	ポートレート	人物の肌の色を、明るく暖かい色調で、きれいに撮影します。
	風景	木々の色を鮮やかに表現し、遠景にピントを合わせて撮影します。
	夜景モード	暗所での撮影に適しています。
	ビーチ＆スノー	ビーチや雪景色を明るく鮮やかに再現します。
	スポーツ	動きの速い被写体の録画時に露出時間を短くして動きのぶれを最小限に抑えます。
	パーティー	室内の照明の雰囲気を活かしながら、きれいに撮影します。
ムービーサイズ	HD 720p	縦横比16:9のHD形式1280×720ピクセル
	フルワイドVGA	縦横比16:9のフルワイドVGA形式864×480ピクセル
	VGA	縦横比4:3のVGA形式640×480ピクセル
	QVGA	縦横比4:3のQVGA形式320×240ピクセル
明るさ（EV補正）	P.136	
フォーカスモード	シングルオートフォーカス	カメラが自動的にピントを合わせます。
	顔検出	P.137
	無限遠	離れた場所から撮影するときに使用します。遠く離れた被写体にピントを合わせます。カメラに近い被写体はぼけることがあります。

設　定	アイコン	説　明
照明	暗い場所や逆光があるときは、フォトライトを使用して録画します。	
	ON	フォトライトが点灯します。
	OFF	フォトライトは点灯しません。十分な明るさがなくても、フォトライトなしできれいに撮影できる場合もあります。フォトライトなしで動画をきれいに撮影するには、カメラを安定させる必要があります。
ホワイトバランス	ホワイトバランス設定は、周囲の光源に合わせて色合いを調整します。	
	自動	周囲の光源に合わせて自動的に色合いを調整します。
	電球	電球のような照明に合わせて色合いを調整します。
	蛍光灯	蛍光灯のような照明に合わせて色合いを調整します。
	太陽光	日向での撮影に合わせて色合いを調整します。
	曇り	曇り空や日陰に合わせて色合いを調整します。

設　定	アイコン	説　明
測光	撮影画面の明るさを測定して、最適な露出のバランスを自動的に判断します。	
	中央	撮影画面の中央に重心を置き、画面全体で測光して露出を調整します。
	平均	撮影画面全体の明るさに基づいて露出を調整します。
	スポット	撮影画面内の中央の一点のみで測光して露出を調整します。
タッチ撮影	撮影画面をタップすると、すぐに撮影を開始／終了できるように設定します。	
	ON	画面をタップして録画を開始／終了します。
	OFF	を押して録画を開始／終了します。
セルフタイマー	グループで動画を撮影する場合に、全員が動画に写ることができます。また、本体を手に持たずに固定できるので、録画時にカメラが動いてしまうのを避けることもできます。	
	ON（10秒）	を押してから10秒後に録画を開始します。
	ON（2秒）	を押してから2秒後に録画を開始します。
	OFF	を押すと、すぐに録画を開始します。

設　定	アイコン	説　明
手ぶれ補正	動画を撮影するときにカメラの揺れを補正します。	
	ON	手ぶれを軽減します。
	OFF	手ぶれ補正を使用しません。
マイク	録画時に周囲の音を録音するかどうかを選択します。	
	ON	録画時に周囲の音を録音します。
	OFF	録画時に周囲の音を録音しないようにします。
シャッター音	録画開始音／停止音を選択します。	

❖注意

- 設定によっては、他の設定と同時に使用できない場合があります。

スクリーンショットを撮る

現在表示されている画面を画像として撮影（スクリーンショット）できます。
撮影したスクリーンショットはギャラリー（P.148）の「Pictures」アルバムで表示できます。

1 スクリーンショットを撮影したい画面で、⓪を１秒以上押す

- 携帯電話オプションメニューが表示されます。

2 ［スクリーンショットを撮る］をタップする

- スクリーンショットが撮影され、画面上に保存先を示すメッセージが表示されます。

❖お知らせ

- 撮影完了時の画面で［共有］／［設定］をタップすると、撮影したスクリーンショットをBluetooth機能やメールで共有（送信）したり、壁紙や連絡先の画像として登録したりできます。

マルチメディアコンテンツの再生

音楽ファイルは「ミュージックプレーヤー」で、写真や動画のファイルは「ギャラリー」でそれぞれ閲覧・再生します。
本FOMA端末で撮影した写真や動画を再生できるほか、パソコンに接続してmicroSDカードへファイルを転送したり、インターネットからダウンロードしたりした次のファイル形式のマルチメディアコンテンツが再生できます。

種類	ファイル形式
音	MP3、3GPP、MP4、AMR、AMRWB、SMF、XMF、WAV、iMelody、RTTTL/RTX、OTA、Ogg vorbis
静止画	JPEG、GIF、PNG、BMP
動画	3GPP、MP4

パソコンに接続してファイルをコピーする操作の詳細は、「データの転送と移動」（P.158）をご参照ください。

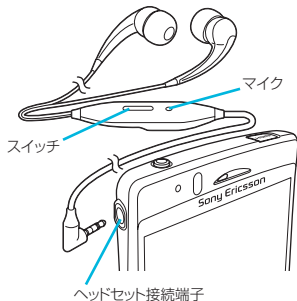
保護されたコンテンツ著作権

FOMA端末を利用して撮影または録音などしたものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

マイク付ステレオヘッドセットを使用する

1 マイク付ステレオヘッドセット（試供品）の接続プラグをFOMA端末のヘッドセット接続端子に接続する

- 接続方向をよくご確認の上、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

❖お知らせ

- マイク付ステレオヘッドセットを接続してミュージックプレーヤー／FMラジオを聴く場合、マイク付ステレオヘッドセットのスイッチを押して、ON／OFFを切り替えることができます。ただし、操作時の条件により異なる動作をする場合があります。
- マイク付ステレオヘッドセットを使用中に着信すると、音楽は停止し、通話を終了すると再開します。

ギャラリーで写真／動画を再生する

ギャラリーを使って、画像や、カメラで撮影した写真や動画を閲覧・再生できます。また、Media Goを使ってFOMA端末のmicroSDカードにデータを転送したり、外部からデータを取り込んだりできます。詳細については、「microUSBケーブルを使用する」(P.158)をご参照ください。

写真／動画のアルバムを表示する

撮影した写真や動画、パソコンからmicroSDカードに保存した写真／動画がアルバムで表示されます。

1 ホーム画面で［メディア］▶［ギャラリー］をタップする

- お買い上げ時は次のアルバム一覧画面が表示されます。

カメラ	本FOMA端末で撮影した写真と動画のアルバム • 撮影した写真や動画がない場合は、表示されません。
image	お買い上げ時の見本画像のアルバム
video	お買い上げ時の見本動画のアルバム

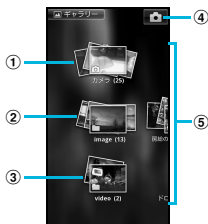
- FacebookやPicasaなど同期可能なオンラインサービスにサインインしている場合は、同期することによりオンラインサービス上のアルバムが表示されます。

2 表示したいアルバムをタップする

- アルバム内の写真／動画ファイルの一覧画面が表示されます。

❖お知らせ

- アルバムをタップして、右上の の をタップすると、日時で区分したアルバムが表示されます。日時別のアルバムをタップすると、すべてのファイルの一覧が表示されますが、選択した日時のファイルの枠が他の日時のファイルに比べ太く表示されます。
- 動画のみを一覧画面で表示するには、ホーム画面に設定したウィジェット「メディアショートカット」の をタップします。撮影した動画と見本動画が一覧画面で表示されます。
- 保存されている写真の枚数により、画面にすべての写真を読み込むのに時間がかかる場合があります。

■ アルバム一覧画面

① カメラアルバム
② imageアルバム
③ videoアルバム
④ カメラボタン：タップしてカメラを起動
⑤ アルバム一覧

アルバム内の写真／動画ファイルを操作する

写真／動画ファイルの一覧画面では、アルバム内のファイルを選択し、まとめて操作することができます。

1 写真／動画ファイルの一覧画面で、ファイルを長くタッチする

- チェックボックスにチェックが入り、ファイルが選択されます。続けて他のファイルをタップすると複数のファイルを選択できます。
- 選択したファイルをタップすると、選択が解除されます。

2 [≡] を押し、表示されるメニューをタップする

- 次の操作ができます。

共有	転送方法を選択して写真／動画を送信
削除	選択した写真／動画を削除
詳細情報	タイトル、種類、撮影年月日、アルバム名、場所などを表示
すべて選択	アルバム内のファイルをまとめて選択
選択全解除	アルバム内のファイルをすべて解除
その他	**左に回転**：画像を左に90度回転 **右に回転**：画像を右に90度回転 **地図に表示**：画像に含まれている位置情報を地図上に表示 • 選択したファイルにより表示される項目は異なります。
動画を編集	選択した動画を部分的に切り出して保存

- 選択したファイルによって表示されるメニューは異なります。
- 選択したファイルによっては、操作できない場合があります。

❖お知らせ

- ファイルの選択中に [≡] を押し、[共有] ▶ [Play on Device] ▶ [OK] をタップすると、Play on Deviceの設定画面が表示されます（あらかじめWi-Fiネットワークに接続していない場合は、Play on Deviceの設定画面で [接続していません] をタップするとWi-Fi設定画面が表示されます）。Wi-Fiネットワークに接続し、プレーヤー機器の選択画面で検索された機器を一覧から選び [再生] をタップすると、DLNA機器と本FOMA端末の間でファイルを共有できます。
- 共有可能なファイル容量、ファイル種別には特に制限はありませんが、転送するアプリケーションにより制限される場合があります。またDRM管理コンテンツは共有することができません。
- ファイルを選択する前に [≡] を押すと、画面に表示されている複数のファイルのうち真ん中付近のファイルに自動的にチェックが入ります。ただし一度ファイルを選択した場合は真ん中付近のファイルにチェックが入らないことがあります。
- 写真再生画面で [≡] を押すと、写真ファイルを個別に操作できます。

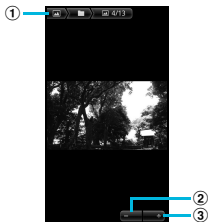
写真を再生する

1 **ホーム画面で［メディア］▶［ギャラリー］をタップする**

2 **アルバムをタップする**

- アルバム内のファイルの一覧画面が表示されます。

3 **写真をタップして再生する**

■ ギャラリーの写真再生画面

① アルバム情報
② ズームアウト
③ ズームイン

❖お知らせ

- 再生画面で［≡］を押すと、「スライドショー」「共有」「削除」「詳細情報」「登録」「その他」「壁紙として設定」が表示されます。
  ※「壁紙として設定」は、FacebookやPicasaなどオンラインサービス上のアルバムの画像でのみ表示されます。
- 選択したファイルにより表示される項目は異なります。
- Facebookのアルバムの写真再生画面では、Facebook上にコメントや「いいね！」を投稿することができます。

スライドショーを開始する

1 **写真表示中に［≡］を押し、［スライドショー］をタップする**

- アルバム内の写真や動画の最初の画面のスライドショーが表示されます。

動画を再生する

1 **ホーム画面で［メディア］▶［ギャラリー］をタップする**

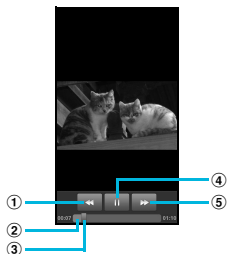
2 **アルバムをタップする**

- アルバム内のファイル一覧画面が表示されます。動画ファイルには▶のアイコンが表示されます。

3 **動画をタップして再生する**

❖お知らせ

- FOMA端末を横向きにしても自動的に画面の向きが変わらないときは、ホーム画面で［≡］を押して、［設定］▶［画面設定］をタップし、［画面の自動回転］のチェックボックスにチェックを入れます。

■ ギャラリーの動画再生画面

①［巻き戻し］キー：再生位置を戻す
②プログレスバー：再生時間内の再生位置を表示
③マーカー：再生位置。ドラッグして再生位置を変更
④［再生／一時停止］キー
⑤［先送り］キー：再生位置を先送り

動画の音量を調節する

1 動画再生画面で の上下を押す

動画の再生位置を変える

1 プログレスバーのマーカーを右または左にドラッグする

- ／ をタップして、巻き戻し／先送りすることができます。

YouTubeで動画を再生する

YouTubeは無料オンライン動画ストリーミングサービスで、動画の再生、検索、アップロードを行うことができます。

- 3Gネットワークを使用して動画コンテンツをダウンロード･アップロードする際に、パケット通信料が発生します。

YouTube動画を再生する

1 ホーム画面で をタップし、［YouTube］をタップする

- 初めてご利用される際には、「利用規約」に同意いただく必要があります。
- YouTubeの画面が表示され、動画の一覧画面が表示されます。
- を押して、［ブラウズ］をタップし、各カテゴリから動画を選択することもできます。

2 動画をタップして再生する

- 動画再生中に画面をタップすると、再生操作キーが表示され、再生と一時停止を切り替えられます。ダブルタップすると、横画面表示と縦画面表示を切り替えられます。横画面表示で再生画面下のプログレスバーにあるマーカーを左右にドラッグして、再生位置を変更できます。
- を押すと再生を停止して、動画の一覧画面に戻ります。

次ページへつづく

- YouTubeを終了するには、[ホーム]を押します。

❖お知らせ

- 横画面表示で再生中に「CC」が表示される場合は、字幕が表示できるキャプション機能がある動画です。初めて使用するときは、「CC」をタップして字幕言語をタップしてください。

YouTube動画を高画質で再生する

1 動画再生中に画面をダブルタップして横画面表示にする

2 画面をタップし、再生操作キーを表示して［HQ］をタップする

❖お知らせ

- Wi-Fi接続中の場合は、はじめから高画質で再生されます。
- YouTubeの画面で[メニュー]を押し、［設定］をタップして［携帯端末で高画質動画を表示］のチェックボックスにチェックを入れると、3Gネットワークでもはじめから高画質で再生されます。

動画をキーワード検索して再生する

1 YouTubeの画面で[メニュー]を押し、［検索］をタップする

2 検索キーワードを入力する

3 検索結果をスクロールして再生したい動画をタップする

検索履歴の消去

1 YouTubeの画面で[メニュー]を押し、［設定］をタップする

2 ［検索履歴を消去］▶［OK］をタップする

テレビに接続して写真や動画を見る

本FOMA端末をHDMIケーブル（type D）でテレビに接続して、写真や動画を表示することができます。

テレビに接続する

1 ホーム画面またはアプリケーション画面表示中のFOMA端末とテレビをHDMIケーブルで接続する

- FOMA端末側でギャラリーが横画面で起動し、アルバム一覧画面がテレビにも表示されます。
- ステータスバーに[HDMI]が表示されます。

2 FOMA端末側でギャラリーの再生操作をする

- ギャラリーの操作については、「ギャラリーで写真／動画を再生する」（P.148）をご参照ください。

❖お知らせ

- ステータスバーを下にドラッグして、［HDMI が接続されました］をタップすると、テレビのリモートコントローラを使用してFOMA端末を制御する操作が確認できます。テレビのリモートコントローラによっては、操作できない場合があります。
- HDMIケーブルを取り外すと接続を終了しますが、テレビがHDMI入力のモードのままになる場合があります。テレビの取扱説明書に従って地デジテレビのモードに切り替えるなどの操作を行ってください。
- HDMI接続を使用しないときはHDMIケーブルを取り外してください。HDMI接続されたままだと電池の消耗が早くなる場合があります。

ミュージックプレーヤー

ミュージックプレーヤーを使用すると、音楽、プレイリスト、およびポッドキャストを視聴することができます。

楽曲を再生する

ミュージックプレーヤーの画面で をタップすると、microSDカードに保存されたカテゴリ別のコンテンツを閲覧して再生できます。

❖注意

- 楽曲再生中に「SDカードのマウント解除」を行わないでください。

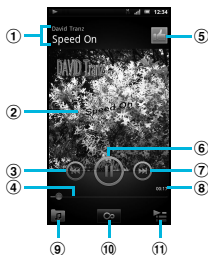
1 ホーム画面で［メディア］▶［ミュージック］をタップする

- ミュージックプレーヤーの再生画面が表示されます。

2 をタップする

3 アーティスト／アルバム／トラック／プレイリストのカテゴリをタップして、楽曲を閲覧する

4 楽曲をタップして再生する

■ ミュージックプレーヤー画面

① アーティスト名、曲名
② アルバムアート
③ ［前へ］キー：再生中の楽曲の先頭、もしくは現在のプレイリスト内の前のタイトルに戻る
④ プログレスバー：ドラッグまたはタップすると、指定位置から再生を再開

⑤ Facebook上で「いいね！」を指定／解除
- Facebook にログインしている場合に表示されます。

⑥ 再生／一時停止キー
⑦ ［次へ］キー：現在のプレイリスト内の次のタイトルに進む
⑧ 楽曲の再生タイム
⑨ アーティスト／アルバム／トラック／プレイリストの楽曲一覧を表示
⑩ インフィニットボタン：GoogleやWikipedia、YouTubeに接続して再生中の楽曲に関連する情報を表示
⑪ 再生中の楽曲とその楽曲を含む一覧を表示
- 再生曲の再生／一時停止の切り替えと、一覧から他の楽曲をタップして再生曲の変更ができます。
- 楽曲を長くタッチすると、楽曲の共有やプレイリストへの追加、着信音登録や削除などのメニューが表示されます。
- ［保存］をタップすると、一覧に表示されている楽曲をプレイリストとして保存できます。
- 楽曲の左にある▦をドラッグすると、一覧の曲順を変更できます。
- 一覧に他の楽曲を追加するには、アーティスト／アルバム／トラック／プレイリストのカテゴリから追加したい楽曲を長くタッチし、［再生キューに追加］をタップします。

◁ ▷：音量を調節

☰：再生画面で押して、メニューから「音の設定」／「イコライザー」／「着信音に設定」／「プラグイン」を選択
- 各カテゴリの楽曲一覧で押すと、メニューから「複数のアイテムを送信」／「複数のアイテムを削除」を選択できます。

❖お知らせ
- ホーム画面に戻って、他の操作をしながらミュージックプレーヤーをバックグラウンドで再生することができます。ミュージックプレーヤーの再生画面に戻るには、ホーム画面で［メディア］▶［ミュージック］とタップするか、ステータスバーを下にドラッグして実行中項目から再生中の曲名をタップします。
- ホーム画面にミュージックプレーヤーのウィジェットを表示している場合は、再生／一時停止／⏮／⏭をタップして操作できます。また、アルバムアート部分をタップしてミュージックプレーヤーの再生画面を表示することができます。

再生音量を調節する

1 楽曲の再生中に ◁ ▷ の上下を押す

楽曲を共有する

ファイルをBluetooth機能やEメール添付により共有（送信）できます。

1 ミュージックプレーヤー画面で♫をタップする

2 アーティスト／アルバム／トラック／プレイリストのカテゴリをタップする

3 共有したい楽曲を長くタッチする
- 複数の楽曲を共有する場合は、各一覧画面で ☰ を押し、［複数のアイテムを送信］をタップして、共有（送信）したい楽曲にチェックを入れます。

4 ［送信］をタップする

5 送信方法を選択して送信する

❖お知らせ

- 共有（送信）可能なファイル容量、ファイル種別には特に制限はありませんが、転送するアプリケーションにより制限される場合があります。またDRM管理コンテンツは共有することができません。

楽曲を削除する

1 ミュージックプレーヤー画面で♫をタップする

2 アーティスト／アルバム／トラック／プレイリストのカテゴリをタップする

3 削除したい楽曲を長くタッチする

- 複数の楽曲を削除する場合は、各一覧画面で☰を押し、[複数のアイテムを削除］をタップして、削除したい楽曲にチェックを入れます。

4 ［削除］▶［削除］をタップする

楽曲を着信音として使用する

1 ミュージックプレーヤー画面で☰を押す

2 ［着信音に設定］をタップする

プレイリスト

ミュージックプレーヤーでは、自動的に「新規追加されたトラック」「再生回数の多いトラック」「未再生トラック」のプレイリストが作成されます。また、自分の好きな楽曲を集めて新しいプレイリストを作成することもできます。

Media Go（P.162）を使用すると、ミュージックライブラリを管理したり、プレイリストを作成したりして、自分用のプレイリストを作成することもできます。自分で作成したプレイリストは、m3u形式でFOMA端末内のmicroSDカードに保存されます。

付属のmicroUSBケーブルを使用してFOMA端末をパソコンに接続し、microSDカードをリムーバブルディスクとして使用することができます。詳細については、「microUSBケーブルを使用する」（P.158）をご参照ください。

プレイリストを作成する

1 ミュージックプレーヤー画面で♫をタップする

2 ［プレイリスト］▶［新規プレイリストの作成］をタップする

3 プレイリストに追加したい楽曲にチェックを入れ、［作成］をタップする

4 ［名前］入力ボックスをタップしてプレイリストの名前を入力し、［OK］をタップする

プレイリストを再生する

1 ミュージックプレーヤー画面で♫をタップする

2 ［プレイリスト］をタップする

- お買い上げ時は次のプレイリストが表示されます。

新規追加されたトラック	新しく追加した楽曲のリストを表示します。
再生回数の多いトラック	再生回数の多い楽曲のリストを表示します。
未再生トラック	再生可能で再生し終えていない楽曲の一覧を表示します。

3 再生したいプレイリスト▶楽曲をタップする

- タップした楽曲から再生されます。

TrackID

TrackIDは、楽曲認識サービスです。スピーカーを通して聞こえている曲のタイトル、アーティスト名、アルバム名を検索することができます。TrackIDで良好な結果を得るために、静かな場所で使用してください。他の人に楽曲をすすめたりすることもできます。さらに、YouTubeで関連するコンテンツを検索し、表示することができます。TrackIDを使用できない場合は、「無線とネットワーク」（P.87）でインターネット接続をご確認ください。

TrackIDを起動する

1 ホーム画面で▦をタップし、［TrackID™］をタップする

楽曲情報を検索する

1 TrackIDを起動し、FOMA端末を音源に向ける

2 ［録音］をタップする

- 結果画面に楽曲情報が表示されます。
- TrackIDの初期画面に戻るには、⮌を押します。

TrackIDの結果を利用する

TrackIDによって楽曲が認識されたら、他の人にすすめたり､YouTubeでその楽曲に関連したコンテンツを検索したりすることができます。楽曲情報は、検索後に表示されますが、履歴リストにも記録されます。

TrackIDの結果を利用するために

- 録音した曲が認識されると楽曲情報が表示されます。楽曲情報画面の各キーをタップして、他の人にすすめたり、YouTubeで表示したりできます。
- 履歴リストで目的の楽曲をタップしたり、［チャート］をタップして任意のチャートからも楽曲情報の画面を表示することができます。

ファイルの操作

本FOMA端末でのファイル操作は、ファイルを取り扱うアプリケーションにより行います。例えば、microSDカード内に保存されたファイルの削除は、ファイルを扱うミュージックプレーヤーやギャラリーなどの各アプリケーションの削除機能で削除します。
また、各アプリケーションの「共有」機能では、Bluetooth機能、メールのファイル添付機能などにより対応している他の端末と送受信して、ファイルをやり取りすることができます。
このほかパソコンと接続した状態で、パソコン上にマウントされたmicroSDカード内のファイルを移動、削除できます。PC CompanionをインストールしてMedia Goを利用すると、パソコンとFOMA端末の間で相互にファイル管理を行うことができます。
PC Companionの「Sync Zone」を利用すると、FOMA端末の連絡先、カレンダーをパソコンのOutlookと同期させることができます。

データの転送と移動

画像やミュージックなどのデータは、転送および移動できます。一部の著作権で保護されたデータのやり取りは許可されていない場合もあります。

microUSBケーブルを使用する

本FOMA端末とパソコンを付属のmicroUSBケーブルで接続すると、FOMA端末のmicroSDカードとパソコンの間で、データをやり取りできるようになります。

microUSBケーブルでFOMA端末とパソコンを接続する

1 FOMA端末をmicroUSBケーブルでパソコンに接続する（P.28）

- 初めて microUSB ケーブルを接続したときは、パソコンにFOMA端末のドライバソフトがインストールされます。インストール完了までしばらくお待ちください。完了後、続いてPC Companionソフトウェアのインストール確認画面が表示されます。

2 [スキップ]をタップする

- お買い上げ時のUSB接続モードの「メディア転送モード（MTP）」でパソコンに接続されます。パソコンの画面に従って操作すると、本FOMA端末の「Memory Card」にアクセスできるようになります。

❖お知らせ

- 接続時にステータスバーを下へドラッグして、[メディア転送モードで接続しました]▶[接続設定]をタップすると、接続状態の確認や以下の接続設定を変更できます。

PC Companionのインストール	パソコン接続時にPC Companionのインストールウィザードを表示します。
USB接続モード	パソコン接続時のUSB接続モードを「メディア転送モード（MTP）」／「ファイル転送モード（MSC）」から選択できます。
MSCで自動接続	パソコン接続時に自動的にUSB接続モードを「MSC」に設定します。
テザリングとポータブルホットスポット	FOMA端末のデータ通信をUSB経由、またはポータブルWi-Fiアクセスポイントとして設定します。（P.94）
ワイヤレスのメディア転送用に信頼された機器	Wi-Fiネットワーク経由でホストとなる機器と本FOMA端末とをペア接続します。（P.161）

- USB接続モードを「ファイル転送モード（MSC）」に切り替えて接続操作を行ってもリムーバブルディスクとして本FOMA端末のmicroSDカードにアクセスできます。ただし、本FOMA端末側でmicroSDカードにアクセスできなくなりますので、カメラ、ギャラリー、ミュージックプレーヤーなどFOMA端末の機能やアプリケーションは利用できなくなる場合があります。
- PC Companionをインストールすると、本FOMA端末とパソコンを接続して、メディアファイルを管理したり、バックアップファイルを作成するなど、パソコン上から次のアプリケーションを利用できます。詳細については、インストール後のPC Companion画面で確認することができます。

Media Go	P.162
Support Zone	本FOMA端末のソフトウェア更新をパソコンに接続して行います。（P.202）
Sync Zone	Outlookと本FOMA端末の間でカレンダーと連絡先を同期できます。
ファイルマネージャ	microSDカード内のファイルの種類、更新時間、場所などを確認できます。

- パソコンに接続すると、自動的に充電を開始します。

microUSBケーブルを安全に取り外す

- データ転送中にmicroUSBケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
- メディア転送モード（MTP）の場合は、データ転送中でないことを確認してそのままmicroUSBケーブルを取り外すことができます。

■ ファイル転送モード（MSC）の場合

1 ステータスバーを下へドラッグする

- 「ファイル転送モードを選択中」と表示されている場合は、手順4へ進みます。「本体のメモリーカードが接続されました」と表示されている場合は、手順2へ進みます。

2 [本体のメモリーカードが接続されました] をタップする

3 [接続解除] をタップする

- ステータスバーに「ファイル転送モードを選択中」と表示されます。

4 microUSBケーブルを取り外す

FOMA端末とパソコンでデータをドラッグ&ドロップする

■ メディア転送モード（MTP）の場合

1 microUSBケーブルでFOMA端末とパソコンを接続する

- ステータスバーに「メディア転送モードで接続しました」と表示されます。

2 FOMA端末とパソコンの間で、選択したデータをドラッグ&ドロップする

■ ファイル転送モード（MSC）の場合

1 microUSBケーブルでFOMA端末とパソコンを接続する

- ステータスバーに「本体のメモリーカードが接続されました」と表示されます。

2 FOMA端末とパソコンの間で、選択したデータをドラッグ&ドロップする

❖お知らせ

- USB大容量記憶インターフェースをサポートしているほとんどのデバイスと以下のオペレーティングシステム（OS）で、microUSBケーブルを使用してファイルを転送できます。
  - Microsoft Windows 7
  - Microsoft Windows Vista
  - Microsoft Windows XP

Wi-Fi上でFOMA端末とパソコンを接続する

Wi-Fiネットワーク上でFOMA端末とパソコン※をペアになるように接続設定すると、本FOMA端末のユーザーがWi-Fiネットワークエリア内に出たり入ったりする際、FOMA端末のmicroSDカードとパソコンが自動的に接続／切断できるようになります。接続したパソコンからmicroSDカード内にあるファイルに簡単にアクセスできるようになります。

※ パソコンのOSは、Microsoft Windows 7である必要があります。Microsoft Windows XP、Microsoft Windows Vista、その他のOSではペア設定できません。

1 **ペア接続したいパソコンを、Wi-Fiネットワークにつなぐ**

2 **FOMA端末のUSB接続モードを「メディア転送モード（MTP）」に設定する**

3 **Wi-FiネットワークにFOMA端末を接続する（P.90）**

4 **パソコンとFOMA端末をmicroUSBケーブルで接続する**

- FOMA端末上にPC Companionのインストール確認画面が表示された場合は、[スキップ]をタップしてください。

5 **パソコン上のエクスプローラーに、ポータブルデバイスとして「SO-01C」が表示されていることを確認する**

6 **ポータブルデバイスのアイコンを右クリックし、「ネットワーク構成」をクリックする**

7 **「次へ」をクリックする**

8 **FOMA端末上でホップアップ画面の[ペア]をタップする**

9 **パソコンのポータブルデバイスのネットワーク構成画面で、「完了」をクリックする**

10 **microUSBケーブルを取り外す**

11 **FOMA端末のホーム画面で［≡］を押し、[設定]▶[Sony Ericsson]▶[接続設定]▶「ワイヤレスのメディア転送用に信頼された機器」欄の「ホスト名」（パソコン名）をタップする**

12 **[接続]をタップする**

- Wi-Fiネットワーク上でパソコンとFOMA端末が「メディア転送モード（MTP）」で接続され、ファイルをやり取りできるようになります。

❖お知らせ

- FOMA端末のホーム画面で ☰ を押し、[設定] ▶ [Sony Ericsson] ▶ [接続設定] をタップすると、「ワイヤレスのメディア転送用に信頼された機器」の欄に「ホスト名」(パソコン名)が表示されます。ホスト名をタップし、[除外する] をタップして接続設定を解除できます。「除外する」をタップするまでは、Wi-Fiネットワークのエリア内外で接続/切断を繰り返しても、接続設定自体は継続されます。

Media Goを利用する

Media Goは、FOMA端末とパソコンのメディアコンテンツの転送および管理を支援するパソコンのアプリケーションです。
Media Goを利用すると、CDからパソコンに楽曲を取り込み、FOMA端末へ転送することができます。
Media Goを使用するには、以下のいずれかのオペレーティングシステムが必要です。

- Microsoft Windows 7
- Microsoft Windows Vista
- Microsoft Windows XP、Service Pack 3以降

❖お知らせ

- ファイルの転送をできるようにするために、最初にFOMA端末とパソコンをmicroUSBケーブルで接続する際は、USB接続モードを「メディア転送モード(MTP)」に設定しておく必要があります。
- Media Goの使用方法の詳細については、Media Goのメインメニューのヘルプをご参照ください。

Media Goをインストールする

1 microUSBケーブルでFOMA端末をパソコンに接続する

- 「PC Companionソフトウェア」画面が表示されます。

2 [インストール] をタップする

- パソコンの画面にインストーラ画面が表示されます。

3 パソコンのインストーラ画面で「インストール」をクリックする

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

4 インストール完了後、パソコンに表示される「Sony Ericsson PC Companion」画面で「Media Go」をインストールする

❖お知らせ

- Media Goは、http://www.sonyericsson.co.jp/mediago/ からダウンロードして入手することもできます。

Media Goを使ってデータを転送する

1 **microUSBケーブルでFOMA端末をパソコンに接続する**

2 **ステータスバーを下にドラッグしてUSB接続モードを確認する**

- 「メディア転送モードで接続しました」と表示されている場合は、手順5へ進みます。「本体のメモリーカードが接続されました」と表示されている場合は、手順3へ進みます。

3 **［本体のメモリーカードが接続されました］をタップする**

4 **［接続設定］▶［USB接続モード］▶［メディア転送モード（MTP）］▶［OK］をタップする**

5 **パソコンのスタートメニューからMedia Goを選択して、Media Goを起動する**

- Media Goを使用して、FOMA端末とパソコンの間でファイルを移動できます。

Bluetooth機能を利用する

Bluetooth機能によって、Bluetoothデバイス（ハンズフリーデバイスなど）にワイヤレス接続できます。障害物のない10m以内の範囲での使用を推奨します。Bluetoothデバイスと通信するには、Bluetooth機能をONにする必要があります。FOMA端末とBluetoothデバイスのペア設定を行う必要がある場合もあります。

❖お知らせ

- 初期設定では、Bluetooth機能はOFFです。ONにしてFOMA端末の電源を切ると、Bluetooth機能もOFFになります。電源を再度入れると、Bluetooth機能は自動的にONになります。
- 使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth機能をOFFにしてください。

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

本FOMA端末のBluetooth機能と無線LAN対応機器は、同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- Bluetooth 対応機器と無線 LAN 対応機器は、10m以上離してください。

次ページへつづく

- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth対応機器または無線LAN対応機器の電源を切ってください。

※ すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。Bluetooth DUNには対応しておりません。

Bluetooth機能をONにしてFOMA端末を検出可能にする

1 ホーム画面で を押す

2 ［設定］▶［無線とネットワーク］をタップする

3 ［Bluetooth］のチェックボックスにチェックを入れる

- がステータスバーに表示され、Bluetooth機能がONになります。

4 ［Bluetooth設定］をタップする

5 ［検出可能］のチェックボックスにチェックを入れる

- FOMA端末が、他のBluetoothデバイスから120秒間検出可能になります。

FOMA端末の名前を入力する

Bluetooth機能を使用するときに、Bluetoothデバイスに表示されるFOMA端末の名前を入力できます。

1 Bluetooth機能がONになっていることを確認する

2 ホーム画面で を押す

3 ［設定］▶［無線とネットワーク］▶［Bluetooth設定］▶［端末名］をタップする

4 名前を入力する

5 ［OK］をタップする

Bluetoothデバイスとペア設定する

FOMA端末とBluetoothデバイスのペア設定を行うことによって、FOMA端末をBluetoothハンズフリーヘッドセットなどに接続し、これらのデバイスを使用して発着信できるようになります。

一度FOMA端末とBluetoothデバイスのペア設定を行うと、ペア設定情報は記憶されます。FOMA端末とBluetoothデバイスのペア設定を行うときに、パスコード（PIN）の入力を必要とする場合があります。FOMA端末は、自動的にパスコード「0000」を試行します。この試行でうまくいかない場合は、Bluetoothデバイスの取扱説明書をご参照ください。ペア設定を行ったBluetoothデバイスに次回接続するときは、パスコードを再入力する必要はありません。

2つのBluetoothヘッドセットとペア設定するという使い方はできませんが、同じBluetoothプロファイルを使用していない状態で、複数のBluetoothデバイスとペア設定を行うことはできます。本FOMA端末では、A2DP、AVRCP、HFP、HSP、OPP、PBAPおよびSPPのBluetoothプロファイルがサポートされています。

1 ホーム画面で［≡］を押す

2 ［設定］▶［無線とネットワーク］▶［Bluetooth設定］をタップする

3 ［端末のスキャン］をタップする

- 検出されたBluetoothデバイスが、一覧表示されます。

4 FOMA端末とペア設定を行うBluetoothデバイス名をタップする

5 必要な場合は、パスコード（PIN）を入力する

- ペア設定を行ったBluetoothデバイスを使用できます。ペア設定と接続の状態は、Bluetoothデバイスリストのデバイス名の下に表示されます。
- Bluetoothデバイスによっては、ペア設定完了後、続けて接続まで行うデバイスがあります。

❖お知らせ

- ペア設定を行うデバイス側で、Bluetooth機能がONになっていることとBluetooth検出機能がオンになっていることを確認してください。
- セキュアシンプルペアリング（SSP）機能に対応したBluetoothデバイスとペア設定を行う場合は、画面にパスキーが表示されます。表示されたパスキーが正しいことを確認した後、ペア設定します。

他のBluetoothデバイスと接続する

1 **ホーム画面で を押す**

2 **［設定］▶［無線とネットワーク］▶［Bluetooth設定］をタップする**

3 **接続するBluetoothデバイス名を長くタッチする**

- デバイス名の下に「この端末をペアに設定する」と表示されているデバイスを長くタッチします。

4 **［ペアに設定して接続］をタップする**

- ペア設定が完了すると、デバイスの種類によりデバイス名の下に接続状態が表示されます。デバイスと接続中は、ステータスバーに が表示されます。

Bluetoothデバイスの接続を解除する

1 **ホーム画面で を押す**

2 **［設定］▶［無線とネットワーク］▶［Bluetooth設定］をタップする**

3 **接続中のBluetoothデバイス名を長くタッチする**

- 接続中のデバイス名の下に、FOMA端末とペア設定され接続された状態が表示されています。

4 **［接続を解除］をタップする**

- デバイス名をタップして接続解除の確認画面で［OK］をタップしても接続を解除できます。いずれもペア設定された状態のままで、デバイス名の下の表示が「ペア設定、非接続」に変わります。再接続するときは、デバイス名をタップします。

Bluetoothデバイスのペア設定を解除する

1 **ホーム画面で を押す**

2 **［設定］▶［無線とネットワーク］▶［Bluetooth設定］をタップする**

3 **接続中のBluetoothデバイス名を長くタッチする**

4 **［切断してペアを解除］をタップする**

- 接続が切断され、ペア設定も解除されます。

❖お知らせ

- Bluetoothデバイスとペア設定のみの状態（非接続）の場合は、「ペアを解除」と表示されます。

Connected devices（メディアサーバー）でDLNA機器とファイルを共有する

メディアサーバーを利用すると、Wi-Fi機能を利用して、他のクライアント（DLNA：Digital Living Network Alliance）機器と本FOMA端末のメディアファイルを共有できます。
あらかじめ他のクライアント機器とWi-Fi接続（P.90）を設定しておきます。

Connected devices（メディアサーバー）を設定する

1 **ホーム画面で▦をタップし、［Connected devices］をタップする**

2

サーバー情報	クライアント機器上で見える本FOMA端末（サーバー）の名称を変更できます。
コンテンツ共有	クライアント機器からWi-Fi経由で本FOMA端末に接続できるように設定します。
アクセス許可待ちの機器	アクセス許可待ちのクライアント機器を管理します。
登録された機器	本FOMA端末に登録されたクライアント機器を管理します。

❖お知らせ

- ☰を押すと、Wi-Fi接続を設定したりヘルプを確認したりできます。

Androidマーケットを利用する

Androidマーケットを利用すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接アクセスでき、FOMA端末にダウンロード、インストールすることができます。また、アプリケーションのフィードバックや意見を送信したり、好ましくないアプリケーションや本FOMA端末と互換性がないアプリケーションを不適切なコンテンツとして報告することができます。

- Androidマーケットのご利用には、Googleアカウントの設定（P.109）が必要となります。
- ダウンロードするアプリケーションやゲームには無料のものと有料のものがあり、マーケットのアプリケーション一覧ではその区別が明示されています。有料アプリケーションの購入、返品、払い戻し請求などの詳細については、「ヘルプ」（P.169）でご確認ください。

Androidマーケットを開く

1 ホーム画面で をタップし、［マーケット］をタップする

- Androidマーケットを初めて開くとAndroidマーケット利用規約ウィンドウが表示されますので、［同意する］をタップします。

❖お知らせ

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。手動でパケット通信を切断するには、ホーム画面で を押し、［設定］▶［無線とネットワーク］▶［モバイルネットワーク］をタップして、［データ通信を有効にする］のチェックを外します。
- アプリケーションによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。

ヘルプ

Androidマーケットについてヘルプが必要なときや質問がある場合は、Androidマーケットの画面を開いた状態で［≡］を押し、［ヘルプ］をタップします。ブラウザよりAndroidマーケットヘルプウェブページに進みます。

ドコモマーケットを利用する

ドコモマーケットでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリケーションに簡単にアクセスすることができます。

ドコモマーケットを開く

1 ホーム画面で▦をタップし、［ドコモマーケット］をタップする

- ブラウザが起動し、ドコモマーケットが表示されます。

❖お知らせ

- ドコモマーケットのご利用には、パケット通信（3G/GPRS）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- ドコモマーケットへの接続およびドコモマーケットで紹介しているアプリケーションのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリケーションによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- ドコモマーケットで紹介しているアプリケーションには、一部有料のアプリケーションが含まれます。
- ドコモマーケットで紹介しているサイト、または、そこから取得された情報によって生じたいかなる損害についても、ドコモは責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ドコモマーケットで紹介しているアプリケーションの動作内容、使用目的への適合性、信頼性に関してドコモは責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行うアプリケーションによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などが、インターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作の状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本サイト上に掲載されている著作物（文書・写真・イラスト・動画・音声・ソフトウェアなど）の著作権は、ドコモまたは第三者が保有しており、著作権法その他の法律ならびに条約により保護されております。私的使用目的の複製、引用など著作権法上認められている範囲を除き、著作権者の許諾なしに、これらの著作物を複製、翻案、公衆送信などすることはできません。

Timescape™について

Sony Ericsson Timescape™（以降は、Timescapeと略します）は、不在着信、メッセージ（SMS）、Facebook、Twitter、mixiの更新などの履歴が画面上に時系列で表示されます。1つの履歴を表示する前に、個別の履歴をタイル形式にして時系列で並べたプレビューを表示できます。また、∞（インフィニットボタン）を使用すると、登録した連絡先に関するすべてのコミュニケーション情報を表示できます。（P.172）

❖お知らせ

- ソーシャルネットワークサービス（SNS）を設定することでTimescapeの利点を最大限に活用できます。
- Gmailやその他のEメールアプリケーションに設定したEメールアカウントのEメールは、Timescapeには表示されませんのでご注意ください。
- Facebook アカウントをまだお持ちでない場合は、http://www.facebook.com のウェブサイトでアカウントを新規作成することができます。
- Twitterアカウントをまだお持ちでない場合は、http://www.twitter.com のウェブサイトでアカウントを新規作成することができます。
- mixiアカウントをまだお持ちでない場合は、http://mixi.jp のウェブサイトでアカウントを新規登録することができます。
- 設定したFacebook、Twitter、mixiなどの更新内容は、Timescapeから確認することができます。

Timescapeの初期設定をする

- Timescapeを初めて起動すると、セットアップウィザードにより各アカウント登録に必要な手順が表示されます。

1 ホーム画面で▦をタップし、［Timescape™］をタップする

- Timescape画面が表示されます。

2 タイルをタップする

3 必要に応じて、Facebook／Twitter／mixiのアカウント情報を入力する

4 ［完了］をタップする

❖お知らせ

- Timescapeは、Timescapeウィジェット下の▨をタップして起動することもできます。
- セットアップウィザード中に、アカウント情報を登録する画面で［拡張機能検索］をタップすると、Androidマーケットに接続して、Timescapeの新たなサービスを検索できます。
- セットアップウィザード完了後も、Timescapeの画面で［≡］を押し、［設定］をタップして、いつでもTimescapeの設定を変更することができます。
- FOMA端末を横向きにしても自動的に画面の向きが変わらないときは、ホーム画面で［≡］を押し、［設定］▶［画面設定］をタップして［画面の自動回転］のチェックボックスにチェックを入れます。
- Facebook／Twitter／mixiの自動更新を設定すると、より速く情報の更新を確認できますが、電池の消耗が早くなります。手動更新に設定することで電池を節約することができます。

Timescape画面

① 最新のコメント：Facebook／Twitter／mixiに投稿した最新のコメントを表示
- フィルターを使用して、投稿するサービスを絞り込むことができます。

② タイル：不在着信、受信SMS、Facebook、Twitter、mixiの友人からの更新の各種情報を時系列に沿って表示

③ フィルター：フィルター項目をタップして、特定のタイプの情報に絞り込む
- フィルターの並び順は、異なる場合があります。

Timescapeでタイルをスクロールする

1 **タイルを上下にドラッグする**

Timescapeでタイルをプレビューする

タイルを選択して、タイル上で内容を確認できます。

1 **タイルをタップする**

フィルターのアイコン

フィルターアイコン	表示するタイル
	すべてのタイル
	受信したSMSメッセージのタイル
	不在着信のタイル
	Twitterの更新情報タイル
	Facebookの更新情報タイル
	mixiの更新情報タイル

表示されたタイルにフィルターを適用する

1 **Timescape画面でフィルターアイコンをタップする**

Timescapeでスタート画面を更新する

スタート画面を更新すると、インターネットに接続してTimescapeでアカウント設定済みのTwitter、Facebook、mixiの情報を更新します。

1 **Timescape画面で を押し、［更新］をタップする**

TimescapeからFacebook、Twitter、mixiへ投稿する

1 **Timescape画面で［≡］を押し、［ステータスを入力］をタップする**

2 **投稿するサービスにチェックを入れて、［続行］をタップする**

3 **テキストを入力し、［投稿］をタップする**

タイルのアイコン

タイルの中に表示されるアイコンは、次の情報内容を示しています。

アイコン	情報内容
	不在着信。タイルをタップして着信相手に電話をかけることができます。
	SMSメッセージ。タイルをタップしてメールを表示できます。
	Twitter更新。タイルをタップして、Twitterの更新を表示できます。
	Facebook更新。タイルをタップして、Facebookの更新を表示できます。
	mixi更新。タイルをタップして、mixiの更新を表示できます。

タイルの詳細情報を表示する

1 **Timescape画面でタイルをタップする**

Timescapeで不在着信に電話をかける

1 **Timescape画面でタイルをタップする**

2 **もう一度タイルをタップする**

3 **［発信］をタップする**

TimescapeでSMSメッセージに返信する

1 **Timescape画面でタイルをタップする**

2 **もう一度タイルをタップする**

3 **メール本文を入力する**

4 **［送信］をタップする**

Timescapeのインフィニットボタン

タイルをタップすると、右上に（インフィニットボタン）が表示される場合があります。をタップすると、連絡先に登録された情報やフィルターごとの履歴を表示できます。

Timescapeから連絡先の登録情報を表示する

1 **Timescape画面でタイルをタップする**

2 **∞をタップする**

- 選択されているタイルの種別ごとの履歴や情報が表示されます。画面下に表示されるフィルターをフリックすると、表示する情報を切り替えることができます。

Timescapeの設定

Timescape設定画面を表示する

1 **Timescape画面で ≡ を押し、［設定］をタップする**

- 次の操作が行えます。

更新方法	Timescapeを起動時に、アカウント設定済みのTwitter、Facebook、mixiの情報を手動／自動で更新するように設定します。
Timescape™ コンテンツ	Timescapeに表示されるコンテンツ種別を変更します。
サービスを設定	Facebook／Twitter／mixiのアカウントを設定したり、Timescapeの新たなサービスを検索します。

位置情報サービスについて

現在地の測位には、モバイルネットワークとWi-Fi（無線ネットワーク）またはGPSを使用する2つの方法があります。無線ネットワークでは、スピーディに現在地が測位されますが、正確さにばらつきがある場合があります。GPSを使用すると、多少時間がかかることはありますが、正確な現在地が測位されます。現在地を測位するときに、無線ネットワークとGPSの両方を有効にして、両方のメリットを得ることができます。

GPS機能

本FOMA端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPS機能は、インターネットを使用します。データの転送には、課金が発生する場合があります。

現在地の測位にGPS受信機を必要とする機能を使用するときは、空を広く見渡せることを確認してください。数分経ってもGPS受信機で現在地を測位できない場合は、別の場所に移動する必要があります。測位しやすくするために、動かず、GPSアンテナ部（P.22）を覆わないようにしてください。GPS機能を初めて使用するときは、現在地の測位に最大で10分程度かかることがあります。

- GPSシステムのご利用には十分注意してください。システムの異常などにより損害が生じた場合、弊社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- FOMA端末の故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- FOMA端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 車の日よけに金属が使用されていると、GPSを受信しにくくなることがあります。
- 衛星利用測位（GPS）は、米国防省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- かばんや箱の中
- 密集した樹木の中や下
- 自動車、電車などの室内
- FOMA端末の周囲に障害物（人や物）がある場合
- 地下やトンネル、地中、水中
- ビル街や住宅密集地
- 高圧線の近く
- 大雨、雪などの悪天候

❖注意

- 一部、または全部のGPS機能を使用できない場合は、契約内容にインターネットの利用が含まれていることをご確認の上、「無線とネットワーク」（P.87）をご参照ください。
- 弊社はナビゲーションサービスに限らず、いずれの位置情報サービスの正確性も保証しません。

GPS機能を有効にする

1 ホーム画面で [メニュー] を押し、[設定] をタップする

2 [現在地情報とセキュリティ] をタップする

3 [GPS機能を使用] のチェックボックスにチェックを入れる

4 注意文を読んで [同意する] をタップする

無線ネットワークでの現在地検索を有効にする

- モバイルネットワークとWi-Fiを使った現在地検索を有効にします。

1 ホーム画面で [メニュー] を押し、[設定] をタップする

2 [現在地情報とセキュリティ] をタップする

3 [無線ネットワークを使用] のチェックボックスにチェックを入れる

4 注意文を読んで [同意する] をタップする

5 位置情報についての注意文を読んで、[同意する] をタップする

- 無線ネットワークを利用した位置情報は個人を特定しない形で収集されます。なお、アプリケーションが起動していない場合でも位置情報を収集することがあります。

Googleマップを使用する

Googleマップで、現在地の表示、別の場所の検索、および経路の検索を行うことができます。Googleマップを起動すると、近くの基地局からの情報によって、おおよその現在地が表示されます。GPS受信機が現在地を測位すると、現在地はより正確な場所に更新されます。

❖お知らせ

- 現在地を取得する前に現在地情報の設定を有効にしてください。
- FOMA端末を横向きにしても自動的に画面の向きが変わらないときは、ホーム画面で [メニュー] を押し、[設定] ▶ [画面設定] をタップして [画面の自動回転] のチェックボックスにチェックを入れます。
- Googleマップを利用するには、データ接続可能な状態(3G/GPRS)にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。
- 3G/Wi-Fiの接続のみでは、現在位置が検出されない場合があります。
- Googleにより最新のサービス、機能が提供される場合があります。

次ページへつづく

1 **ホーム画面で▦をタップする**

2 **［マップ］をタップする**

地図上で現在地を検出する

1 **マップ画面で◈をタップする**

- 現在地が地図上で青い矢印の点滅で表示されます。

ストリートビューを見る

- ストリートビューは対応していない地域もあります。

1 **マップ画面でストリートビューが見たい地点を長くタッチする**

2 **表示された吹き出しをタップする**

3 **（ストリートビュー）をタップする**

- ストリートビュー表示中に［≡］を押して、［コンパスモード］をタップするとFOMA端末の地磁気コンパスとストリートビューで表示される方角が連動します。
- ストリートビュー非対応地域の場合はグレー表示となります。

興味のある場所を検索する

1 **マップ画面で［≡］を押し、［検索］をタップする**

2 **検索ボックスに検索する場所を入力する**

- 住所、都市、ビジネスの種類や施設（例えば、ロンドン　美術館）を入力できます。
- 検索ボックスをタップすると、以前に検索または参照したすべての場所のリストが画面に表示されます。リストで住所などをタップし、地図上でその位置を表示することもできます。

3 **［実行］／🔍をタップする**

- 地図上に検索した場所が表示されます。
- ▤が表示された場合は、▤をタップして表示する場所を選択することができます。
- マップ画面上部に「もしかして･･･」と表示された場合は、「もしかして･･･」をタップして表示する場所を選択することができます。

4 **目的の場所をタップする**

- 詳細情報画面が表示されます。

❖お知らせ

- 詳細情報画面では、（地図で見る）、（経路を検索）、（電話をかける）、（その他のオプション）などが利用できます。場所によって利用できるオプションは異なります。
- マップ画面上の（プレイス）を利用すると、現在地を中心にして「レストラン」「カフェ」などのカテゴリを選択して検索し、地図表示できます。検索カテゴリは追加することもできます。

地図を拡大／縮小する

1 をタップして拡大／縮小する

❖お知らせ

- 画面をダブルタップやピンチすることでも拡大／縮小できます。

レイヤを変更する

地図上に重ねる情報を選択できます。

1 マップ画面で をタップする

2 見たい情報をタップする

- 渋滞状況と路線図は提供地域が限定されています。

渋滞状況	渋滞状況を表示します。
航空写真	航空写真を表示します。
地形	地形を表示します。
路線図	路線情報を表示します。
Latitude	Latitudeに参加します。
マイマップ	パソコンで作成したマイマップを閲覧できます。マイマップは本FOMA端末からは閲覧するだけで作成できません。
ウィキペディア	Wを表示します。 Wをタップするとその場所に関するWikipediaの記事を閲覧できます。

道案内を取得する

Googleマップを利用して、目的地への詳しい道案内を取得できます。

1 マップ画面で を押し、[経路]をタップする

2 上のテキストボックスに出発地を入力し、下のテキストボックスに到着地を入力する

- テキストボックス右の をタップして［現在地］［連絡先］［地図上の場所］から出発地、到着地を選択することもできます。

3 移動の方法を（車）／（公共交通機関）／（徒歩）のいずれかをタップして選択する

4 [実行] をタップする

- 到着地への道案内がリスト表示されます。

5 公共交通機関で検索した場合には、リストの中から好みの経路をタップする

- 車や徒歩で経路検索した場合は、経路が表示されています。[地図アイコン]をタップすると、経路が地図で表示されます。

❖お知らせ

- 「ナビ」アプリケーションを利用すると、現在地を出発点にした経路検索が簡単にご利用いただけます。

地図をクリアする

表示されたレイヤや経路検索結果などを消去します。

1 マップ画面で[メニュー]を押し、[地図をクリア]をタップする

- クリアする内容がない場合には［地図をクリア］はタップできません。

Google Latitudeで友人の現在地を確認する

Google Latitudeを利用すると、地図上で友人と位置を確認しあったり、ステータスメッセージを共有したりできます。Latitude上では、メッセージ（SMS）やEメールを送ったり、電話をかけたり、友人の現在地への経路を検索したりできます。
位置情報は自動的に共有されません。Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

Latitudeに参加する

1 地図の表示中に[メニュー]を押し、[Latitudeに参加]をタップする

- 初めてLatitudeに参加するときに、友人とGoogleに現在地の共有を許可するかどうかを確認するメッセージが表示される場合があります。
- 一度Latitudeに参加すると、メニュー項目は［Latitude］に変わります。

❖お知らせ

- Latitudeの設定およびログアウトは、マップ画面で[メニュー]を押して［Latitude］をタップし、[メニュー]を押して［設定］をタップして表示される画面から行います。

Latitudeを開く

Latitudeに参加すると、画面を開いて友人の現在地や更新情報を確認することができます。

1 地図の表示中に［MENU］を押し、［Latitude］をタップする

❖**お知らせ**

- Latitudeの詳細については、マップ画面で［MENU］を押して、［その他］▶［ヘルプ］▶［Latitude］をタップして、モバイルヘルプをご覧ください。

FMラジオ

本FOMA端末でFM放送を聴くことができます。自動または手動で選局できて、お好みの局をお気に入りに登録することもできます。FMラジオをご利用になる場合は、マイク付ステレオヘッドセット（試供品）などのハンズフリー機器やヘッドフォンをご使用ください。受信アンテナとして機能します。

放送局を検索して登録する

1 マイク付ステレオヘッドセットをFOMA端末に接続する

- マイク付ステレオヘッドセットの接続については、「マイク付ステレオヘッドセットを使用する」（P.147）をご参照ください。

2 ホーム画面で［メディア］▶［FMラジオ］をタップする

- FMラジオ画面が表示され、自動的に選局を開始します。画面を上下にドラッグして選局することもできます。さらに自動的に選局する場合は、手順3へ進みます。

3 ［MENU］を押して［チャンネルの検索］をタップする

- 放送局の電波をキャッチすると、検索が終了します。

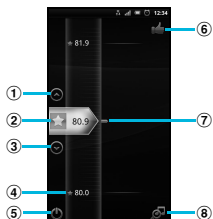
4 ［☆］をタップする

- 検索した放送局の帯域がお気に入りに登録され、［☆］の星がグレーから白色に変わります。

5 FMラジオを停止するには、［⏻］をタップする

❖**お知らせ**

- ホーム画面に戻って、他の操作をしながらFMラジオをバックグラウンドで聴くことができます。FMラジオ画面に戻るには、ホーム画面で［メディア］▶［FMラジオ］とタップするか、ステータスバーを下にドラッグして実行中項目の［ ］をタップします。
- FOMA端末を横向きにしても自動的に画面の向きが変わらないときは、ホーム画面で［MENU］を押し、［設定］▶［画面設定］をタップして［画面の自動回転］のチェックボックスにチェックを入れます。

FMラジオ画面

FMラジオ画面

① 上方向にお気に入りを選局
② 選局ボタン（☆はお気に入りアイコン）
③ 下方向にお気に入りを選局
④ お気に入りに登録された放送局
⑤ FMラジオのON／OFF
⑥ Facebook上で「いいね！」を指定／解除
- Facebookにログインしている場合に表示されます。
- TrackID経由で検索された楽曲に対して設定します。

⑦ 受信状態がよい場合に表示される帯域ポイント
⑧ TrackID（P.156）で楽曲情報を検索

スピーカーとハンズフリー機器を切り替える

1 FMラジオ画面で［≡］を押す

2 ［スピーカーで再生］／［ヘッドホンで再生］をタップする

- 音の出力がスピーカー／ハンズフリー機器に切り替わります。

カレンダー

本FOMA端末にはスケジュールを管理するカレンダーが内蔵されています。Googleアカウントを持っている場合は、FOMA端末のカレンダーとウェブカレンダーを同期することができます。「アカウントと同期」（P.109）をご参照ください。

- カレンダーを起動する前に、Googleアカウントの登録（P.109）が必要です。Googleアカウントを登録した後、「アカウントと同期」内に表示されているGoogleアカウントをタップして、同期項目の「カレンダーを同期」をタップしてください。予定の作成などができるようになります。

カレンダー表示を設定する

1 ホーム画面で▦をタップし、［カレンダー］をタップする

2 ［≡］を押し、［日］、［週］をタップして選択する

- 「日」の表示中には［週］、［月］を選択でき、「週」の表示中には［日］、［月］を選択できます。

カレンダーの予定を作成する

カレンダーの予定を作成するには、Googleアカウントの登録とGoogleとの同期を行っておきます。

1 **ホーム画面で をタップし、[カレンダー]をタップする**

2 **[予定を作成]をタップする**

- 日表示または週表示中には、 を押し、[予定を作成]をタップします。

3 **予定のタイトル、日時を入力する**

4 **複数のカレンダーアカウントを持っている場合は、目的のカレンダーを選択する**

5 **必要に応じて、予定の繰り返し間隔を選択する**

6 **予定の通知間隔を選択する**

- 予定に新しい通知を追加するには、 をタップします。

7 **予定の場所、内容を入力する**

8 **[保存]をタップする**

❖お知らせ

- [その他]をタップして画面をスクロールすると、「タイムゾーン」「ゲスト(メールアドレス)」「外部向け表示」「公開設定」を設定できます。

カレンダーの予定を表示する

1 **ホーム画面で をタップし、[カレンダー]をタップする**

2 **表示する予定をタップする**

- 左右にフリックすると、月表示では前後の月、日表示では前後の日、週表示では前後の週を表示します。

❖お知らせ

- Facebookにログインしている場合は、Facebookのイベントもカレンダーの予定に表示されます。

予定のリマインダーを解除またはスヌーズを設定する

1 **ステータスバーにリマインダーアイコン( )が表示されたら、ステータスバーを下にドラッグする**

- 通知パネルが開きます。
- リマインダーアイコンは通知を設定した時刻になると表示されます。

2 **目的の予定をタップする**

3 **[スヌーズ]または[全消去]をタップする**

- 該当の予定のほかにも保留中の予定がある場合、それらの予定も同じ画面に表示されます。

- [スヌーズ] をタップすると、5分後にすべてのカレンダーをスヌーズします。
  (スヌーズとは、いったんアラームのスイッチを切ってもしばらくするとアラームが鳴るようにする機能です。)

カレンダーの設定を変更する

カレンダーの表示、リマインダーの通知方法、着信音、バイブレーション、通知間隔を設定します。

1 ホーム画面で▦をタップし、[カレンダー] をタップする

2 ☰を押し、[その他] ▶ [設定] をタップする

3 変更する項目を選択する

時計/アラーム

「時計」アプリケーションでは、アラームを設定できるほか、ディスプレイに時計や写真のスライドショーを表示させたり、ミュージックプレーヤーで音楽を流したりすることができるように設定できます。

1 ホーム画面で▦をタップする

2 [時計] をタップする

時計画面が表示されます。

① アラーム表示
- 設定したアラームがある場合に表示されます。

② ☼: バックライト消灯
- 点灯させるには画面をタップします。

③ 時計表示
- ディスプレイに触れず 5 分経過すると、日付・時刻のみの表示になります。

④ ニュースと天気
- タップすると「ニュースと天気」アプリケーションを起動します。

※ 現在地の天気予報を表示するには、現在地情報が取得できるように設定 (P.175) する必要があります。

⑤ ⏰: アラームを設定
⑥ 🖼: スライドショー表示に設定
⑦ ♫: ミュージックプレーヤー画面を表示
⑧ 🏠: ホーム画面に戻る

アラームを設定する

1 ホーム画面で をタップし、[アラーム]をタップする

- アラームの一覧画面が表示されます。
- 時計画面で をタップしてもアラームの一覧画面を表示できます。

2 [アラームの追加]をタップする

- 新しいアラームの時刻設定画面が表示されます。

3 数字をタップして、時刻を合わせ、[設定]をタップする

- 新しいアラームの編集画面が表示され、次の設定ができます。

アラームをONにする	チェックを入れるとアラームがONに設定されます。
時刻	時刻を変更するときにタップして、手順3に戻ります。
繰り返し	アラームを使用する曜日を設定します。 • 設定しない場合は、繰り返しなしになります。
アラーム音	アラーム音を選択できます。
バイブレーション	チェックを入れるとアラーム時刻に振動します。
ラベル	設定中のアラームに名称を付けることができます。

4 [完了]をタップする

- アラームの一覧画面に戻ります。

アラームのオン/オフを設定する

1 アラーム一覧画面で をタップする

- アラームをONにすると、 の下のラインが緑色に点灯し、ステータスバーに が表示されます。
- アラームをOFFにすると、 の下のラインが消灯します。

アラームの基本を設定する

アラーム音量の設定など、すべてのアラームに共通する設定を行います。

1 アラーム一覧画面で、 を押す

2 [設定]をタップする

- アラームの共通設定画面が表示され、次の設定ができます。

マナーモード中の鳴動	マナーモード設定中にアラーム音を鳴らさないように設定できます。
アラームの音量	アラームの音量を設定します。
スヌーズ間隔	アラーム音を止めてからもう一度アラーム音が鳴るまでの時間を設定します。
サイドキー動作	アラーム音が鳴動中にサイドボタン（ 、 ）を押したときの効果を設定します。

アラームを削除する

1 **アラーム一覧画面で削除するアラーム時刻をタップする**

2 **［削除］をタップする**

3 **［OK］をタップする**

アラームが鳴っているときにアラームを止める

1 **アラームが鳴っているときのダイアログボックスで［停止］または［スヌーズ］をタップする**

- ［停止］ではアラームが止まります。［スヌーズ］ではアラームを一定時間止めて、再度鳴らします。

OfficeSuite

OfficeSuiteを利用して、FOMA端末本体やmicroSDカードからWord、Excelなどのファイルを閲覧できます。

OfficeSuiteを起動する

1 **ホーム画面で▦をタップする**

2 **［OfficeSuite］をタップする**

OfficeSuiteが起動します。

❖お知らせ

- 詳しくは、http://www.sonyericsson.co.jp/so-01c/index.html をご参照ください。

その他のアプリケーション

本FOMA端末は、ウェブ上の各種サービスを利用するための次のようなアプリケーションを搭載しています。

PlayNow

PlayNowは、ニュース速報や辞書サービスなどを利用できるウェブアプリケーションです。ご利用になるには、ホーム画面で▦をタップし、［PlayNow］をタップして専用サイトへ接続します。会員登録など画面に従って操作してください。

Video Unlimited

ソニーのインターネット対応機器を通じて、エンタテインメントの新しい世界を提供するオンラインサービス「Video Unlimited（ビデオアンリミテッド）」を利用することができるアプリケーションです。お気に入りの映像作品を本FOMA端末にダウンロードして、いつでもどこでも視聴することができます。
ご利用になるには、ホーム画面で▦をタップし、［Video Unlimited］をタップしてアプリケーションをインストールした後、再度ホーム画面で▦をタップし、［Video Unlimited］をタップして専用サイトへ接続します。

SE Store

ソニー・エリクソン ストアを表示するアプリケーションです。
本FOMA端末に対応したアクセサリー製品の詳細情報の閲覧・購入ができます。
ご利用になるには、ホーム画面で▦をタップし、[SE Store] をタップします。

スタートアップガイド

初めてお使いになる方に操作方法や初期設定をサポートするアプリケーションです。
基本操作演習や基本設定、用語辞典があります。
- 初めて起動するときに大量のコンテンツをダウンロードするため、多額のパケット料金が発生する可能性があります。パケット定額サービスにご加入いただくことを強くおすすめします。

トルカ

トルカとは、ケータイに取り込むことができる電子カードです。店舗情報やクーポン券などとして、サイトから取得できます。取得したトルカは「トルカ」アプリに保存され、「トルカ」アプリを利用して表示、検索、更新ができます。
トルカの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』またはドコモマーケットをご覧ください。

❖お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- ｉモード端末向けに提供されているトルカは、取得・表示・更新できない場合があります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
  - 更新／メールを利用しての送信／microSDカードへの移動、コピー／地図表示
- IPの設定によって、トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでもトルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。
- 重複チェックを「ON」に設定した場合、同じトルカを重複して取得することができません。同じトルカを重複して取得したいときは、「OFF」に設定してください。
- メールを利用してトルカを送信する際は、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。
- ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。
- トルカをmicroSDカードに移動、コピーする際は、トルカ（詳細）取得前の状態で移動、コピーされます。
- 「トルカ」アプリは削除できません。

友達の音楽と動画

友達の音楽と動画は、Facebookで共有されている動画や音楽の一覧を表示するアプリケーションです。Facebookで登録した友達が共有している動画や音楽も一覧表示することができます。また、動画や音楽を選択すると、コメントや「いいね！」の投稿や閲覧ができます。
ご利用になるには、Facebookにログインした状態で、ホーム画面で▦をタップし、［音楽と動画］をタップします。

友達のゲームとアプリケーション

友達のゲームとアプリケーションは、Facebookで共有されているゲームやアプリケーションの一覧を表示するアプリケーションです。本FOMA端末にインストールされていないゲームやアプリケーションをここからダウンロードすることもできます。
ご利用になるには、Facebookにログインした状態で、ホーム画面で▦をタップし、［ゲームとアプリ］をタップします。

mora touch

mora touchは、Android端末専用の音楽ダウンロードサービスにアクセスするためのアプリケーションです。
ご利用になるには、ホーム画面で▦をタップし、［mora touch］をタップして専用サイトへ接続します。新規アカウントの作成または既存のアカウントを利用して操作できます。

life.episode

life.episodeは、設定した年齢と性別に対応したニュース、音楽、アニメーション、写真、グルメ情報、ショッピングなど幅広いジャンルの最新情報を発見できる新しいエンタテインメントです。「ポケット」機能ではお気に入りの情報を簡単にスクラップして、好きなときに取り出すことができます。
ご利用になるには、ホーム画面で▦をタップし、［life.episode™］をタップしてアプリケーションをダウンロードします。年齢と性別を設定してインストールが完了します。

国際ローミングサービス（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用しているFOMA端末を電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

■ 対応エリアについて

本FOMA端末は3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。

■ 海外で本FOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。

- 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
- ドコモの「国際サービスホームページ」
- 「ドコモ海外利用」アプリケーションのヘルプ

❖お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国 地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ご利用できるサービス

主な通信サービス	3G	GSM/GPRS	GSM
電話	○	○	○
メッセージ（SMS）	○	○	○
メール※1	○	○	×
ブラウザ※1	○	○	×
GPSの現在地確認※2	○	○	×

※1 ローミング時にデータ通信を利用するには、モバイルネットワーク設定の［データローミング］のチェックボックスにチェックを入れてください。（P.191）

※2 GPS測位（現在地確認）を行うとパケット通信料がかかります。

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

ご利用時の確認

出発前の確認

海外でFOMA端末を利用する際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。
- ご利用のFOMA端末やアプリケーションによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリケーションの動作については、お客様ご自身でアプリケーション提供元にご確認ください。

事前設定

ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・発信者番号通知サービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、FOMA端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

接続について

「携帯電話事業者」の設定で「利用可能なネットワーク」の検索モードを「自動選択」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。
「利用可能なネットワーク」を手動で定額サービスの対象事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が一日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用にはパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ディスプレイの表示について

ステータスバーには利用中のネットワークの種類が表示されます。

：国際ローミング中
／：GPRS接続中／使用中
／：3G（パケット）接続中／使用中
／：HSDPA接続中／使用中

- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

日付と時刻について

「日付と時刻」を「自動」に設定している場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することでFOMA端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻（P.115）

お問い合わせについて

- FOMA端末やドコモUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書裏面をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にFOMAネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 「ネットワークモード」の「優先ネットワークモード」を「GSM／WCDMA（自動）」に設定してください。（P.190）
- 「携帯電話事業者」の設定で「検索モード」を「自動選択」に設定してください。（P.190）

海外利用に関する設定を行う

国際ローミング開始時や利用中のネットワークが圏外になったとき、利用可能なネットワークに切り替える必要があります。

❖お知らせ

- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。手動でパケット通信を切断するには、ホーム画面で [メニュー] を押し、［設定］▶［無線とネットワーク］▶［モバイルネットワーク］▶［データ通信を有効にする］をタップしてチェックを外します。

ネットワークの検索モードを確認して切り替える

お買い上げ時のネットワークの検索モードは、「自動選択」に設定されています。手動で海外の定額サービスの対象事業者へ接続する場合は、次の操作で検索モードを確認して、「手動選択」に切り替えます。

1 **ホーム画面で [メニュー] を押し、［設定］をタップする**

2 **［通話設定］▶［携帯電話事業者］をタップする**

3 **［検索モード］▶［手動選択］をタップする**

4 **「利用可能なネットワーク」の中から使用するネットワークをタップしてチェックを入れる**

- ［ネットワークを検索］をタップすると、利用可能なネットワークが表示されます。

❖お知らせ

- ネットワークを手動で設定した場合、圏外に移動しても、別のネットワークに自動的に接続されません。
- 「自動選択」に戻す場合は、手順3で［自動選択］をタップします。

ネットワークモードを変更する

海外の携帯電話事業者が採用しているネットワークモード（通信方式）に応じて、ネットワークモードの設定を変更できます。

1 **ホーム画面で [メニュー] を押し、［設定］をタップする**

2 **［無線とネットワーク］▶［モバイルネットワーク］▶［ネットワークモード］をタップする**

3 優先的に使用するネットワークモードを選択する

- [WCDMAのみ]、[GSMのみ]、[GSM/WCDMA（自動）] から選択できます。[GSM/WCDMA（自動）] を選択すると、GSMとWCDMAのどちらも利用できます。

データローミングを有効にする

1 ホーム画面で ≡ を押し、[設定] をタップする

2 [無線とネットワーク] ▶ [モバイルネットワーク] をタップする

3 [データローミング] をタップする

4 表示される注意文を読んで、[はい] をタップする

- [データローミング]にチェックがつきます。

滞在先での電話のかけかた／受けかた

海外に到着後、FOMA端末の電源を入れると、利用可能な通信事業者が自動的に設定されます。

- 電池の残量および受信レベルが十分であることを確認してください。
- 通信事業者によっては、発信者番号通知を設定していても、発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されないことがあります。
  この場合、通話履歴画面から電話をかけることはできません。

滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から電話をかけることができます。

- 先頭に「+」を付けてから相手先の国番号と電話番号を入力すると、滞在先から日本、または他の国へ簡単に国際電話をかけることができます。

1 ホーム画面で [電話] をタップする

次ページへつづく

2 **＋（[0] を長くタッチする）▶国番号▶地域番号（市外局番）▶相手先電話番号の順に入力する**

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要になる場合があります。
- 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国番号として「81」（日本）を入力してください。

3 **[発信] をタップする**

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号を入力するだけで電話をかけることができます。

1 **ホーム画面で [電話] をタップする**

2 **相手の電話番号を入力する**

- 一般電話にかける場合は、地域番号（市外局番）＋相手先電話番号を入力します。

3 **[発信] をタップする**

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

滞在先で電話を受ける

海外でも国際ローミングサービスを利用して、電話を受けることができます。

1 **着信時に（左）にタッチして（右）へドラッグする**

2 **会話が終了したら、[通話終了] をタップする**

❖お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

■ 自分にかけてもらう方法

- 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合
  日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先のFOMA端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。
- 日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合
  滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、発信国の国際電話アクセス番号および「81」(日本の国番号)をダイヤルしてもらう必要があります。
  発信国の国際電話アクセス番号 - 81 - 90(または80) - XXXX - XXXX

オプション品・関連機器のご紹介

本FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。
なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。
詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- **リアカバー SO14**
- **電池パック SO05**
- **ACアダプタケーブル SO02**
- **FOMA 補助充電アダプタ 02**※
- **キャリングケース 02**

※ 本FOMA端末を充電するには、付属のmicroUSBケーブルが必要です。

トラブルシューティング

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新（P.201）してください。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

FOMA端末の電源が入らない	
• 電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.26
• 電池切れになっていませんか。	P.25

■ 充電

充電ができない （通知LEDが点灯しない、電池アイコンが充電中に変わらない）	
• 電池パックが正しく取り付けられていますか。	P.26
• ACアダプタケーブルの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。	P.27
• ACアダプタケーブルとFOMA端末が正しくセットされていますか。	P.27

• 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して電池の状態アイコンが充電中にならない場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。	−
通知LEDが赤色に点滅し、操作ができない。	
• 電池残量が少ない場合は電池パックを充電してください。	P.25

■ 端末操作

操作中・充電中に熱くなる	
• 通話中に、電波環境や通話時間によっては受話口周辺が熱くなることがありますが、異常ではありません。	−
• 操作中や充電中、また、充電しながら動画撮影などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、ACアダプタケーブルが熱くなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。	−
電池の使用時間が短い	
• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。 圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。	−
• 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。	P.25
• 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回の使用時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。	−
電源断・再起動が起きる	
• 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。	−
本体上のキーを押しても動作しない	
• 画面ロックを設定していませんか。	P.104
ボタンを押したときの画面の反応が遅い	
• FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやり取りしているときなどに起きる場合があります。	−
ドコモUIMカードが認識されない	
• ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。	P.23
時計がずれる	
• 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。「自動」時刻設定（ネットワーク自動設定）が設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。	P.115

■ 通話

ダイヤルボタンを押しても発信できない	
• SIMカードロックを設定していませんか。	P.103
• 機内モードを設定していませんか。	P.89
着信音が鳴らない	
• 音量設定の電話着信音量を最小にしていませんか。	P.99
• マナーモードに設定していませんか。	P.98
• 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼び出し時間を「0秒」にしていませんか。	P.81 P.85
通話ができない (場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)	
• 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモUIMカードを入れ直してください。	P.23 P.26 P.29
• 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。	–
• 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。	–

■ 画面

ディスプレイが暗い	
• バックライト消灯時間を設定していませんか。	P.101
• 画面の明るさ調節を変更していませんか。	P.100
• ecoモードを設定していませんか。	P.46

■ 音声

通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	
• 音量設定の受話音量を変更していませんか。	P.68

■ データ表示

各機能で設定した画像や着信音などが動作せず、お買い上げ時の設定で動作する	
• 画像や着信音などの取得時に挿入していたドコモUIMカードが挿入されていますか。	–

■ カメラ

カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	
• 近くの被写体を撮影するときは、マクロ撮影に切り替えてください。	P.141
• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。	–
• 人物を撮影するときは、顔検出機能を設定してください。	P.137
• 手ぶれ補正を使って撮影してください。	P.141 P.146

海外利用

海外でFOMA端末が使えない	
■アンテナマークが表示されている場合 • WORLD WINGのお申し込みをされていますか。 WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。	−
■圏外が表示されている場合 • 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。 利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。 • ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 「携帯電話事業者」の「検索モード」を「自動選択」に設定してください。 「ネットワークモード」を「GSM ／ WCDMA（自動）」に設定してください。 • FOMA端末の電源を切った後、再び電源を入れることで回復することがあります。	P.189 P.190 P.29

海外でデータ通信ができない	
データローミングのチェックボックスにチェックを入れてください。	P.191

海外で利用中に、突然FOMA端末が使えなくなった	
• 利用停止目安額を超えていませんか。 「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。	−

海外で電話がかかってこない	
• 「ローミング時着信規制」を「開始」に設定していませんか。	−

相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	
• 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。	−

データ管理

データ転送が行われない	
• USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。	−

microSDカードに保存したデータが表示されない	
• microSDカードを差し直してください。	P.24

画像表示しようとすると「×」が表示される または　デモやプレビューで「×」が表示される	
• 画像データが壊れている場合は「×」が表示される場合があります。	−

■ Bluetooth機能

Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない	
• Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、FOMA端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、FOMA端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。	P.165
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態でFOMA端末から発信できない	
• 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。	－

エラーメッセージ

通信サービスなし

• サービスエリア外か、電波の届かない場所にいるため利用できません。電波の届く場所まで移動してください。
• ドコモUIMカードが正しく機能していません。
ドコモUIMカードを別の端末に挿入してください。機能するのであれば、問題の原因は本FOMA端末にあると考えられます。この場合は、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。
ドコモUIMカードを抜き差しすることで改善する可能性があります。

SIMカードはロックされています

PINコード（P.102）を正しく入力してください。

SIMカードはPUKでロックされています

PUK（PINロック解除コード）（P.103）を正しく入力してください。

メモリ不足です

空き容量がありません。不要なアプリケーションを削除（P.108）して容量を確保してください。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって連絡先などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、連絡先などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

※ 本FOMA端末は、連絡先データをmicroSDカードに保存していただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」（P.194）をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（microUSB接続端子・ヘッドセット接続端子・HDMI接続端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
  - 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。
ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

● FOMA端末および付属品の改造はおやめください。

- 火災・けが・故障の原因となります。
- 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。
  ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
  以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る。
  - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す。
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど。
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

● FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。

銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

- 各種機能の設定などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。
キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
使用箇所：スピーカー、受話口部
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

メモリダイヤル（連絡先機能）およびダウンロード情報などについて

FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手することができます。

❖注意

- モバイルネットワーク接続を使用してFOMA端末からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- 更新の前にFOMA端末の中のすべてのデータを確実にバックアップしてください。
- ソフトウェア更新後に初めて起動したときは、データ更新処理のため、数分から数十分間、動作が遅くなる場合があります。所要時間は本端末内のデータ量により異なります。通常の動作速度に戻るまでは電源を切らないでください。

❖お知らせ

- 詳しくは、http://www.sonyericsson.co.jp/support/ をご覧ください。

ワイヤレスでソフトウェア更新をダウンロードする

ソフトウェアをダウンロードして更新する

モバイルネットワーク接続またはWi-Fiネットワーク接続を使用し、インターネット経由で、FOMA端末から直接ワイヤレスでソフトウェアをダウンロードできます。

1 ホーム画面で▦をタップし、[更新センター]をタップする

2 ☰を押し、[更新]をタップする

- FOMA端末が、ソフトウェア更新を検索します。

❖注意

- モバイルネットワークでソフトウェアの更新をする場合、データ量の大きい通信を行いますので、パケット通信料が高額になります。このため、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 海外でローミングサービスをご利用の際は、モバイルネットワークでのソフトウェア更新の検索やダウンロードはできません。

最新のソフトウェア更新を自動更新する

最新のソフトウェア更新を定期的に自動更新します。更新がある場合、ステータスバーに▯が表示されます。

1 ホーム画面で▦をタップし、[更新センター]をタップする

2 ☰を押し、[設定]をタップする

3 [自動更新]▶[Wi-Fi経由のみ]／[3G／Wi-Fi経由]▶[OK]をタップする

❖注意

- 手順3で[3G／Wi-Fi経由]を選択した場合、Wi-Fi通信が不安定になると自動的に3G通信に切り替わり、パケット通信料が発生することがありますのでご注意ください。
- 自動検索するためにパケット通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。

パソコンに接続して更新する

本FOMA端末からパソコンにインストールできるPC Companionを使ってソフトウェアを更新することができます。

❖お知らせ

- PC Companionをインストールするパソコンは、インターネットに接続されている必要があります。

PC Companionをご利用のパソコンにまだインストールしていない場合

1 **付属のmicroUSBケーブルでFOMA端末をパソコンに接続する**

2 **FOMA端末上で［インストール］をタップする**

- パソコン上でPC Companionのインストーラが起動します。

3 **パソコンの画面の指示に従ってインストールを行う**

- インストール完了後、パソコン上でPC Companionが起動します。さらにソフトウェアの更新がある場合は自動的に通知されますので、パソコンの画面の指示に従って操作を行ってください。

PC Companionをご利用のパソコンにすでにインストールされている場合

1 **パソコン上でPC Companionが起動しているかどうかを確認し、起動していない場合はスタートメニューからPC Companionを起動する**

2 **microUSBケーブルでFOMA端末をパソコンに接続する**

3 **パソコンの画面の指示に従って操作を行う**

- ソフトウェアの更新がある場合は自動的に通知されます。

主な仕様

■ 本体

品名		SO-01C
サイズ		高さ約125mm×幅約63mm×厚さ約10.9mm（最厚部約11.4mm）
質量		約118g（電池パック装着時）
メモリ		ROM　1GB（Flashメモリ） RAM　512MB（SRAM）
外部メモリ		microSD 2GBまで microSDHC 32GBまで 対応（2011年3月現在）
連続待受時間	FOMA／3G	静止時（自動）：約460時間 移動時（自動）：約320時間 移動時（3G固定）：約420時間
	GSM	約300時間（静止時）
連続通話時間	FOMA／3G	約360分
	GSM	約390分
ACアダプタケーブルでの充電時間		約170分

ディスプレイ	**方式**	TFT16,777,216色
	サイズ	約4.2inch
	ドット数	480ドット×854ドット（フルワイドVGA）
撮像素子	**種類**	カメラ：CMOSセンサー
	サイズ	カメラ：1/3.2 inch
カメラ画素数		カメラ：有効画素数約810万画素（記録画素数約800万画素）
静止画撮影サイズ		3264×2448（8MP 4:3） 3264×1836（6MP 16:9） 1632×1224（2MP 4:3） 1920×1080（2MP 16:9）
動画記録サイズ		1280×720（HD 720p） 864×480（フルワイドVGA） 640×480（VGA） 320×240（QVGA）
フレームレート		最大30fps
音楽再生	**MP3ファイル**	連続再生時間 約1920分（バックグラウンド再生対応）
動画再生	**MP4ファイル**	連続再生時間 約360分（microSDカードから再生時、HD 720pモードにて）

無線LAN		IEEE802.11b/g/n準拠（IEEE802.11n対応周波数帯：2.4GHz）
Bluetooth	**対応Bluetoothバージョン**	Bluetooth標準規格Ver.2.1＋EDRに準拠※1
	出力	Bluetooth標準規格Power Class 1
	見通し通信距離※2	約10m以内
	対応Bluetoothプロファイル※3	A2DP、AVRCP、HFP、HSP、OPP、PBAP、SPP

※1 本FOMA端末を含むすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しております。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやり取りができない場合があります。

※2 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。

※3 Bluetooth対応機器どうしの使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。
  なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場所）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。

- インターネット接続を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。
  また、通話やインターネット接続をしなくてもメールを作成したり、カメラやアプリケーションを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。

■ 電池パック

品名	電池パック SO05
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC3.7V
公称容量	1500mAh

ファイル形式

本FOMA端末は以下のファイル形式の表示・再生に対応しています。

種　類	ファイル形式
音	MP3、3GPP、MP4、AMR、AMRWB、SMF、XMF、WAV、iMelody、RTTTL/RTX、OTA、Ogg vorbis
静止画	JPEG、GIF、PNG、BMP
動画	3GPP、MP4

静止画は次に示すファイル形式で保存されます。

種　類	ファイル形式
静止画	JPEG

■ 静止画の撮影枚数（目安）

解像度	microSDカード（2GB）に保存できる撮影枚数
2MP	約3,231枚

■ 動画の撮影時間（目安）

解像度	microSDカード（2GB）に保存できる撮影時間
320×240（QVGA）	最大約507分（1件あたり、合計とも）

携帯電話機の比吸収率などについて

Mobile Phone GSM/GPRS/EGPRS 850/900/1800/1900＆UMTS JP/EU/US

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種SO-01Cの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.47W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモもしくは製造メーカ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。NTTドコモもしくは製造メーカ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

次ページへつづく

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ
http://www.sonyericsson.co.jp/product/SAR/

※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格(IEC62209-2)が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。(平成23年6月現在)

Radio Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR) Information

United States & Canada

THIS PHONE MODEL HAS BEEN CERTIFIED IN COMPLIANCE WITH THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
The SO-01C mobile phones have been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. Your wireless phone is a radio transmitter and receiver. It is designed to not exceed the limits* of exposure to radio frequency (RF) energy set by governmental authorities. These limits establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by international scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a safety margin designed to assure the safety of all individuals, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands. While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves. For more information on SAR, please refer to the safe and efficient use chapter in the User Guide.
The highest SAR value as reported to the authorities for this phone model when tested for use by the ear is 0.81 W/kg*, and when worn on the body is 0.95 W/kg* for speech and 1.30 W/kg* for data calls. Body worn measurements are made while the phone is in use and worn on the body with a Sony Ericsson accessory supplied with or designated for use with this phone. It is therefore recommended that only Ericsson and Sony Ericsson original accessories be used in conjunction with Sony Ericsson phones.
For devices which include "WiFi hotspot" functionality, body-worn SAR measurements for operation of the device operating in WiFi hotspot mode were taken using a separation distance of 10mm.
Use of third-party accessories may result in different SAR levels than those reported.

** Before a phone model is available for sale to the public in the US, it must be tested and certified by the Federal Communications Commission (FCC) that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure*. The tests are performed in positions and locations (i.e., by the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The FCC has granted an Equipment Authorization for this phone model with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. While there may be differences between the SAR levels of various phones, all mobile phones granted an FCC equipment authorization meet the government requirement for safe exposure. SAR information on this phone model is on file at the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID PY7A3880098. Additional information on SAR can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.ctia.org/.

* In the United States and Canada, the SAR limit for mobile phones used by the public is 1.6 watts/kilogram (W/kg) averaged over one gram of tissue. The standard incorporates a margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

** This paragraph is only applicable to authorities and customers in the United States.

Europe

This mobile phone model SO-01C has been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. These requirements are based on scientific guidelines that include safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands.
While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves.

For more information on SAR, please refer to the safety chapter in the User's Guide.
SAR data information for residents in countries that have adopted the SAR limit recommended by the International Commission of Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is 2 W/kg averaged over ten (10) gram of tissue (for example European Union, Japan, Brazil and New Zealand):

The highest SAR value for this model phone tested by Sony Ericsson for use at the ear is 0.51 W/kg (10g).

Radio Frequency (RF) Exposure and SAR

Your mobile phone is a low-power radio transmitter and receiver.
When it is turned on, it emits low levels of radio frequency energy (also known as radio waves or radio frequency fields).
Governments around the world have adopted comprehensive international safety guidelines, developed by scientific organizations, e.g. ICNIRP (International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection) and IEEE (The Institute of Electrical and Electronics Engineers Inc.), through periodic and thorough evaluation of scientific studies. These guidelines establish permitted levels of radio wave exposure for the general population. The levels include a safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health, and to account for any variations in measurements.

次ページへつづく

Specific Absorption Rate (SAR) is the unit of measurement for the amount of radio frequency energy absorbed by the body when using a mobile phone. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but the actual SAR level of the mobile phone while operating can be well below this value.
This is because the mobile phone is designed to use the minimum power required to reach the network.
Variations in SAR below the radio frequency exposure guidelines do not mean that there are variations in safety. While there may be differences in SAR levels among mobile phones, all Sony Ericsson mobile phone models are designed to meet radio frequency exposure guidelines.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed in positions and locations (that is, at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. For body worn operation, this phone has been tested and meets FCC RF exposure guidelines when the handset is positioned a minimum of 15 mm from the body without any metal parts in the vicinity of the phone or when used with the original Sony Ericsson body worn accessory intended for this phone. Use of other accessories may not ensure compliance with FCC RF exposure guidelines.

SAR information for this mobile phone model is included with the material that comes with this mobile phone. This information can also be found, together with more information on radio frequency exposure and SAR, on: http://www.sonyericsson.co.jp/product/SAR/

Guidelines for Safe and Efficient Use

Please follow these guidelines. Failure to do so might entail a potential health risk or product malfunction. If in doubt as to its proper function, have the product checked by a certified service partner before charging or using it.

Recommendations for care and safe use of our products

- Handle with care and keep in a clean and dust-free place.
- **Warning!** May explode if disposed of in fire.
- Do not expose to liquid or moisture or excess humidity.
- For optimum performance, the product should not be operated in temperatures below +5°C(+41°F) or above +35°C(+95°F). Do not expose the battery to temperatures above +60°C(+140°F).
- Do not expose to flames or lit tobacco products.

- Do not drop, throw or try to bend the product.
- Do not paint or attempt to disassemble or modify the product. Only Sony Ericsson authorised personnel should perform service.
- Consult with authorised medical staff and the instructions of the medical device manufacturer before using the product near pacemakers or other medical devices or equipment.
- Discontinue use of electronic devices, or disable the radio transmitting functionality of the device, where required or requested to do so.
- Do not use where a potentially explosive atmosphere exists.
- Do not place the product, or install wireless equipment, in the area above an air bag in a car.
- **Caution:** Cracked or broken displays may create sharp edges or splinters that could be harmful upon contact.
- Do not use the Bluetooth Headset in positions where it is uncomfortable or will be subject to pressure.

Children

Warning! Keep out of the reach of children. Do not allow children to play with mobile phones or accessories. They could hurt themselves or others. Products may contain small parts that could become detached and create a choking hazard.

Power supply (Charger)

Connect the charger to power sources as marked on the product. Do not use outdoors or in damp areas. Do not alter or subject the cord to damage or stress. Unplug the unit before cleaning it. Never alter the plug. If it does not fit into the outlet, have a proper outlet installed by an electrician. When a power supply is connected there is a small drain of power. To avoid this small energy waste, disconnect the power supply when the product is fully charged. Use of charging devices that are not Sony Ericsson branded may pose increased safety risks.

Battery

New or idle batteries can have short-term reduced capacity. Fully charge the battery before initial use. Use for the intended purpose only. Charge the battery in temperatures between +5°C(+41°F) and +35°C(+95°F). Do not put the battery into your mouth. Do not let the battery contacts touch another metal object. Turn off the product before removing the battery. Performance depends on temperatures, signal strength, usage patterns, features selected and voice or data transmissions. Only Sony Ericsson service partners should remove or replace built-in batteries. Use of batteries that are not Sony Ericsson branded may pose increased safety risks. Replace the battery only with another Sony Ericsson battery that has been qualified with the product per the standard IEEE-1725. Use of an unqualified battery may present a risk of fire, explosion, leakage or other hazard.

Personal medical devices

Mobile phones may affect implanted medical equipment. Reduce risk of interference by keeping a minimum distance of 22 cm(8.7 inches) between the phone and the device. Use the phone at your right ear. Do not carry the phone in your breast pocket. Turn off the phone if you suspect interference. For all medical devices, consult a physician and the manufacturer.

Driving

Some vehicle manufacturers forbid the use of phones in their vehicles unless a handsfree kit with an external antenna supports the installation. Check with the vehicle manufacturer's representative to be sure that the mobile phone or Bluetooth handsfree will not affect the electronic systems in the vehicle. Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

GPS/Location based functions

Some products provide GPS/Location based functions. Location determining functionality is provided "As is" and "With all faults". Sony Ericsson does not make any representation or warranty as to the accuracy of such location information.

Use of location-based information by the device may not be uninterrupted or error free and may additionally be dependent on network service availability. Please note that functionality may be reduced or prevented in certain environments such as building interiors or areas adjacent to buildings.

Caution: Do not use GPS functionality in a manner which causes distraction from driving.

Emergency calls

Calls cannot be guaranteed under all conditions. Never rely solely upon mobile phones for essential communication. Calls may not be possible in all areas, on all networks, or when certain network services and/or phone features are used.

Antenna

Use of antenna devices not marketed by Sony Ericsson could damage the phone, reduce performance, and produce SAR levels above the established limits. Do not cover the antenna with your hand as this affects call quality, power levels and can shorten talk and standby times.

Radio Frequency (RF) exposure and Specific Absorption Rate (SAR)

When the phone or Bluetooth handsfree is turned on, it emits low levels of radio frequency energy. International safety guidelines have been developed through periodic and thorough evaluation of scientific studies. These guidelines establish permitted levels of radio wave exposure. The guidelines include a safety margin designed to assure the safety of all persons and to account for any variations in measurements.

Specific Absorption Rate (SAR) is used to measure radio frequency energy absorbed by the body when using a mobile phone. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but because the phone is designed to use the minimum power necessary to access the chosen network, the actual SAR level can be well below this value. There is no proof of difference in safety based on difference in SAR value.

次ページへつづく

Products with radio transmitters sold in the US must be certified by the Federal Communications Commission (FCC). When required, tests are performed when the phone is placed at the ear and when worn on the body. For body-worn operation, the phone has been tested when positioned a minimum of 15 mm from the body without any metal parts in the vicinity of the phone or when properly used with an appropriate Sony Ericsson accessory and worn on the body.

For more information about SAR and radio frequency exposure, go to: *http://www.sonyericsson.co.jp/product/SAR/*.

Flight mode

Bluetooth and WLAN functionality, if available in the device, can be enabled in Flight mode but may be prohibited onboard aircraft or in other areas where radio transmissions are prohibited. In such environments, please seek proper authorisation before enabling Bluetooth or WLAN functionality even in Flight mode.

Malware

Malware (short for malicious software) is software that can harm the mobile phone or other computers. Malware or harmful applications can include viruses, worms, spyware, and other unwanted programs. While the device does employ security measures to resist such efforts, Sony Ericsson does not warrant or represent that the device will be impervious to the introduction of malware. You can however reduce the risk of malware attacks by using care when downloading content or accepting applications, refraining from opening or responding to messages from unknown sources, using trustworthy services to access the Internet, and only downloading content to the mobile phone from known, reliable sources.

Accessories

Use only Sony Ericsson branded original accessories and certified service partners. Sony Ericsson does not test third-party accessories. Accessories may influence RF exposure, radio performance, loudness, electric safety and other areas. Third-party accessories and parts may pose a risk to your health or safety or decrease performance.

Disposal of old electrical and electronic equipment

Electronic equipment and batteries should not be included as household waste but should be left at an appropriate collection point for recycling. This helps prevent potential negative consequences for the environment and human health. Check local regulations by contacting your local city office, your household waste disposal service, the shop where you purchased the product or calling a Sony Ericsson Contact Center. Do not attempt to remove internal batteries. Internal batteries shall be removed only by a waste treatment facility or trained service professional.

Disposing of the battery

Check local regulations or call a Sony Ericsson Contact Center for information. Never use municipal waste.

Memory card

If the product comes complete with a removable memory card, it is generally compatible with the handset purchased but may not be compatible with other devices or the capabilities of their memory cards. Check other devices for compatibility before purchase or use. If the product is equipped with a memory card reader, check memory card compatibility before purchase or use.

Memory cards are generally formatted prior to shipping. To reformat the memory card, use a compatible device. Do not use the standard operating system format when formatting the memory card on a PC. For details, refer to the operating instructions of the device or contact customer support.

Warning!

If the device requires an adapter for insertion into the handset or another device, do not insert the card directly without the required adapter.

Precautions on memory card use

- Do not expose the memory card to moisture.
- Do not touch terminal connections with your hand or any metal object.
- Do not strike, bend, or drop the memory card.

- Do not attempt to disassemble or modify the memory card.
- Do not use or store the memory card in humid or corrosive locations or in excessive heat such as a closed car in summer, in direct sunlight or near a heater, etc.
- Do not press or bend the end of the memory card adapter with excessive force.
- Do not let dirt, dust, or foreign objects get into the insert port of any memory card adapter.
- Check you have inserted the memory card correctly.
- Insert the memory card as far as it will go into any memory card adapter needed. The memory card may not operate properly unless fully inserted.
- We recommend that you make a backup copy of important data. We are not responsible for any loss or damage to content you store on the memory card.
- Recorded data may be damaged or lost when you remove the memory card or memory card adapter, turn off the power while formatting, reading or writing data, or use the memory card in locations subject to static electricity or high electrical field emissions.

Protection of personal information

Erase personal data before disposing of the product. To delete data, perform a master reset. Deleting data from the phone memory does not ensure that it cannot be recovered. Sony Ericsson does not warrant against recovery of information and does not assume responsibility for disclosure of any information even after a master reset.

Loudness warning!

Avoid volume levels that may be harmful to your hearing.

FCC Statement for the USA

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference, and
(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any change or modification not expressly approved by Sony Ericsson may void the user's authority to operate the equipment.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.
If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Industry Canada Statement

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.
Cet appareil numérique de la classe B est conforme á la norme NMB-003 du Canada.
This device complies with RSS-210 of Industry Canada.
Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Declaration of Conformity for SO-01C

We, **Sony Ericsson Mobile Communications AB** of Nya Vattentornet SE-221 88 Lund, Sweden
declare under our sole responsibility that our product

Sony Ericsson type AAD-3880098-CV
and in combination with our accessories, to which this declaration relates is in conformity with the appropriate standards EN 301 511:V9.0.2, EN 301 908-1:V3.2.1, EN 301 908-2:V3.2.1, EN 300 328:V1.7.1, EN 300 440-2:V1.3.1, EN 301 489-7:V1.3.1, EN 301 489-17:V2.1.1, EN 301 489-24:V1.4.1, EN 301 489-3:V1.4.1 and EN 60 950-1:2006+A11:2009 following the provisions of, Radio Equipment and Telecommunication Terminal Equipment directive **1999/5/EC**.

CE 0682 ⓘ

Lund, December 2010

Dan Redin,
Corporate Vice President, Head of Development
われわれはR&TTE指令の要求事項を満たしています（1999/5/EC）
We fulfill the requirements of the R&TTE Directive (1999/5/EC).

End User Licence Agreement／エンドユーザーライセンス契約

End User Licence Agreement

Software delivered with this device and its media is owned by Sony Ericsson Mobile Communications AB, and/or its affiliated companies and its suppliers and licensors.
Sony Ericsson grants you a non-exclusive limited licence to use the Software solely in conjunction with the Device on which it is installed or delivered. Ownership of the Software is not sold, transferred or otherwise conveyed.
Do not use any means to discover the source code or any component of the Software, reproduce and distribute the Software, or modify the Software. You are entitled to transfer rights and obligations to the Software to a third party, solely together with the Device with which you received the Software, provided the third party agrees in writing to be bound by the terms of this Licence.
This licence exists throughout the useful life of this Device. It can be terminated by transferring your rights to the Device to a third party in writing.
Failure to comply with any of these terms and conditions will terminate the licence immediately.

Sony Ericsson and its third party suppliers and licensors retain all rights, title and interest in and to the Software. To the extent that the Software contains material or code of a third party, such third parties shall be beneficiaries of these terms.
This licence is governed by the laws of Sweden. When applicable, the foregoing applies to statutory consumer rights.
In the event Software accompanying or provided in conjunction with your device is provided with additional terms and conditions, such provisions shall also govern your possession and usage of the Software.

エンドユーザーライセンス契約

本製品及び付属のメディアに含まれるソフトウェア（以下「本ソフトウェア」という）は、Sony Ericsson Mobile Communications AB（以下「ソニー・エリクソン」という）及び／又はその子会社、サプライヤー、ライセンサーがその権利を有するものとします。
ソニー・エリクソンは、お客様に対し、本ソフトウェアについて、本製品と共に使用する場合に限り、非独占、限定的なライセンス（以下「本ライセンス」という）を許諾します。
本ソフトウェアの権利は、何ら販売、移転、その他の方法で譲渡されるものではありません。
お客様は、いかなる手段を用いても、本ソフトウェアのソースコード及びコンポーネントを解読してはならず、また、本ソフトウェアを複製、頒布、修正することは出来ません。
お客様が本ソフトウェアについての権利及び義務を第三者に譲渡出来るのは、本ソフトウェアを本製品と共に第三者に譲渡し、かつ、当該第三者が、本ライセンスの条件を遵守することにつき書面をもって合意した場合に限られます。
本ライセンスは、お客様の本製品使用期間中、有効に存続します。
本ライセンスは、お客様の権利を本製品と共に第三者に書面により譲渡することによって終了することが出来ます。
お客様が、本契約のいずれかの条項に違反した場合、本ライセンスは直ちに取り消されます。
本ソフトウェアに関する全ての権利、権原、権益は、ソニー・エリクソン、サプライヤー、及びライセンサーに帰属するものとします。
本ソフトウェアに、サプライヤー又はライセンサーが権利を有する素材又はコードが含まれている場合は、その限りにおいて、かかるサプライヤー又はライセンサーは本契約における受益者となるものとします。
本契約の準拠法は、スウェーデン法とします。
上記準拠法は、適用可能な場合には、消費者の法定の権利にも適用されるものとします。

次ページへつづく

本ソフトウェアにつき追加的な条件が付された場合は、かかる条件は、本契約の各条項に加えて、お客様の本ソフトウェアの保有及び使用について適用されるものとします。

About Open Source Software／オープンソースソフトウェアについて

About Open Source Software

This product includes certain open source or other software originating from third parties that is subject to the GNU General Public License (GPL), GNU Library/Lesser General Public License (LGPL) and different and/or additional copyright licenses, disclaimers and notices. The exact terms of GPL, LGPL and some other licenses, disclaimers and notices are reproduced in the about box in this product and are also available at http://opensource.sonyericsson.com.

Sony Ericsson offers to provide source code of software licensed under the GPL or LGPL or some other open source licenses allowing source code distribution to you on a CD-ROM for a charge covering the cost of performing such distribution, such as the cost of media, shipping and handling, upon written request to Sony Ericsson Mobile Communications AB, Open Source Software Management, Nya Vattentornet, SE-221 88 Lund, Sweden. This offer is valid for a period of three (3) years from the date of the distribution of this product by Sony Ericsson.

オープンソースソフトウェアについて

本製品は、オープンソースソフトウェアまたはその他のGNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)及び／またはその他の著作権ライセンス、免責条項、ライセンス通知の適用を受ける第三者のソフトウェアを含みます。GPL、LGPL及びその他のライセンス、免責条項及びライセンス通知の具体的な条件については、本製品の「端末情報」から参照いただけるほか、http://opensource.sonyericsson.com でも参照いただけます。

ソニー･エリクソンは、Sony Ericsson Mobile Communications AB, Open Source Software Management, Nya Vattentornet, SE-221 88 Lund, Sweden宛の書面による要求があった場合、GPL、LGPL又はその他のソースコードの配布を要求しているオープンソースライセンスのもとでライセンスされているソフトウェアのソースコードにつき、配布のために必要な費用（メディア費用、物流費用、取扱い費用等）を負担いただくことを条件に、CD-ROMにて配布をいたします。
上記のソースコードの提供の申し出は、本製品がソニー･エリクソンにより販売されてから3年間有効なものとします。

輸出管理規制について

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問合せください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「デコメール®」「spモード」「WORLD WING」「WORLD CALL」「トルカ」「mopera」「mopera U」「ｉチャネル」「公共モード」「メロディコール」「エリアメール」「声の宅配便」「あんしんスキャン」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「Bluetooth」は、Bluetooth SIG. Inc.の登録商標であり、ソニー・エリクソンはライセンスに基づいて使用しています。
- 「Wi-Fi」は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 「Liquid Identity」ロゴ、「Xperia」「PlayNow」「Timescape」および「TrackID」は、Sony Ericsson Mobile Communications ABの商標または登録商標です。
- 「APPNAVI」はソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- 「TrackID」では、Gracenote Mobile MusicIDの技術を使用しています。「Gracenote」および「Gracenote Mobile MusicID」は、Gracenote, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Media Go」は、Sony Electronics Inc.の商標または登録商標です。
- 「BRAVIA」「ブラビア」「POBox」「Sony」「Exmor R for mobile」はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- 「POBox」は株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所とソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社が共同開発した技術です。
- “xLOUD”はソニー株式会社の商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Incの商標または登録商標です。
- 「3GPP」はETSIの商標または登録商標です。
- 「Google」「Google」ロゴ、「Android」「Android」ロゴ、「Androidマーケット」「Androidマーケット」ロゴ、「Gmail」「モバイルGoogle マップ」「Google トーク」「YouTube」および「YouTube」ロゴ、「Picasa」は、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Facebook」は、Facebook, Inc.の商標または登録商標です。

次ページへつづく

- 「Ericsson」は、Telefonaktiebolaget LM Ericssonの商標または登録商標です。
- mixi, mixiロゴは、株式会社ミクシィの登録商標です。
- DLNA is a trademark or registered trademark of the Digital Living Network Alliance.
- HDMI, the HDMI Logo and High-Definition Multimedia Interface, are trademarks or registered trademarks of HDMI Licensing LLC.
- 「Microsoft」「Windows」「Outlook」「Windows Vista」「Windows Server」「Windows Media」と「ActiveSync」は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品は、Microsoftの知的所有権によって保護されています。本製品の技術を、Microsoftのライセンス許可を受けずに使用または配布することは禁止されています。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Playerテクノロジーを搭載しています。
  Adobe Flash Player Copyright© 1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、Flash、およびFlashロゴはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。

- 本製品は、MPEG-4ビジュアルおよびAVC特許ポートフォリオライセンスのもとで、消費者が商業目的以外で個人的に使用するために提供されており、次の用途に限定されます。（i）MPEG-4ビジュアル標準（以下「MPEG-4ビデオ」）またはAVC規格（以下「AVCビデオ」）に準拠したビデオのエンコード、および/または（ii）商業目的以外の個人的な活動に従事している消費者によってエンコードされたMPEG-4またはAVCビデオのデコード、および／または、MPEG-4またはAVCビデオの提供をMPEG LAによってライセンス許可されているビデオプロバイダから入手したMPEG-4またはAVCビデオのデコード。その他の用途に対するライセンスは許諾されず、黙示的に許可されることもありません。販売促進目的、内部目的および商業目的の使用およびライセンス許可に関する追加情報は、MPEG LA, L.L.Cより入手できます（http://www.mpegla.comを参照）。MPEGレイヤー3オーディオデコード技術は、Fraunhofer IIS and Thomsonによってライセンス許可されます。
- Java、JavaScriptおよびJavaベースの商標およびロゴは、米国およびその他の国におけるSun Microsystems, Inc.の商標または登録商標です。
- Sun Java Platform, Micro Editionのエンドユーザーライセンス契約書。
  1. 制限事項:本ソフトウェアはSunが著作権を有する機密情報であり、すべてのソフトウェアの所有権はSunおよび／またはそのライセンサーが保有します。お客様は、本ソフトウェアに対する変更、逆コンパイル、逆アセンブル、複合化、抽出またはその他のリバースエンジニアリングは許可されていません。ソフトウェアの一部または全てに対してリース、割り当て、サブライセンスを適用することはできません。
- その他、本書で登録するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
  なお、本文中では、TM、®マークは表記していません。
- 本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
My docomo (http://www.mydocomo.com/) ⇒ 各種お申込・お手続き
※ ご利用になる場合、「docomo ID ／パスワード」が必要となります。
※「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は本書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ **使用禁止の場所にいる場合**
航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。
ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ **満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合**
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■ **運転中の場合**
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ **劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合**
静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

【バイブレーション】（P.98）
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

【マナーモード】（P.98）
ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します。
※ ただし、シャッター音は消せません。

その他にも、留守番電話サービス（P.80）、転送でんわサービス（P.84）などのオプションサービスが利用できます。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）151　（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間　午前9:00～午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
（局番なしの）113　（無料）
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間　24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉
（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合
滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6832-6600*　（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※SO-01Cからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります。（「+」は「0」を長くタッチします。）

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉
ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8000120-0151*
*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。
●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

海外での故障について
〈ネットワークオペレーションセンター〉
（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合
滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6718-1414*　（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。
※SO-01Cからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります。（「+」は「0」を長くタッチします。）

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉
ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8005931-8600*
*滞在国内通話料などがかかる場合があります。
※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ株式会社
'11.6（3版）1249-7773.3

Sony Ericsson

XPERIA